
OPTiM

OPTiM Asset Web リファレンスマニュアル



最終更新日 2023 年 8 月 2 日
Document ver.2.1
(Web サイト ver.1.4.4)

はじめに

本マニュアルでは、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。
また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。

注意、ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。




記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

免責事項

- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

当マニュアルに表示されている会社名、商品名はそれぞれ株式会社オプティムまたは他社の登録済みまたは未登録の商標です。

商標および商標登録リスト

- iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。
- 当マニュアルに記載されているシステム名、製品などには、必ずしも商標表示（®、™）を付記していません。

目次

1 OPTiM Asset について	5
1.1 概要.....	6
1.2 動作環境.....	6
2 共通操作	7
2.1 設定画面の共通操作.....	8
3 物品台帳	10
3.1 「物品台帳」画面の操作.....	11
3.1.1 表示項目を条件で絞り込む.....	13
3.1.2 表示項目を変更する.....	15
3.1.3 物品情報をソートする.....	16
3.1.4 プリセット機能.....	17
3.1.4.1 プリセットを作成する.....	17
3.1.4.2 プリセットを再現する.....	19
3.1.4.3 プリセットを編集する.....	20
3.1.4.4 プリセットを削除する.....	23
3.2 物品登録.....	25
3.2.1 物品情報を登録する.....	26
3.3 物品詳細.....	28
3.3.1 物品の詳細情報を編集する.....	29
3.3.2 物品のステータスを廃棄にする.....	31
3.3.3 物品の情報を削除する.....	33
3.3.4 物品情報の変更履歴を確認する.....	35
4 棚卸管理	37
4.1 棚卸計画.....	38
4.1.1 棚卸計画を作成する.....	39
4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する.....	43
4.1.2.1 棚卸計画を編集する.....	46
4.1.2.2 棚卸計画を削除する.....	49
4.1.3 棚卸グループを追加する.....	50
4.1.4 棚卸グループを操作する.....	52
4.1.4.1 棚卸グループを編集する.....	54
4.1.4.2 棚卸グループを削除する.....	56
4.1.4.3 対象物品を追加する.....	58
4.1.4.4 対象物品を除外する.....	60
4.2 棚卸進捗.....	62
4.2.1 進捗サマリー.....	62
4.2.2 棚卸対象物品.....	63
4.2.3 利用報告.....	65
4.3 棚卸ルール.....	66

5 インポート	67
5.1 ファイルのインポート	68
6 設定	74
6.1 物品台帳設定	75
6.1.1 項目設定	76
6.1.1.1 項目グループを並べ替える	77
6.1.1.2 項目グループを追加する	78
6.1.1.3 項目グループの詳細設定をする	79
6.1.2 選択肢設定	95
6.1.2.1 「選択肢設定」画面について	95
6.1.2.2 選択肢を設定する	96
6.1.3 自動採番ルール	99
6.2 ユーザー権限管理	100
6.2.1 「ユーザー権限管理」画面について	100
6.2.2 ユーザーを取り込む	102
6.3 ライセンス管理	103
6.3.1 「ライセンス管理」画面について	103
6.4 プライバシーポリシー	104
改訂履歴	105

1 OPTiM Asset について


OPTiM Asset の概要と動作環境について説明します。

1.1 概要

OPTiM Asset（以降、本製品と呼ぶ）は、消耗品や物品（携帯端末、パソコンなど）、固定資産の管理をはじめ、借用・貸与した機器などの管理を行い、棚卸業務を効率化するサービスです。


物品を購入してから廃棄するまでの管理を一貫して行うことができます。

本製品のサイトにアクセスしてログインし、表示される OPTiM Asset 管理画面（本製品の画面総称）で操作を行います。

 本製品を使用するには、OPTiM ID アカウントが必要です。あらかじめ OPTiM ID アカウントを取得してください。

1.2 動作環境

本製品で推奨するブラウザとプリンターは以下のとおりです。

ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">● Google Chrome（最新版） Web 画面の操作はパソコンでの利用を推奨しています。
プリンター	<ul style="list-style-type: none">● QR コード印刷機能があるもの

2 共通操作


本製品は各種の画面で構成されています。この章では、各画面に共通で表示されるボタンの操作方法について説明します。

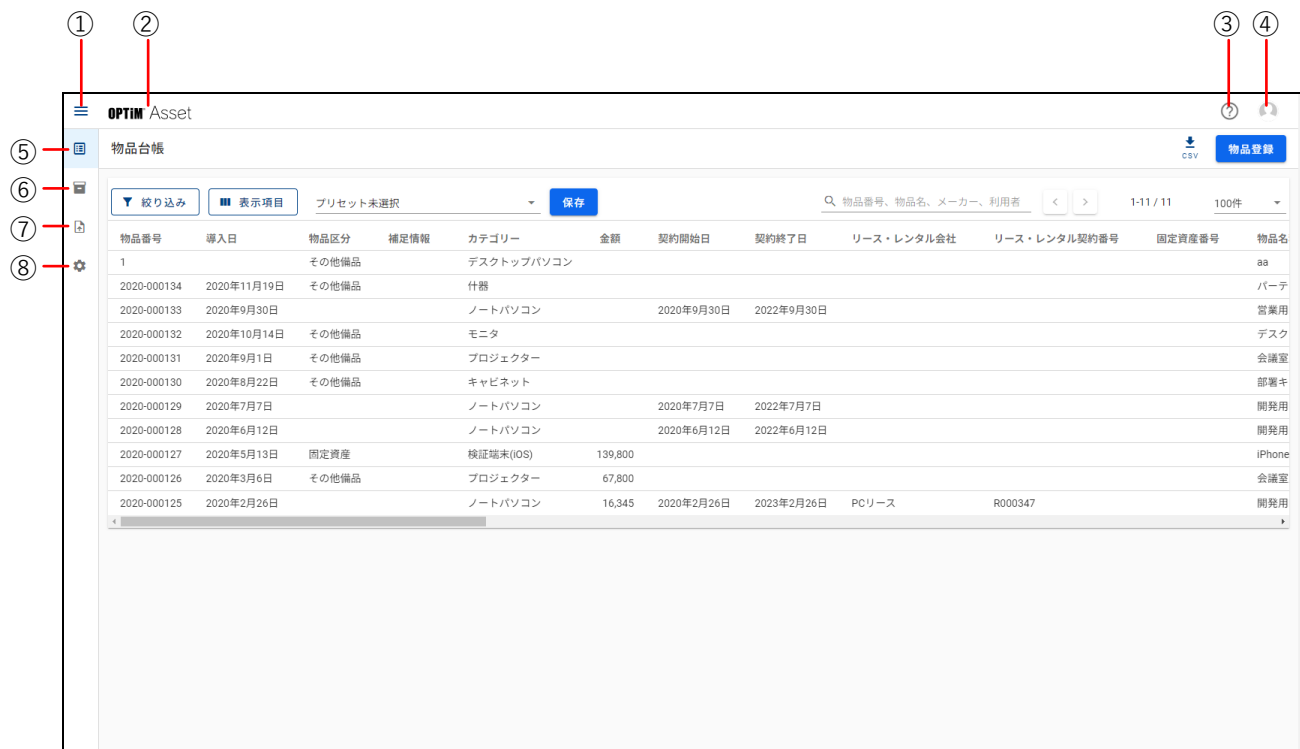
2.1 設定画面の共通操作






本製品の各画面に共通で表示されるボタンについて説明します。

ここでは、「物品台帳」画面を例に説明します。

◆ 共通操作箇所

- 「物品台帳」画面は、本製品へログインすると表示されますが、操作メニューの  (物品台帳) をクリックするか、**OPTiM Asset** をクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	操作メニュー展開ボタン	<p> をクリックすると操作メニューが展開されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> </div>
②	OPTiM_Asset ボタン	<p>「物品台帳」画面以外の画面を表示しているときに OPTiM Asset をクリックすると、「物品台帳」画面が表示されます。</p> <p> 「3 物品台帳」10 ページ</p>
③	マニュアル表示ボタン	<p>マニュアル一覧ページを表示して、各種の操作マニュアルを閲覧することができます。</p>
④	ユーザーメニューボタン	<p>ユーザーに関する情報が表示されます。</p>
⑤	「物品台帳」ボタン	<p>「物品台帳」画面を表示して、各種の設定を行います。</p> <p> 「3 物品台帳」10 ページ</p>

項番	名称	説明
⑥	[棚卸管理] ボタン	「棚卸計画」画面、「棚卸進捗」画面、「棚卸ルール」画面を表示して、各種の設定を行います。 ☞ 「4.1 棚卸計画」 38 ページ ☞ 「4.2 棚卸進捗」 62 ページ ☞ 「4.3 棚卸ルール」 66 ページ
⑦	[インポート] ボタン	「インポート」画面を表示して、CSV ファイルをインポートします。 ☞ 「5 インポート」 67 ページ
⑧	[設定] ボタン	「物品台帳設定」画面、「ユーザー権限管理」画面、「ライセンス管理」画面を表示して、各種の設定や管理を行います。 ☞ 「6.1 物品台帳設定」 75 ページ ☞ 「6.2 ユーザー権限管理」 100 ページ ☞ 「6.3 ライセンス管理」 103 ページ ☞ 「6.4 プライバシーポリシー」 104 ページ

3 物品台帳


「物品台帳」画面の操作方法について説明します。

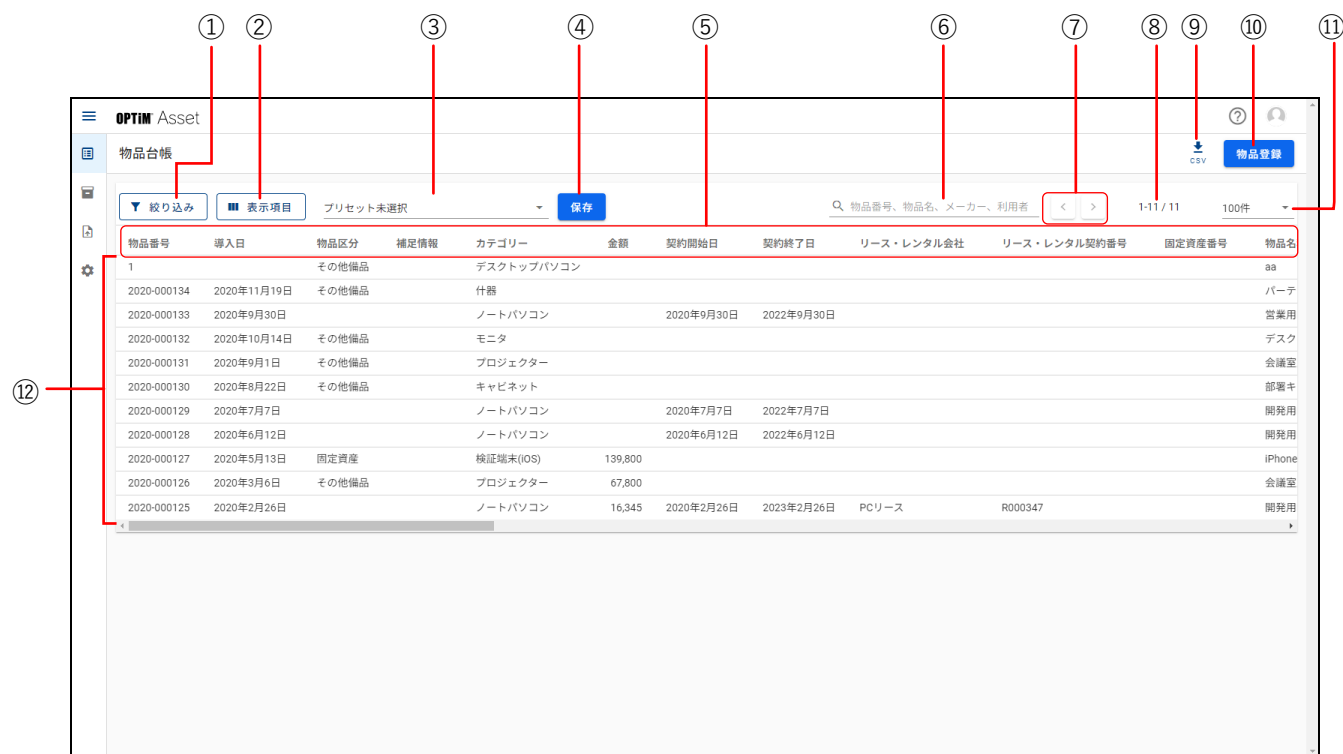
3.1 「物品台帳」画面の操作

「物品台帳」画面では物品情報を一覧表示し、物品情報の登録や編集、物品情報のデータ書き出しなど、各種の操作を行うことができます。また、表示内容の絞り込みや表示項目を選択して必要な内容のみを表示し、プリセットとして保存することもできます。





ここでは、「物品台帳」画面で行うことができる各種の操作について説明します。

◆ 「物品台帳」画面

- 「物品台帳」画面は、本製品へログインすると表示されますが、操作メニューの  (物品台帳) をクリックするか、**OPTIM Asset** をクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	[絞り込み] ボタン	「絞り込み」画面を表示して物品情報項目や期間を指定し、物品情報の表示内容を絞り込むことができます。 👉 「3.1.1 表示項目を条件で絞り込む」13 ページ
②	[表示項目] ボタン	「表示項目」画面を表示して物品情報一覧に表示される物品情報項目を選択し、表示内容を変更することができます。 👉 「3.1.2 表示項目を変更する」15 ページ
③	プリセットリストボックス	保存したプリセットをリストで表示し、絞り込み、表示項目、ソートで設定した内容を再現することができます。 👉 「3.1.4 プリセット機能」17 ページ
④	[保存] ボタン	絞り込み、表示項目、ソートで設定した条件をプリセットとして保存し、設定した内容で物品登録情報一覧を表示することができます。 👉 「3.1.4 プリセット機能」17 ページ
⑤	物品情報項目	物品情報の項目 (物品番号やカテゴリーなど) を表示します。特定の項目をクリックすると、ソートすることができます。 👉 「3.1.3 物品情報をソートする」16 ページ
⑥	フリーワード検索	物品管理番号、物品名、メーカー名、利用者名のいずれかを入力し、絞り込みを行うことができます。 📝 検索文字に大文字、小文字の区別はありません。 📝 一文字を入力すると検索が開始されます。

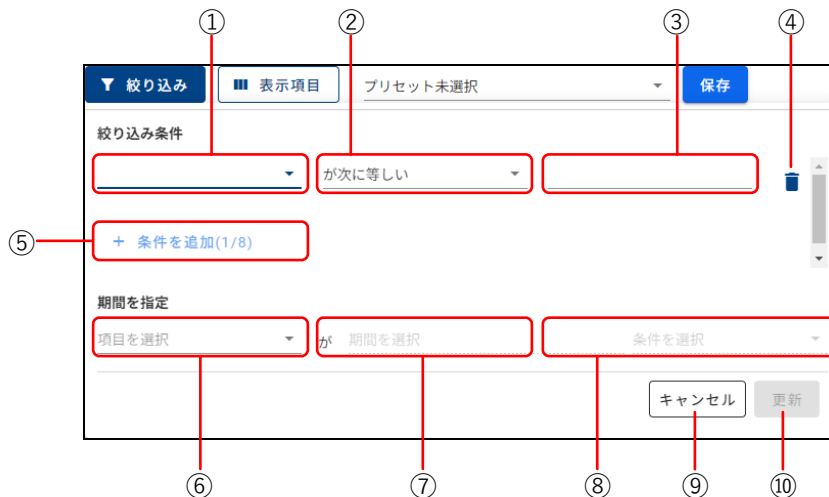
項番	名称	説明
⑦	物品情報一覧ページ表示ボタン	物品情報一覧が複数ページとなる場合に、クリックしてページを移動します。
⑧	物品情報一覧ページ番号	物品情報一覧のページ数を表示します。
⑨	[CSV] ボタン	<p>物品情報を CSV ファイルとして書き出します。</p> <p> 「物品情報項目」に「利用者」項目や「タイプ」が「従業員」に設定されたカスタム項目がある場合は、CSV を書き出すと、「利用者」項目やカスタム項目の右側に従業員番号の項目が自動的に追加されます。</p> <p>項目名は、「項目名」+「従業員番号」（例：項目名が「使用者」の場合は「使用者従業員番号」）になります。</p> <p>カスタム項目については以下を参照してください。</p> <p> 「新しい詳細項目を追加する」85 ページ</p>
⑩	[物品登録] ボタン	<p>「物品登録」画面を表示して新しい物品を登録することができます。</p> <p> 「3.2 物品登録」25 ページ</p>
⑪	物品情報件数表示メニュー	<p>1 画面に表示する物品情報の数を選択します。</p> <p>100 件、250 件、500 件から選択することができます。</p>
⑫	物品情報一覧	<p>物品情報が一覧で表示されます。</p> <p>一覧から特定の物品をクリックすると「物品詳細」画面が表示され、物品の編集、廃棄、削除を行うことができます。</p> <p> 「3.3 物品詳細」28 ページ</p>

3.1.1 表示項目を条件で絞り込む

絞り込む条件と期間を指定し、指定した条件で表示内容を絞り込みます。

◆ 「絞り込み」画面

- 「絞り込み」画面は、「物品台帳」画面で [絞り込み] をクリックすると表示されます。



項番	名称	説明						
①	絞り込み項目	物品情報項目をメニューリストで表示し、絞り込みたい項目を選択します。 👉 「3.1 「物品台帳」画面の操作」 11 ページ						
②	条件	絞り込み項目を要素によって絞り込む条件を以下から選択します。 「が次に等しい」「が次に等しくない」「が空である」「が空でない」「が次を含む」(※1)「が次を含まない」(※1)「が次より大きい」(※2)「が次より小さい」(※2)「が次以上」(※2)「が次以下」(※2) ※1：要素が選択肢以外、数値以外の場合に表示されます。 ※2：要素が数値の場合に表示されます。						
③	要素	絞り込み項目を、要素によって絞り込むための条件を設定します。 選択肢、または文字・数字を入力して設定します。 条件の選択内容によって、要素の入力または選択が必要です。						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>条件</th> <th>要素</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>が次に等しい／が次に等しくない／ が空である／が空でない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>が次を含む／が次を含まない／ が次より大きい／が次より小さい／ が次以上／が次以下</td> <td>入力または選択が必要</td> </tr> </tbody> </table>	条件	要素	が次に等しい／が次に等しくない／ が空である／が空でない		が次を含む／が次を含まない／ が次より大きい／が次より小さい／ が次以上／が次以下	入力または選択が必要
条件	要素							
が次に等しい／が次に等しくない／ が空である／が空でない								
が次を含む／が次を含まない／ が次より大きい／が次より小さい／ が次以上／が次以下	入力または選択が必要							
④	ゴミ箱	絞り込み項目 (①～③) を削除します。						
⑤	条件を追加	絞り込み項目 (①～③) を追加します。						
⑥	項目を選択	絞り込みの対象となる物品情報項目の日にちに関する項目 (導入日や購入日など) を指定します。 メニューリストで表示される物品情報項目から絞り込みたい項目を選択します。 👉 「3.1 「物品台帳」画面の操作」 11 ページ						

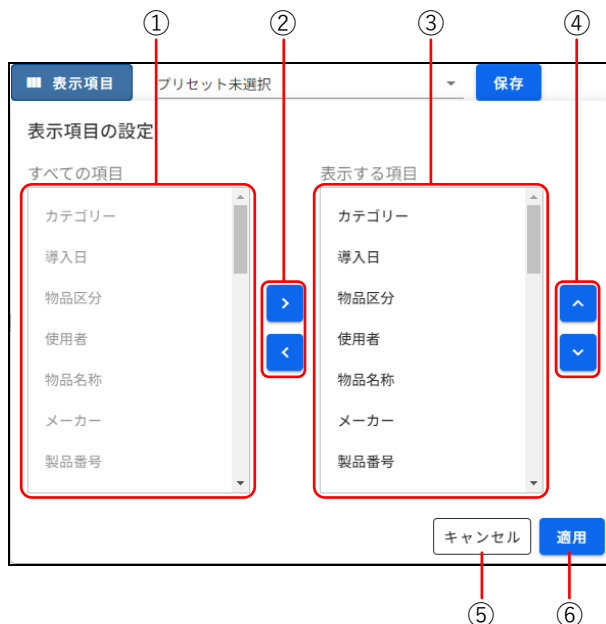
項番	名称	説明														
⑦	期間を選択	<p>[期間選択] 画面を表示し、絞り込みを行う期間を指定します。 期間は以下から選択します。 「今日」「明日」「昨日」「来週」「今週」「先週」「来月」「今月」「先月」「N日前」(※1)「N日後」(※1)「特定の日付」(※2)「特定の範囲」(※2) ※1：期間を選択後、日にち(数値)を入力します。 ※2：期間を選択後、日付を選択します。</p>														
⑧	条件を選択	<p>期間を絞り込む条件を設定します。 「と一致」「より前」「より後」から選択します。 期間の選択内容によって表示される条件が異なります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今日/明日/昨日</td> <td>と一致/より前/より後</td> </tr> <tr> <td>来週/今週/先週</td> <td>と一致</td> </tr> <tr> <td>来月/今月/先月</td> <td>と一致</td> </tr> <tr> <td>N日前/N日後</td> <td>と一致/より前/より後</td> </tr> <tr> <td>特定の日付</td> <td>と一致/より前/より後</td> </tr> <tr> <td>特定の範囲</td> <td>と一致</td> </tr> </tbody> </table>	期間	条件	今日/明日/昨日	と一致/より前/より後	来週/今週/先週	と一致	来月/今月/先月	と一致	N日前/N日後	と一致/より前/より後	特定の日付	と一致/より前/より後	特定の範囲	と一致
期間	条件															
今日/明日/昨日	と一致/より前/より後															
来週/今週/先週	と一致															
来月/今月/先月	と一致															
N日前/N日後	と一致/より前/より後															
特定の日付	と一致/より前/より後															
特定の範囲	と一致															
⑨	[キャンセル] ボタン	設定内容をキャンセルして画面を閉じます。														
⑩	[更新] ボタン	設定内容を更新して画面を閉じます。														

3.1.2 表示項目を変更する

物品情報の各項目を表示する、しないの設定や表示項目の順序を設定します。

◆ 「表示項目」画面

- 「表示項目」画面は、「物品台帳」画面で「表示項目」をクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	すべての項目	物品情報一覧の物品情報項目に、表示できるすべての項目が表示されます。
②	項目移動ボタン	「すべての項目」から項目を選び、▶をクリックすると、「表示する項目」に項目が移動し、物品情報一覧の物品情報項目に追加されます。 また、「表示する項目」から項目を選び、◀をクリックすると、「すべての項目」に項目が移動し、物品情報一覧の物品情報項目から削除されます。
③	表示する項目	物品情報一覧の物品情報項目に、現在表示されているすべての項目が表示されます。
④	表示順序設定ボタン	「表示する項目」で項目を選び、▲または▼をクリックして項目の順序を設定します。 「表示する項目」の上から並べた順序で、物品情報一覧の物品情報項目が、左から並びます。
⑤	[キャンセル] ボタン	設定内容をキャンセルして画面を閉じます。
⑥	[適用] ボタン	設定内容を更新して画面を閉じます。

3.1.3 物品情報をソートする

物品情報一覧に表示されている物品情報を、昇順、または降順に並べ替えます。
ここでは「物品管理番号」を例に説明します。

[1] 「物品管理番号」項目にカーソルを移動すると↑が表示されます。

物品管理番号 ↑	カテゴリー	導入日	物品区分	使用者
000003	モニター	2023年5月1日		
000002	パソコン	2023年5月1日		
000001	スマートフォン	2023年5月1日		
000005	CPU	2023年5月1日		
000004	GPU	2023年5月1日		

[2] ↑をクリックします。

物品管理番号 ↑	カテゴリー	導入日	物品区分	使用者
000001	スマートフォン	2023年5月1日		
000002	パソコン	2023年5月1日		
000003	モニター	2023年5月1日		
000004	GPU	2023年5月1日		
000005	CPU	2023年5月1日		

● もう一度↑をクリックすると、矢印が↓に変わり、物品管理番号が降順で並びます。

物品管理番号 ↓	カテゴリー	導入日	物品区分	使用者
000005	CPU	2023年5月1日		
000004	GPU	2023年5月1日		
000003	モニター	2023年5月1日		
000002	パソコン	2023年5月1日		
000001	スマートフォン	2023年5月1日		

3.1.4 プリセット機能

表示項目の絞り込みや変更、ソートした内容を、プリセットとして保存し、再現することができます。

作成されたプリセットは、作成者だけでなく、同じ企業内で本製品にアクセス可能なすべての使用者が使用することができます。

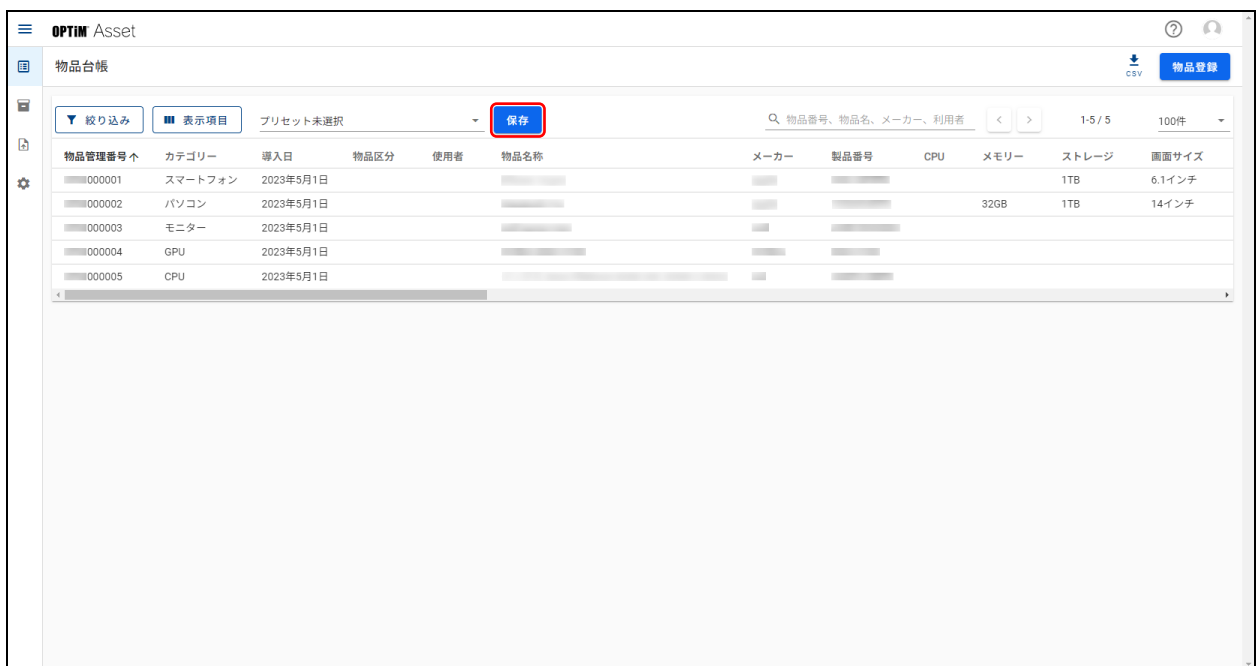
3.1.4.1 プリセットを作成する

表示項目の絞り込みや変更、ソートした内容をプリセットとして保存します。

[1] 表示項目の絞り込みや変更、物品情報のソートを行います。

- 🔗 「3.1.1 表示項目を条件で絞り込む」13 ページ
- 🔗 「3.1.2 表示項目を変更する」15 ページ
- 🔗 「3.1.3 物品情報をソートする」16 ページ

[2] [保存] をクリックします。



[3] 名称と説明文を入力します。

プリセット保存 ×

「絞り込み」「表示項目」「ソート条件」をプリセットとして、保存できます。

名称 必須

名称は必須項目です

説明文

キャンセル 保存

【4】 [保存] をクリックします。

プリセット保存 ×

「絞り込み」「表示項目」「ソート条件」をプリセットとして、保存できます。

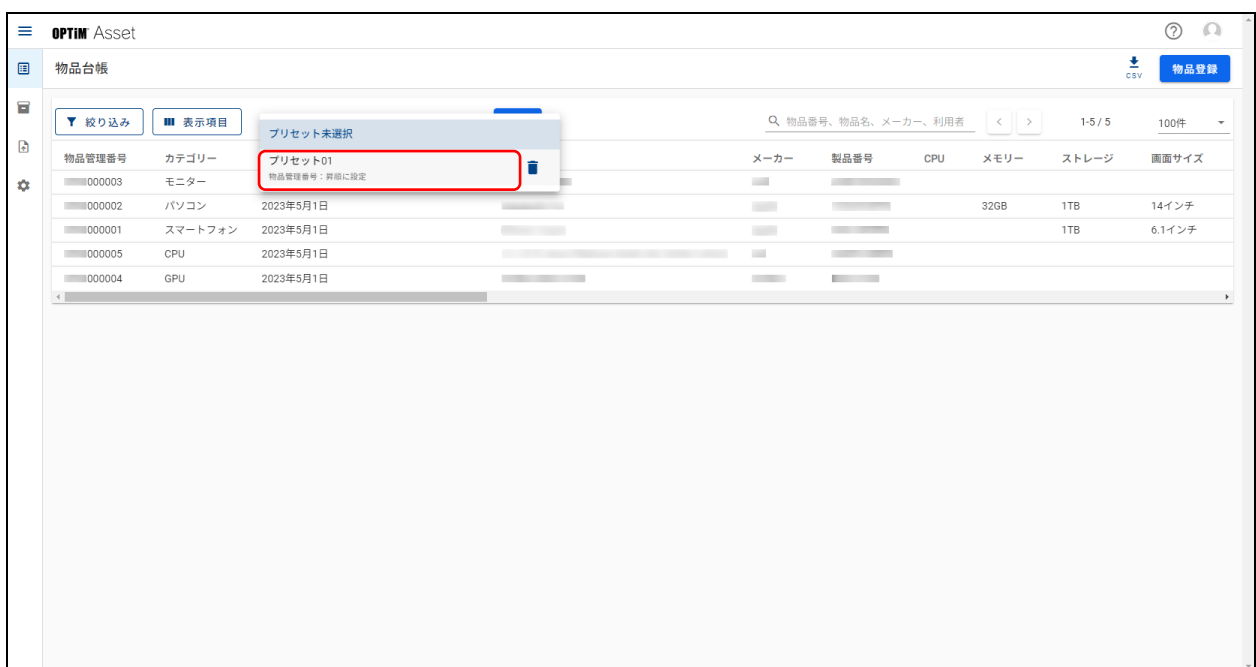
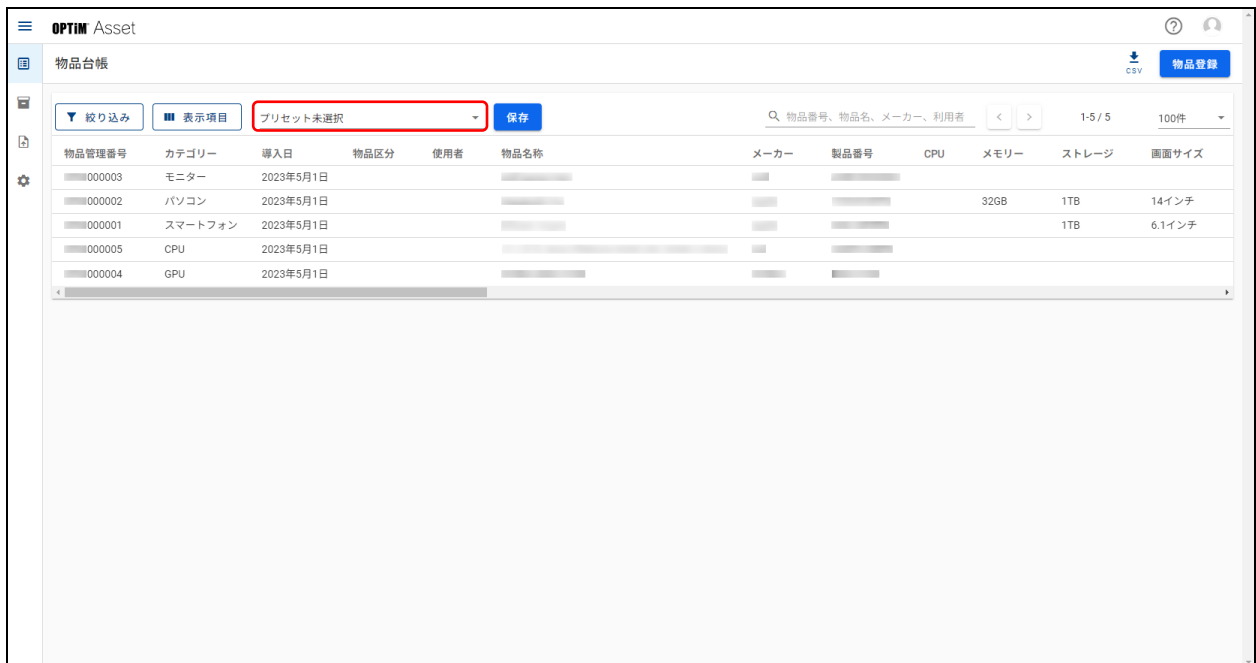
名称 必須
プリセット01

説明文
物品管理番号：昇順に設定

3.1.4.2 プリセットを再現する

保存したプリセットの内容を再現します。

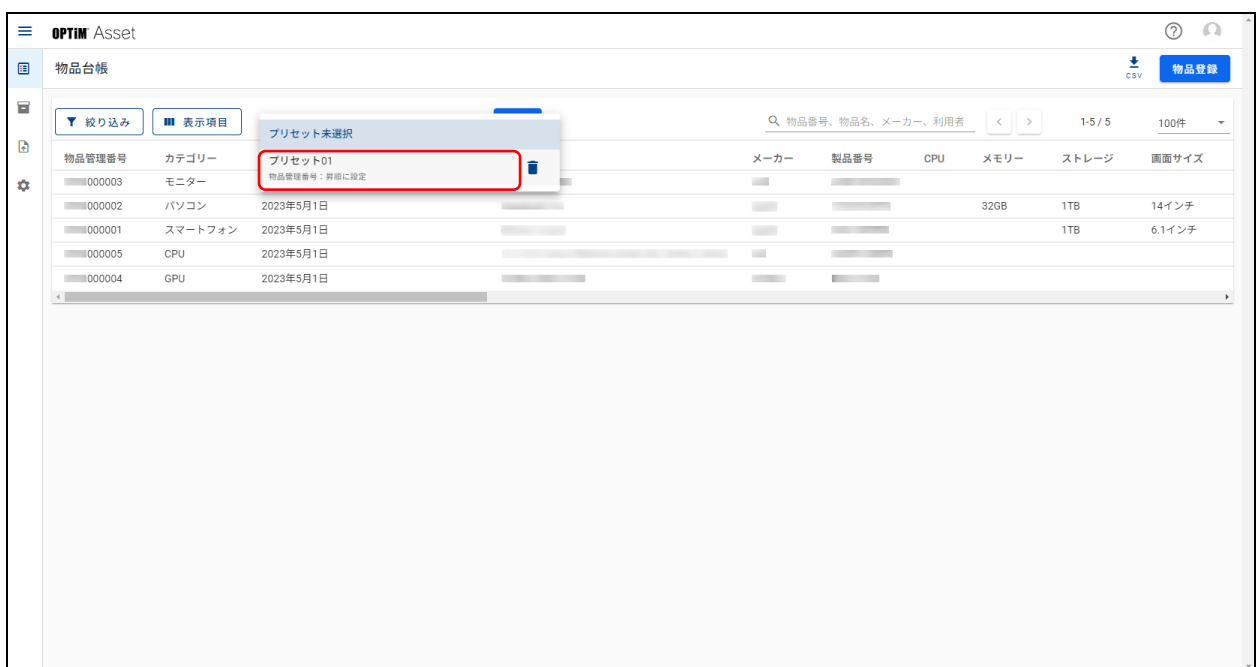
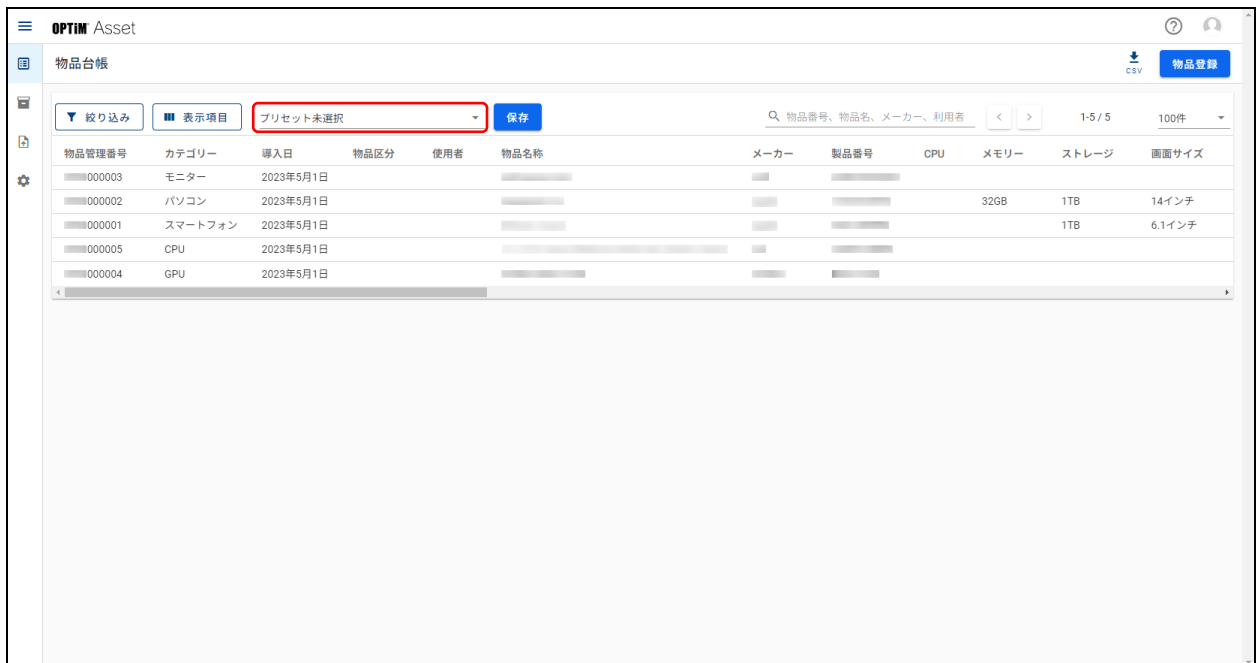
- [1]** プリセットリストボックスをクリックし、表示されるメニューから再現したいプリセットを選びます。



3.1.4.3 プリセットを編集する

保存したプリセットの設定内容や名称、説明内容を変更します。

- [1]** プリセットリストボックスをクリックし、表示されるメニューから編集したいプリセットを選びます。



[2] 設定内容を変更します。

- ここでは、「メーカー」「次に等しい」「apple」に設定しています。

OPTIM Asset

物品台帳

絞り込み条件

メーカー が次に等しい

+ 条件を追加(1/8)

期間を指定

項目を選択 が 期間を選択 条件を選択

キャンセル 更新

メーカー	製品番号	CPU	メモリー	ストレージ	画面サイズ
				1TB	6.1インチ
			32GB	1TB	14インチ

[3] [保存] をクリックします。

OPTIM Asset

物品台帳

絞り込み 表示項目 プリセット01 保存

検索 物品番号、物品名、メーカー、利用者

物品管理番号	カテゴリー	導入日	物品区分	使用者	物品名称	メーカー	製品番号	CPU	メモリー	ストレージ	画面サイズ	金額	購入日	新
000001	スマートフォン	2023年5月1日								1TB	6.1インチ	224,800	2023年5月1日	オ
000002	パソコン	2023年5月1日							32GB	1TB	14インチ	414,800	2023年5月1日	オ

【4】 名称や説明文を変更します。

プリセット保存 ×

「絞り込み」「表示項目」「ソート条件」をプリセットとして、保存できます。

名称 必須
プリセット01

説明文
物品管理番号：昇順に設定

キャンセル 保存

【5】 [保存] をクリックします。

プリセット保存 ×

「絞り込み」「表示項目」「ソート条件」をプリセットとして、保存できます。


名称 必須
プリセット01

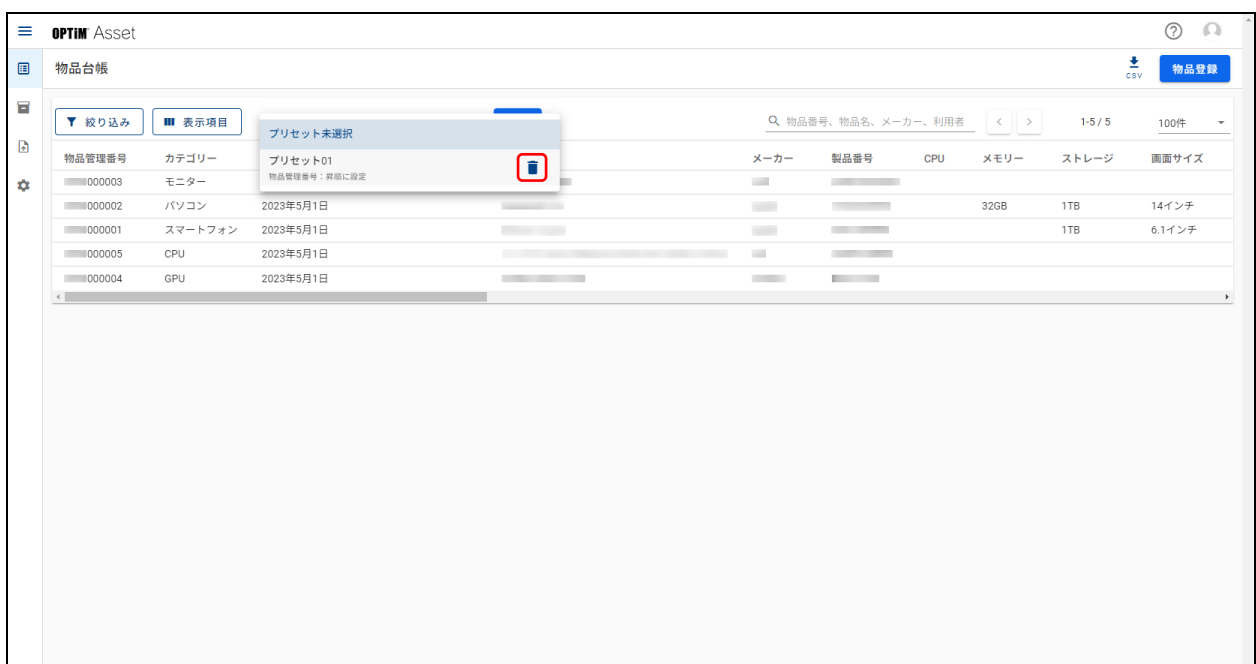
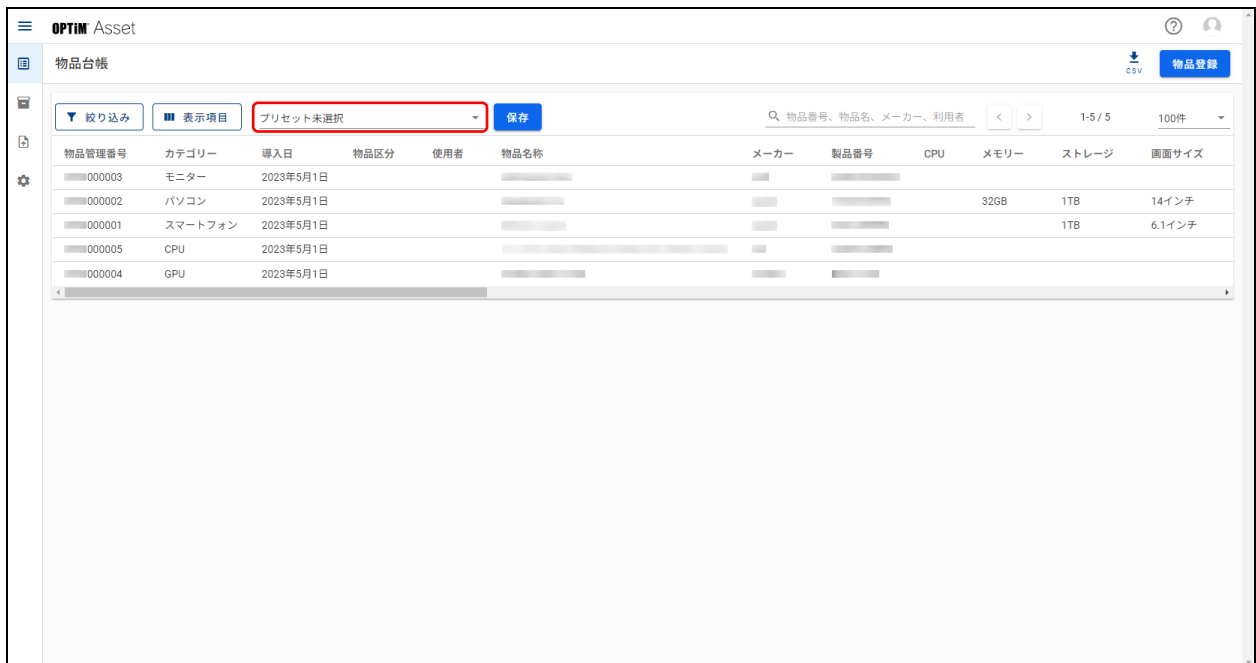
説明文
物品管理番号：昇順に設定
絞り込み：メーカー、次に等しい、apple

キャンセル 保存

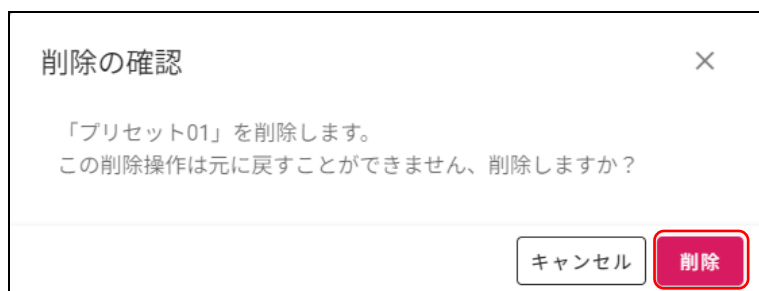
3.1.4.4 プリセットを削除する

保存したプリセットを削除します。

- [1]** プリセットリストボックスをクリックし、表示されるメニューから削除したいプリセットの  を選びます。



【2】 [削除] をクリックします。



3.2 物品登録

「物品登録」画面を表示して、物品情報を新規に登録します。
登録された物品情報は、「物品台帳」画面の物品情報一覧に追加されます。

◆ 「物品登録」画面

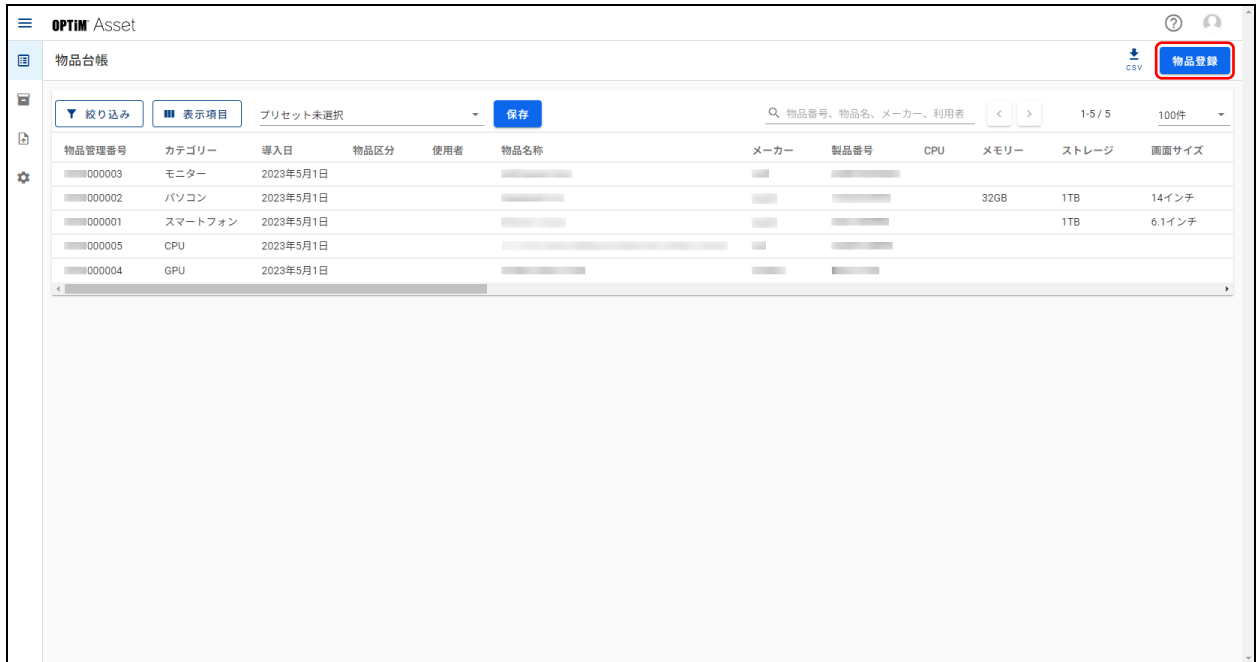
- 「物品登録」画面は、「物品台帳」画面で [物品登録] をクリックすると表示されます。
- 各項目を入力、または選択して設定し、[保存] をクリックすると、物品が登録されます。

項番	名称	説明
①	項目グループ名	項目を整理するため、一定の条件でグループとしてまとめているグループの名称です。
②	詳細項目	一定の条件でグループにまとめられた項目です。直接入力、またはリストボックスから選択肢を選んで設定します。
③	[キャンセル] ボタン	設定内容をキャンセルして画面を閉じます。
④	[保存] ボタン	設定内容を保存します。
⑤	項目グループリンク	選んだ項目グループが表示されます。
⑥	「必須」アイコン	必ず設定しなくてはならない項目に表示されます。

3.2.1 物品情報を登録する

物品情報の登録手順について説明します。

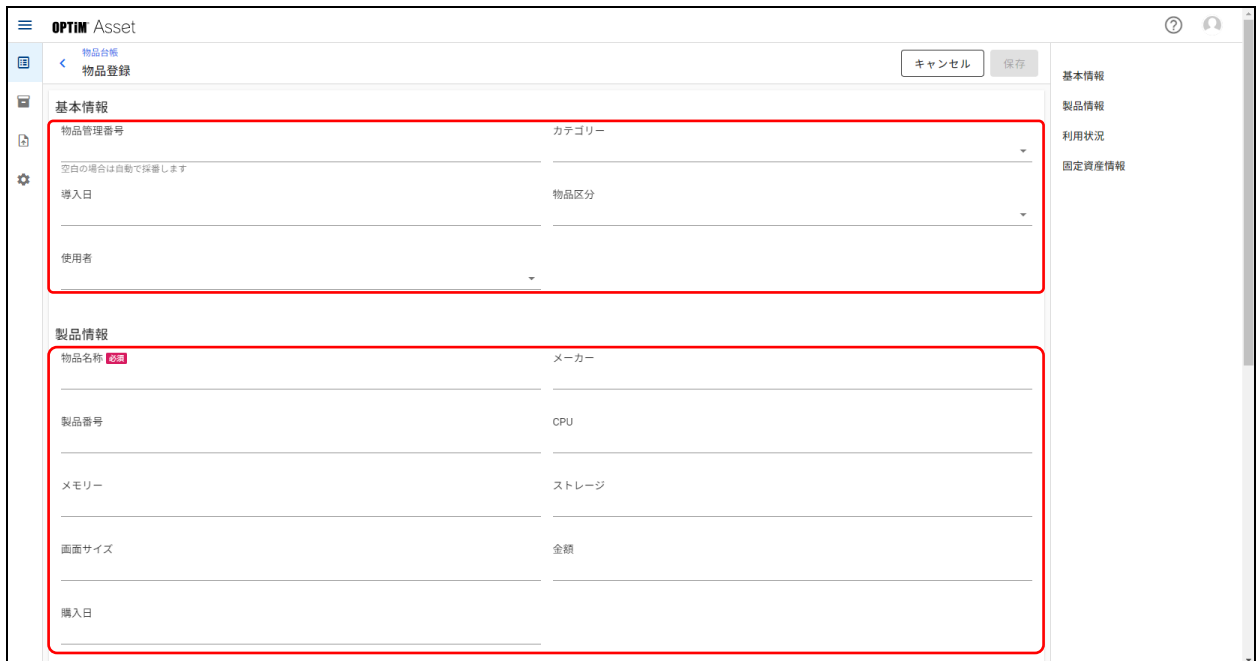
【1】 「物品台帳」画面で「物品登録」をクリックします。



【2】 各項目グループの詳細項目を設定します。

必須の項目が設定されていないと、物品情報を保存することができません。

必須項目は必ず設定してください。



[3] [保存] をクリックします。

The screenshot shows the 'OPTIM Asset' application interface. On the left is a navigation menu with options like '物品台帳', '標記管理', 'インポート', and '設定'. The main area displays a form for '物品登録' (Item Registration) under the '物品台帳' section. The form is divided into '基本情報' (Basic Information) and '製品情報' (Product Information) sections. The '基本情報' section includes fields for '物品管理番号' (000006), '導入日' (2023年5月23日), and '使用者'. The '製品情報' section includes fields for '物品名称', 'メーカー', '製品番号', 'CPU', 'メモリー', 'ストレージ' (1TB), '画面サイズ' (6.1インチ), and '金額' (224800). At the top right of the form area, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save), with the '保存' button highlighted by a red box. On the far right, there is a sidebar with a table of contents for the form sections: '基本情報', '製品情報', '利用状況', and '固定資産情報'.

基本情報	
物品管理番号	000006
導入日	2023年5月23日
使用者	

製品情報	
物品名称	
メーカー	
製品番号	
CPU	
メモリー	
ストレージ	1TB
画面サイズ	6.1インチ
金額	224800
購入日	2023年5月23日

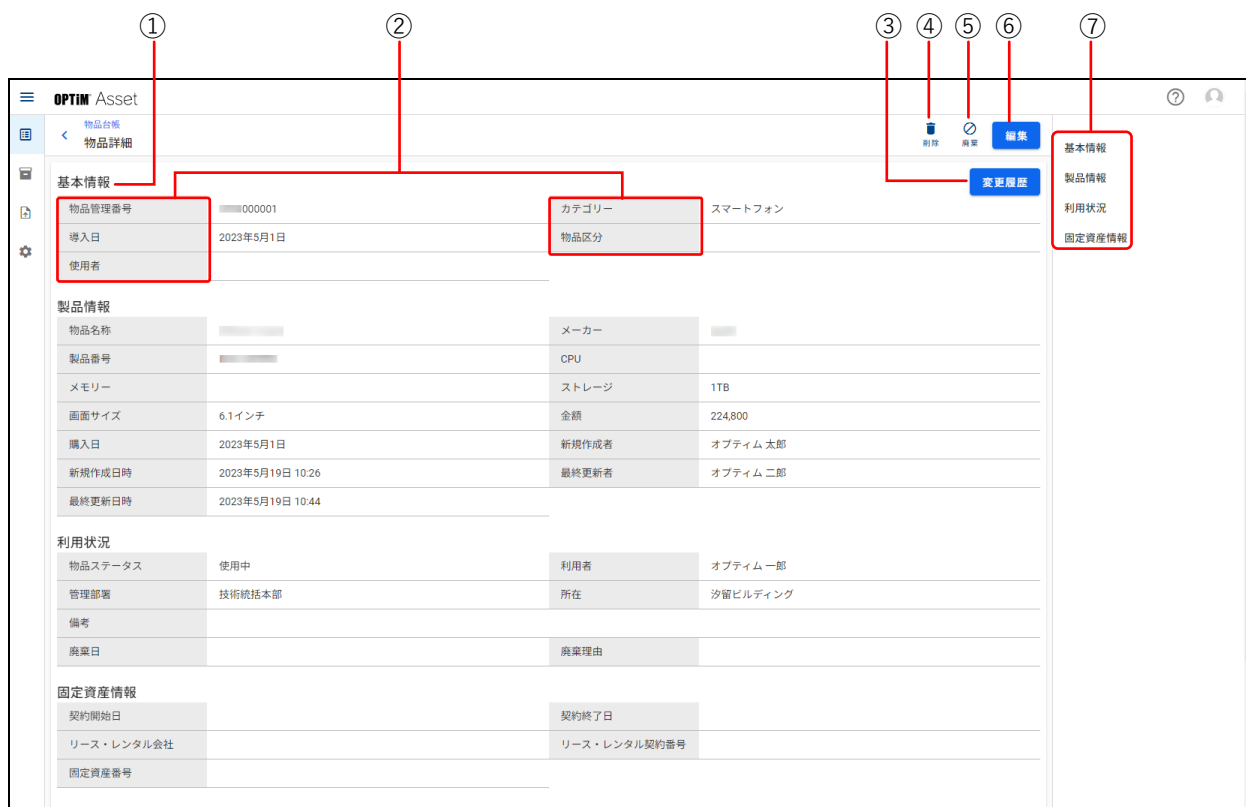
3.3 物品詳細

「物品詳細」画面を表示して、登録した物品情報の編集、物品情報のステータスを廃棄に変更、物品情報の削除を行います。物品情報の変更履歴を確認することもできます。

また、「物品詳細」画面は、詳細項目をグルーピングした複数の項目グループで構成され、グループ単位で管理されます。

◆ 「物品詳細」画面

- 「物品詳細」画面は、「物品台帳」画面で物品情報をクリックすると表示されます。

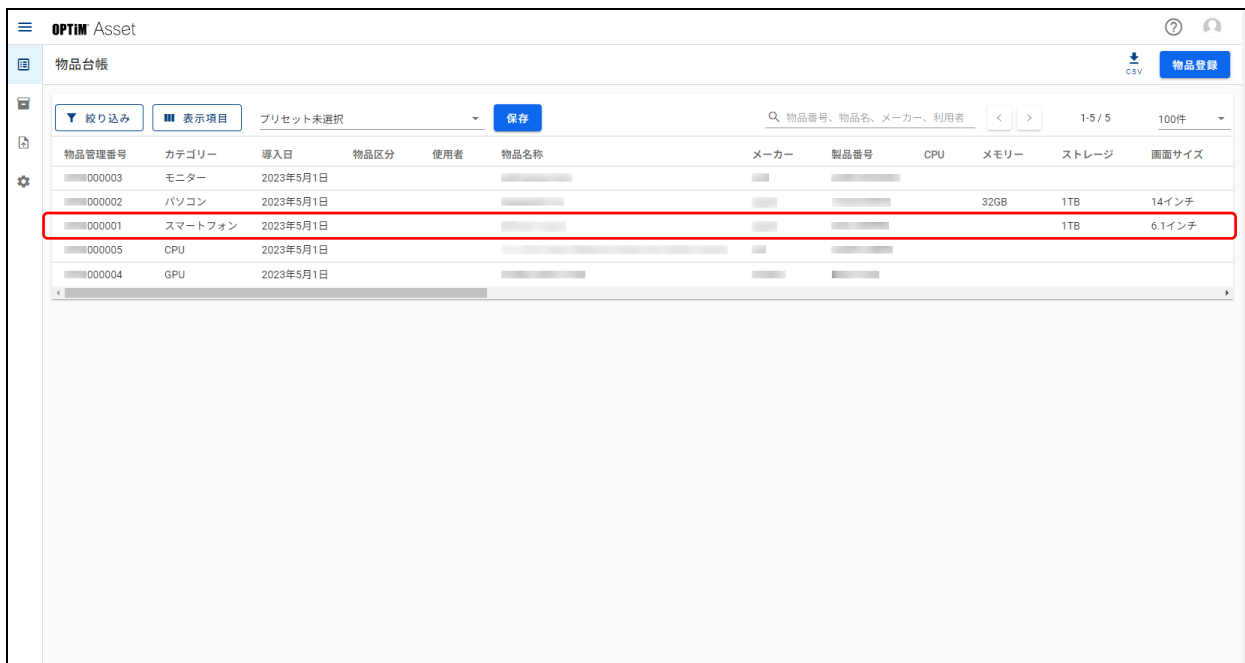


項番	名称	説明
①	項目グループ名	項目を整理するため、一定の条件でグループとしてまとめているグループの名称です。名称を変更することもできます。 👉 「項目グループの名称を変更する」 81 ページ
②	詳細項目	一定の条件でグループにまとめられた項目です。詳細項目は追加や編集などを行うことができます。 👉 「6.1.1.3 項目グループの詳細設定をする」 79 ページ
③	[変更履歴] ボタン	登録されている物品情報の変更履歴を確認します。 👉 「3.3.4 物品情報の変更履歴を確認する」 35 ページ
④	[削除] ボタン	登録されている物品情報を削除します。 👉 「3.3.3 物品の情報を削除する」 33 ページ
⑤	[廃棄] ボタン	登録されている物品情報の「物品ステータス」を「廃棄済み」にします。 👉 「3.3.2 物品のステータスを廃棄にする」 31 ページ
⑥	[編集] ボタン	登録されている物品情報を編集します。 👉 「3.3.1 物品の詳細情報を編集する」 29 ページ
⑦	項目グループリンク	選んだ項目グループが表示されます。

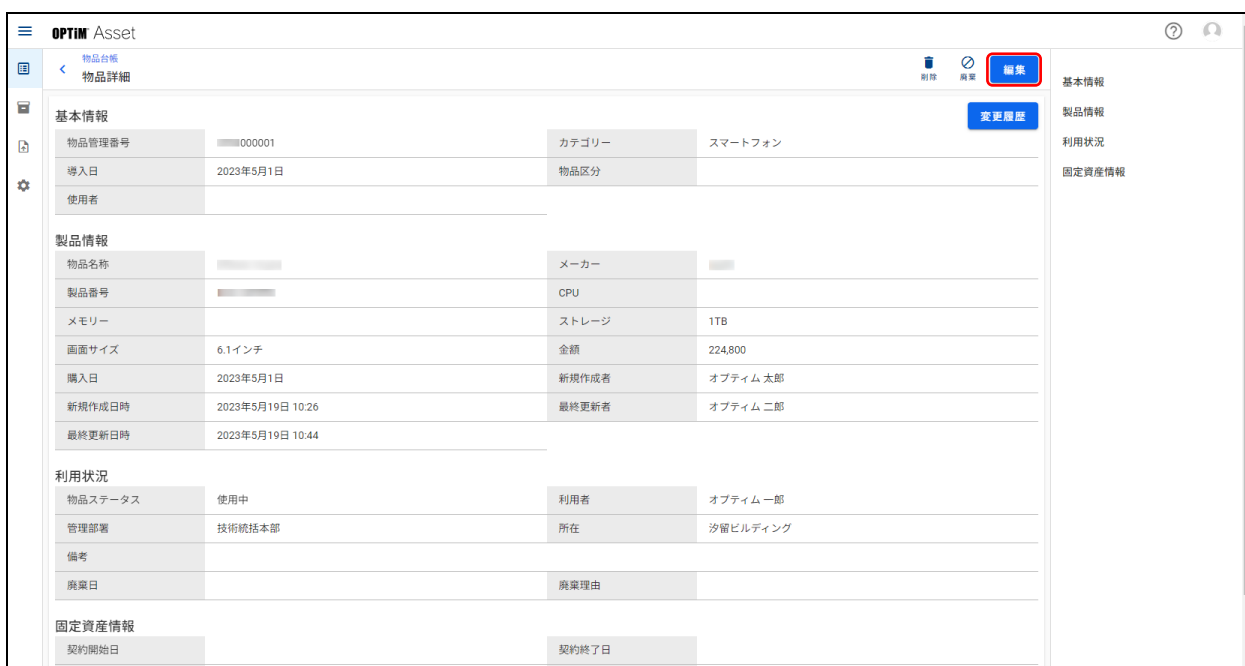
3.3.1 物品の詳細情報を編集する

登録されている物品情報の内容を編集します。

- 【1】 「物品台帳」画面で編集したい物品情報をクリックします。



- 【2】 「編集」 をクリックします。



[3] 各項目グループの詳細項目を設定します。

OPTIM Asset

物品台帳 > 物品詳細

物品編集

キャンセル 保存

基本情報

製品情報

利用状況

固定資産情報

基本情報

物品管理番号 000001

空白の場合は自動で採番します

導入日 2023年5月1日

使用者

カテゴリ スマートフォン

物品区分

製品情報

物品名称 必須

メーカー apple

製品番号 CPU

メモリー ストレージ 1TB

画面サイズ 6.1インチ

金額 224800

購入日 2023年5月1日

[4] [保存] をクリックします。

OPTIM Asset

物品台帳 > 物品詳細

物品編集

キャンセル 保存

基本情報

製品情報

利用状況

固定資産情報

基本情報

物品管理番号 000001

空白の場合は自動で採番します

導入日 2023年5月1日

使用者

カテゴリ スマートフォン

物品区分

製品情報

物品名称 必須

メーカー apple

製品番号 CPU

メモリー ストレージ 1TB

画面サイズ 6.1インチ

金額 224800

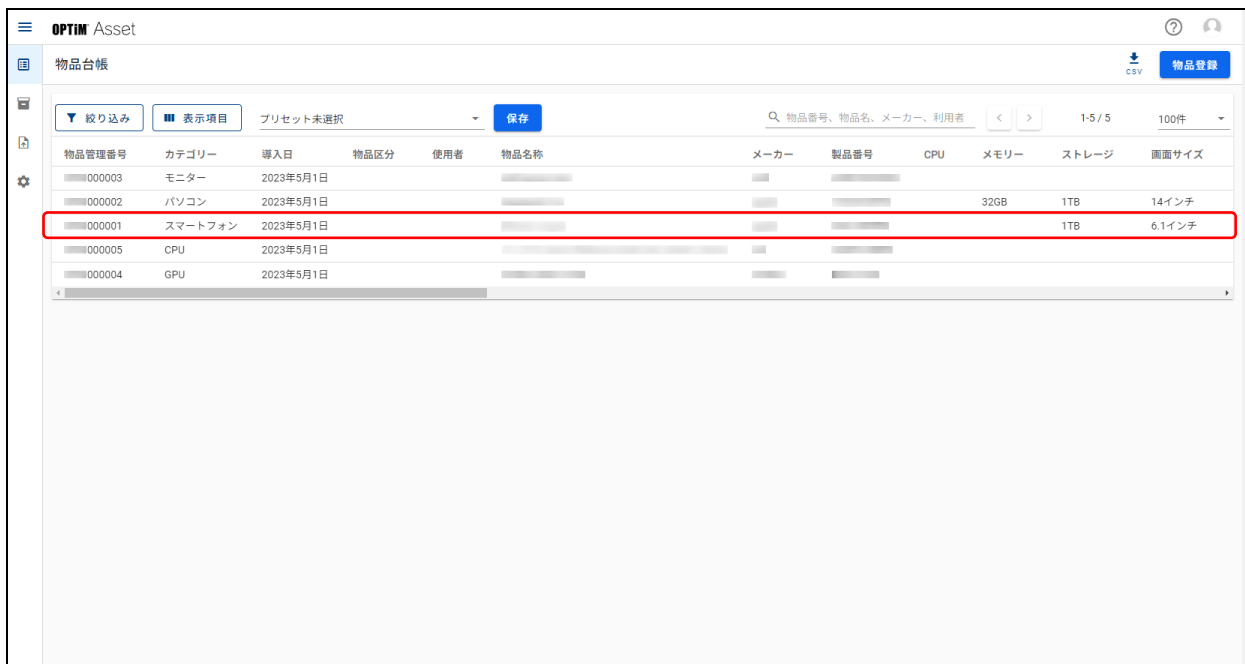
購入日 2023年5月1日

3.3.2 物品のステータスを廃棄にする

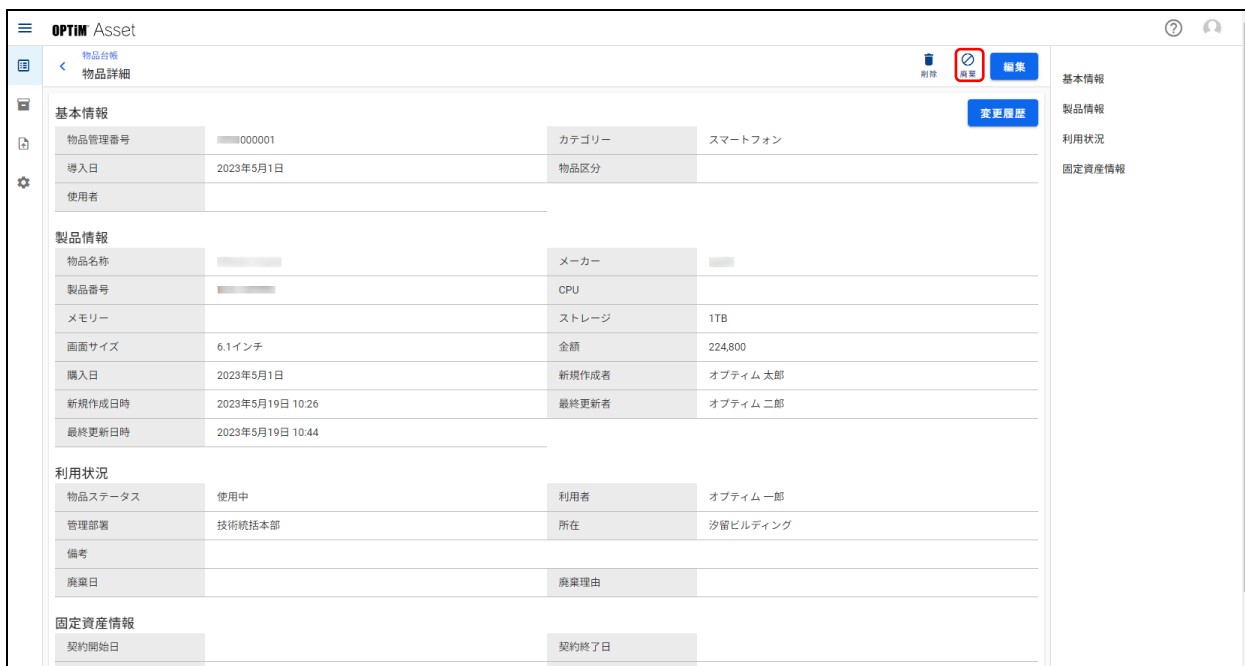
「物品台帳」画面の「物品ステータス」を「廃棄済み」に変更します。

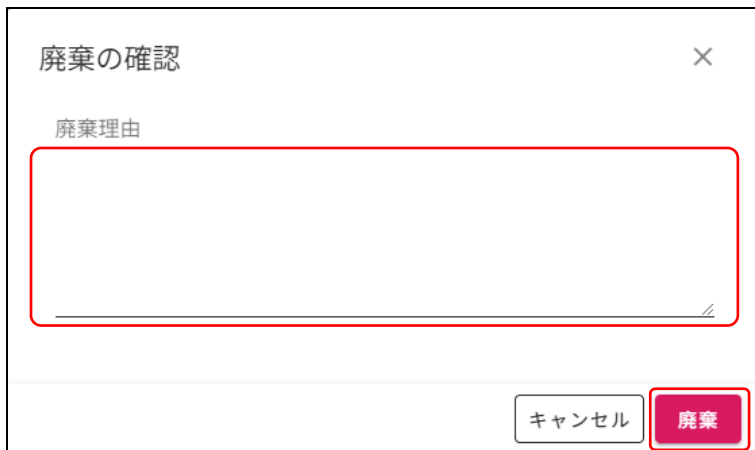
削除とは異なり、物品情報は削除されないため、物品は廃棄するが情報は残したい場合に使用します。

[1] 「物品台帳」画面で廃棄したい物品情報をクリックします。



[2] 「廃棄」をクリックします。



[3] 廃棄理由を入力して「廃棄」をクリックします。

廃棄の確認

廃棄理由

キャンセル 廃棄

⇒ 「物品ステータス」が「廃棄済み」に変更されます。

✎ 「物品ステータス」の表示を「廃棄済み」から他のステータスに変更したい場合は、「物品編集」画面を表示し、「利用状況」の「物品ステータス」で行うことができます。

📖 「3.3.1 物品の詳細情報を編集する」29 ページ

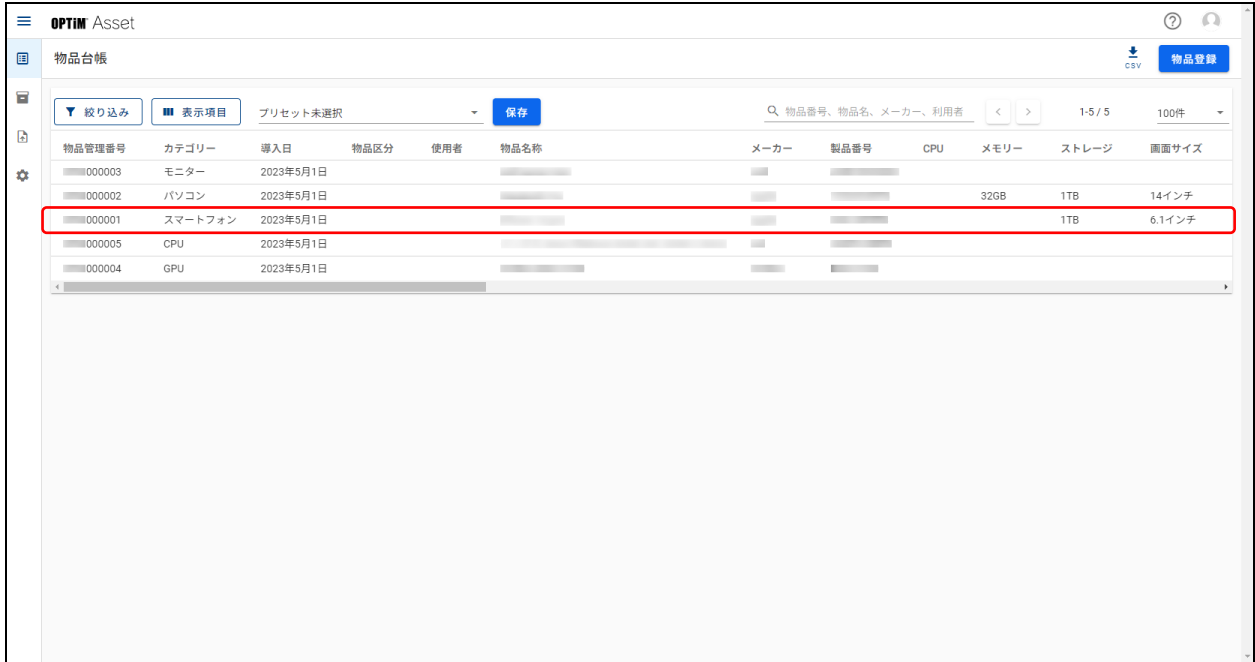
3.3.3 物品の情報を削除する

物品情報を削除します。

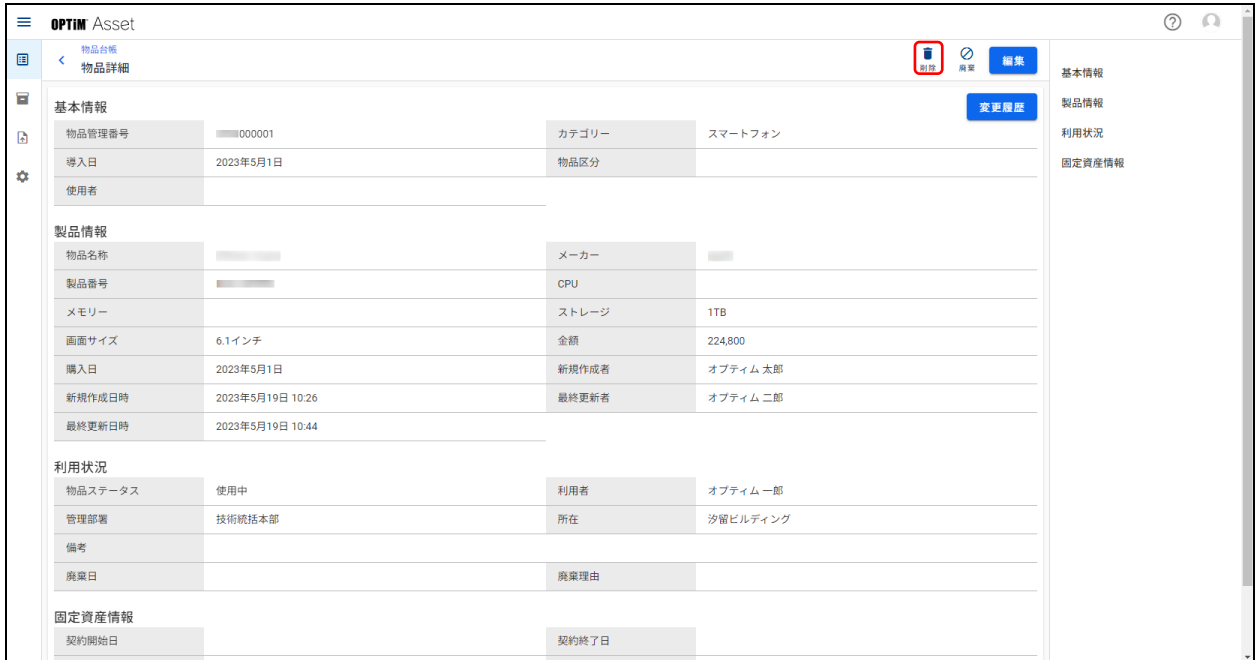
廃棄とは異なり、物品情報が物品情報一覧から削除されるため、物品の情報は残りません。

- 物品情報を削除すると、過去の棚卸記録や変更履歴も含め、すべての情報が削除されます。物品情報の復元はできないため、削除する場合は十分に注意してください。

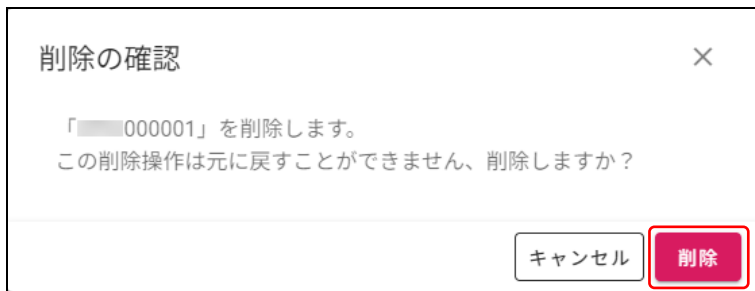
【1】 「物品台帳」画面で削除したい物品情報をクリックします。



【2】 [削除] をクリックします。



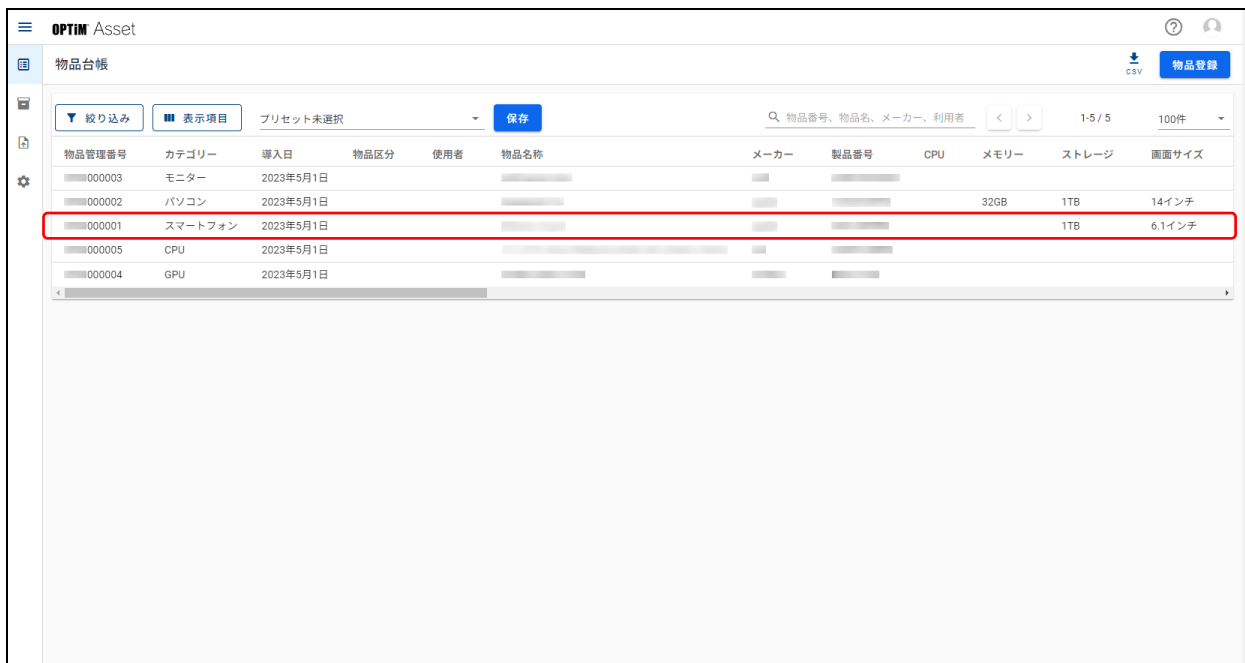
【3】 [削除] をクリックします。



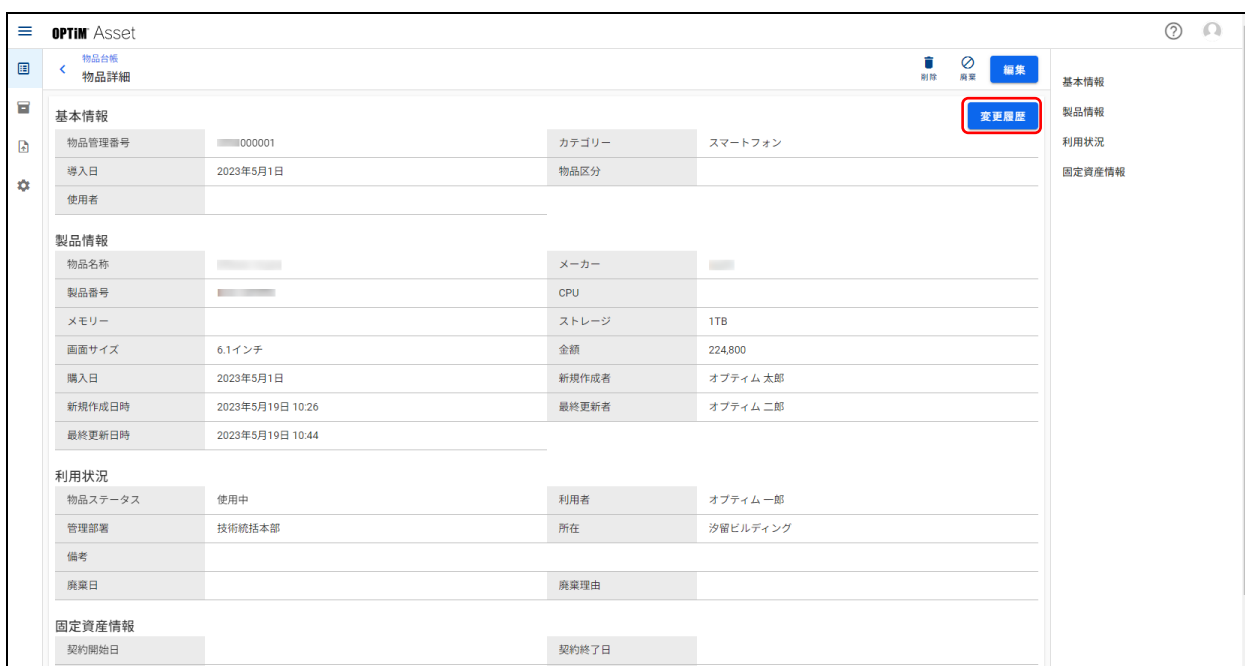
3.3.4 物品情報の変更履歴を確認する


物品情報の登録日から現在までの変更履歴を表示します。


【1】 「物品台帳」画面で編集したい物品情報をクリックします。







【2】 [変更履歴] をクリックします。



[3] 変更履歴を確認し、 をクリックします。

の変更履歴 

2023年5月19日 10:26 オプティム 太郎 さんが CSV新規追加 を行いました。 ^

物品管理番号	なし → 	カテゴリ	なし → スマートフォン
導入日	なし → 2023年5月1日	物品名称	なし → 
メーカー	なし → 	製品番号	なし → 
ストレージ	なし → 1TB	画面サイズ	なし → 6.1インチ
金額	なし → 224,800	物品ステータス	なし → 使用中
利用者	なし → オプティム 一部	管理部署	なし → 技術統括本部
所在	なし → 汐留ビルディング	購入日	なし → 2023年5月1日

4 棚卸管理

棚卸を行うための棚卸計画や棚卸進捗状況の確認、棚卸報告のルール設定などを行います。

4.1 棚卸計画

棚卸計画の名称や報告の方法、対象となる物品、部署ごとや所在場所ごとの責任者の設定など、棚卸を実施するための準備をします。

◆ 「棚卸計画」画面

- 「棚卸計画」画面は、（棚卸管理） → [棚卸計画] の順にクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	棚卸計画項目	棚卸計画に必要な各項目が表示されます。
②	[棚卸準備] ボタン	「棚卸準備」画面を表示して、棚卸計画を作成します。 「4.1.1 棚卸計画を作成する」39 ページ
③	棚卸計画	作成した棚卸計画が表示されます。

4.1.1 棚卸計画を作成する

[1]  (棚卸管理) → [棚卸計画] の順にクリックします。

[2] [棚卸準備] をクリックします。



棚卸計画	状態	棚卸開始日	棚卸終了日	棚卸対象物品数	作成者	作成日
2023-07-20 棚卸	準備中	-	-	6	オプティム 太郎	2023年5月25日
2023-05-19 棚卸	実行中	2023年5月19日	-	5	オプティム 太郎	2023年5月19日

[3] 「棚卸計画名称」を入力し、[現物確認+利用状況報告]、または [現物確認のみ] を選択して [次へ] をクリックします。



棚卸準備

1 基本設定 — 2 対象物品範囲 — 3 担当範囲 — 4 責任者・担当者 — 5 内容確認

棚卸計画の名称を設定します。

棚卸計画名称 必須

2024-03-10 棚卸計画

モバイルアプリの2次元バーコード読み取り時の 棚卸報告方法を指定します。

現物確認+利用状況報告
2次元バーコード読み取り、現物確認を行います。
その後、現物確認を行った物品の所在・管理部署・利用者・ステータスの報告を実施します。

現物確認のみ
2次元バーコード読み取り、現物確認のみを行います。

キャンセル 次へ >

- 【4】** [全てのステータスの物品が対象]、または [選択したステータスの物品が対象] を選択し、[次へ] をクリックします。

棚卸準備

基本設定 — 2 対象物品範囲 — 3 担当範囲 — 4 責任者・担当者 — 5 内容確認

棚卸対象とする物品のステータスを選択してください。

全てのステータスの物品が対象

選択したステータスの物品が対象

キャンセル < 戻る 次へ >

- [選択したステータスの物品が対象] を選択した場合は、表示されるステータスを選択して [次へ] をクリックします。

棚卸準備

基本設定 — 2 対象物品範囲 — 3 担当範囲 — 4 責任者・担当者 — 5 内容確認

棚卸対象とする物品のステータスを選択してください。

全てのステータスの物品が対象

選択したステータスの物品が対象

- 納品待ち
- 使用中
- 在庫
- 修理・点検中
- 紛失・盗難
- リースレンタル返却
- 廃棄済み
- その他

キャンセル < 戻る 次へ >

- 【5】** [部署ごと]、[所在ごと]、[範囲指定なし] のいずれかを選択し、[次へ] をクリックします。

棚卸準備

基本設定 —
 対象物品範囲 —
 3 担当範囲 —
 4 責任者・担当者 —
 5 内容確認

棚卸の担当範囲を選択してください。

部署ごと
 管理部署ごとに、棚卸の担当を割り当てます。

所在ごと
 所在ごとに、棚卸の担当を割り当てます。

範囲指定なし
 担当範囲、責任者、担当者を指定せずに棚卸を行います。

- 【6】** 「責任者」と「担当者（最大5名）」のリストボックスから、責任者、担当者の名前を選択し、[次へ] をクリックします。

棚卸準備

基本設定 —
 対象物品範囲 —
 担当範囲 —
 4 責任者・担当者 —
 5 内容確認

棚卸の責任者・担当者を入力してください。

※棚卸の責任者と担当者は、あとで設定することも可能です。

技術統括本部	責任者	担当者 (最大5名)
経営企画本部	責任者	担当者 (最大5名)
経営管理本部	責任者	担当者 (最大5名)

- ここでは、手順5の担当範囲で [部署ごと] を選択した画面を例に説明していますが、他の担当範囲を選択した場合も設定方法は同じです。

[7] 内容を確認して [作成] をクリックします。

棚卸準備 ×

✓ 基本設定 — ✓ 対象物品範囲 — ✓ 担当範囲 — ✓ 責任者・担当者 — 5 内容確認

内容を確認し、作成ボタンを押してください。

棚卸計画名称	2024-03-10 棚卸計画		
棚卸利用者報告	現物確認+利用状況報告		
対象物品範囲	全てのステータスの物品が対象		
担当範囲	部署ごと		
責任者・担当者	部署名	責任者	担当者
	技術統括本部	オプティム 太郎	オプティム 三郎
	経営企画本部	オプティム 一郎	オプティム 四郎
	経営管理本部	オプティム 二郎	オプティム 五郎

キャンセル < 戻る 作成

4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する

棚卸計画詳細画面では、作成した棚卸計画の編集や削除のほか、棚卸グループの追加や編集、対象物品の変更など多岐にわたる設定を行うことができます。

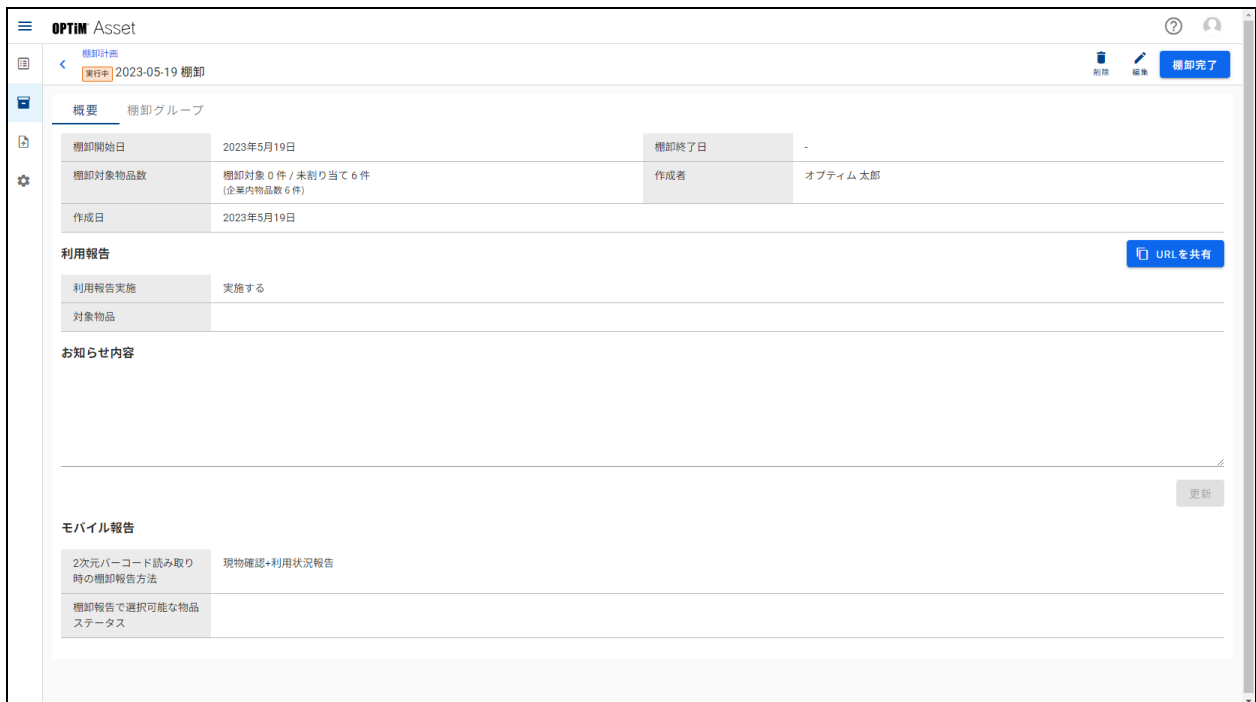
ここでは棚卸計画詳細画面の表示方法や、棚卸計画詳細画面内の [概要] タブ画面と [棚卸グループ] タブ画面について説明します。


[1]  (棚卸管理) → [棚卸計画] の順にクリックします。

[2] 棚卸計画をクリックします。



⇒ 棚卸計画詳細画面が表示されます。

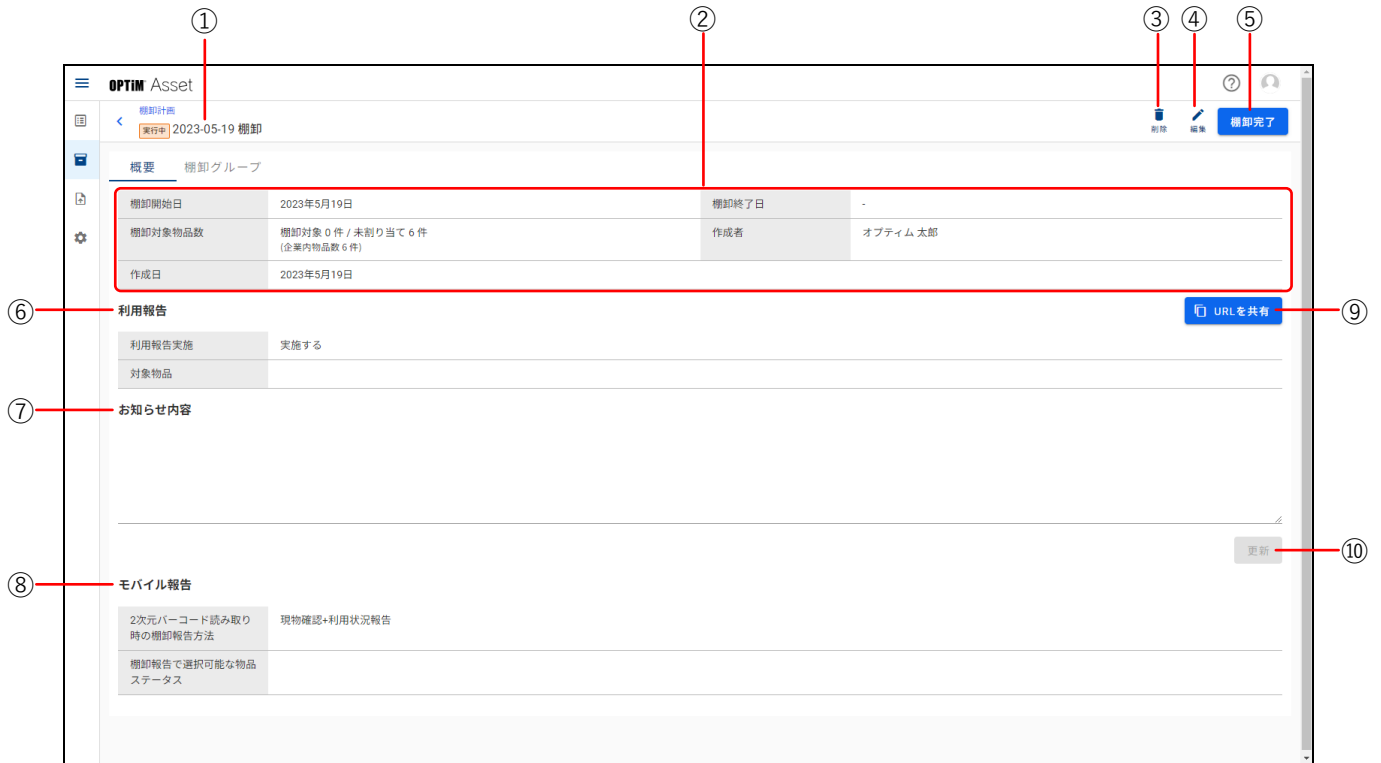


 棚卸計画詳細画面 ([概要] タブ画面)

 棚卸計画詳細画面 ([棚卸グループ] タブ画面)

◆ 棚卸計画詳細画面（[概要] タブ画面）

- [概要] タブ画面は、（棚卸管理）→ [棚卸計画] の順にクリック→「棚卸計画」画面で棚卸計画をクリック→ [概要] タブをクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	棚卸計画名称	棚卸計画の名称が表示されます。
②	棚卸計画情報	棚卸計画の情報（「棚卸開始日」「棚卸終了日」「棚卸対象物品数」「作成者」「作成日」）が表示されます。
③	[削除] ボタン	表示している棚卸計画を削除します。 👉 「4.1.2.2 棚卸計画を削除する」 49 ページ
④	[編集] ボタン	「棚卸計画の編集」画面を表示し、名称や報告内容の変更などを行います。 👉 「4.1.2.1 棚卸計画を編集する」 46 ページ
⑤	[棚卸開始] / [棚卸完了] / [準備中に戻す] ボタン	棚卸状況により、表示が変化します。
⑥	利用報告	「利用報告実施」「対象物品」の設定内容が表示されます。設定は「棚卸計画編集」画面で行います。 👉 「4.1.2.1 棚卸計画を編集する」 46 ページ
⑦	お知らせ内容	棚卸時に利用報告サイトに表示するメッセージを入力します。
⑧	モバイル報告	「2次元バーコード読み取り時の棚卸報告方法」と「棚卸報告で選択可能な物品ステータス」を表示します。設定は「棚卸計画編集」画面で行います。 👉 「4.1.2.1 棚卸計画を編集する」 46 ページ
⑨	[URL を共有] ボタン	利用報告を行うときに担当者や製品使用者に送信するための、利用報告サイトの URL をコピーします。コピーした URL はメールなどで配信します。
⑩	[更新] ボタン	「お知らせ内容」を追加/変更した場合に入力した内容を更新します。

◆ 棚卸計画詳細画面（「棚卸グループ」タブ画面）

- 「棚卸グループ」タブ画面は、（棚卸管理）→「棚卸計画」の順にクリック→「棚卸計画」画面で棚卸計画をクリック→「棚卸グループ」タブをクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	「グループを追加」ボタン	「棚卸グループの作成」画面を表示して、グループを追加します。 👉 「4.1.3 棚卸グループを追加する」 50 ページ
②	棚卸グループ項目	棚卸グループの項目を表示します。特定の項目をクリックすると、ソートすることができます。 👉 「3.1.3 物品情報をソートする」 16 ページ
③	棚卸グループ一覧	一覧に表示されている棚卸グループをクリックすると、棚卸グループ詳細画面が表示され、各種の設定を行うことができます。 👉 「4.1.4 棚卸グループを操作する」 52 ページ

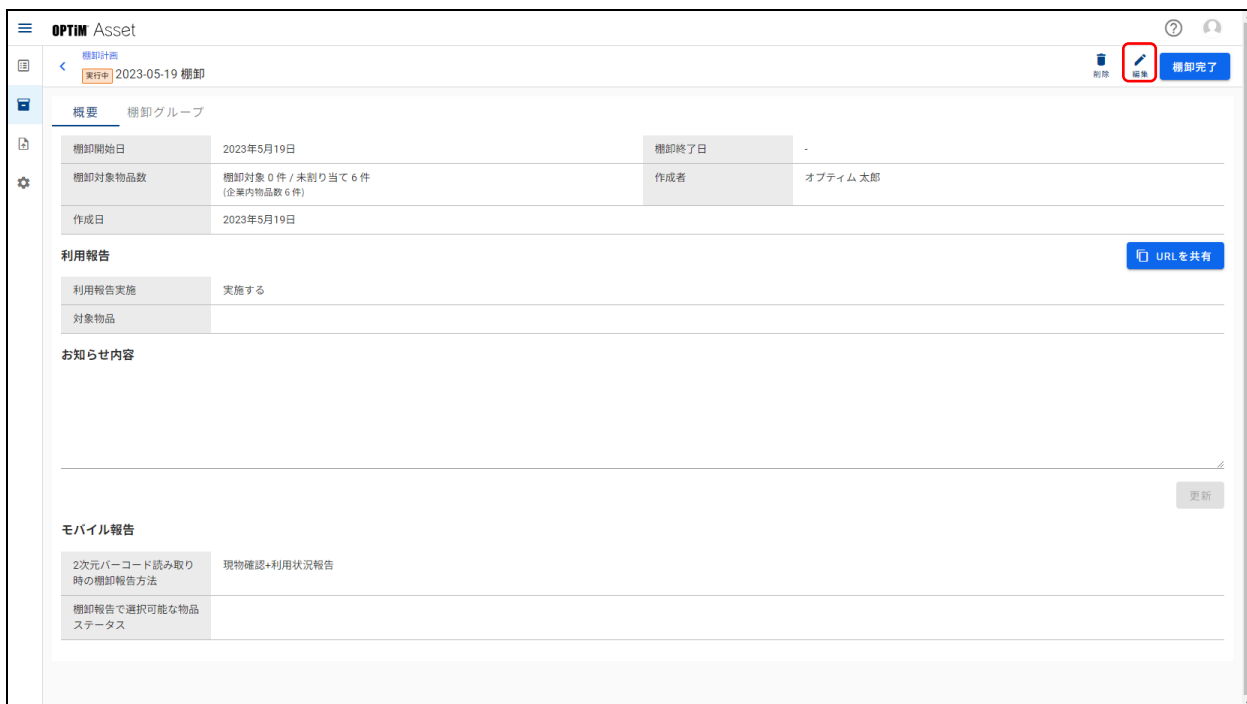
4.1.2.1 棚卸計画を編集する

棚卸計画名称や棚卸報告方法の変更を行います。

[1] 棚卸計画詳細画面を表示します。

🔗 「4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する」43 ページ

[2] [編集] をクリックします。





⇒ 「棚卸計画編集」画面が表示されます。



[3] 棚卸計画名称を変更します。

基本情報	
棚卸計画名称	必須
2023-07-20 棚卸	

[4] 利用報告を実施する／しないを設定します。

-  : ボタンを右側にすると ON (紺色) となり、利用報告を実施します。
-  : ボタンを左側にすると OFF (白色) となり、利用報告は実施されません。

利用報告

利用報告の実施

 「利用報告」を OFF (しない) に設定した場合は、「利用報告の対象物品」は非表示になります。

[5] 利用報告を実施するに設定した場合は、「対象物品」から、利用報告の対象としたい物品にチェックを入れます。

- 「カテゴリ」にチェックを入れるとすべての物品にチェックが入ります。

対象物品

<input checked="" type="checkbox"/>	カテゴリ	棚卸対象物品数
<input checked="" type="checkbox"/>	CPU	1
<input checked="" type="checkbox"/>	GPU	1
<input checked="" type="checkbox"/>	スマートフォン	2
<input checked="" type="checkbox"/>	パソコン	1
<input checked="" type="checkbox"/>	モニター	1

[6] 「2次元バーコード読み取り時の棚卸報告方法」で [現物確認+利用状況報告]、または [現物確認のみ] を選択します。

2次元バーコード読み取り時の棚卸報告方法

現物確認+利用状況報告

2次元バーコード読み取り、現物確認を行います。
その後、現物確認を行った物品の所在・管理部署・利用者・ステータスの報告を実施します。

現物確認のみ

2次元バーコード読み取り、現物確認のみを行います。

[7] 「棚卸報告で選択可能な物品ステータス」から、モバイル報告の対象としたい物品にチェックを入れます。

- 「ステータス」にチェックを入れるとすべての物品にチェックが入ります。

棚卸報告で選択可能な物品ステータス

ステータス

使用中

在庫

修理・点検中

リースレンタル返却

廃棄済み

その他

納品待ち

紛失・盗難

【8】 [保存] をクリックします。

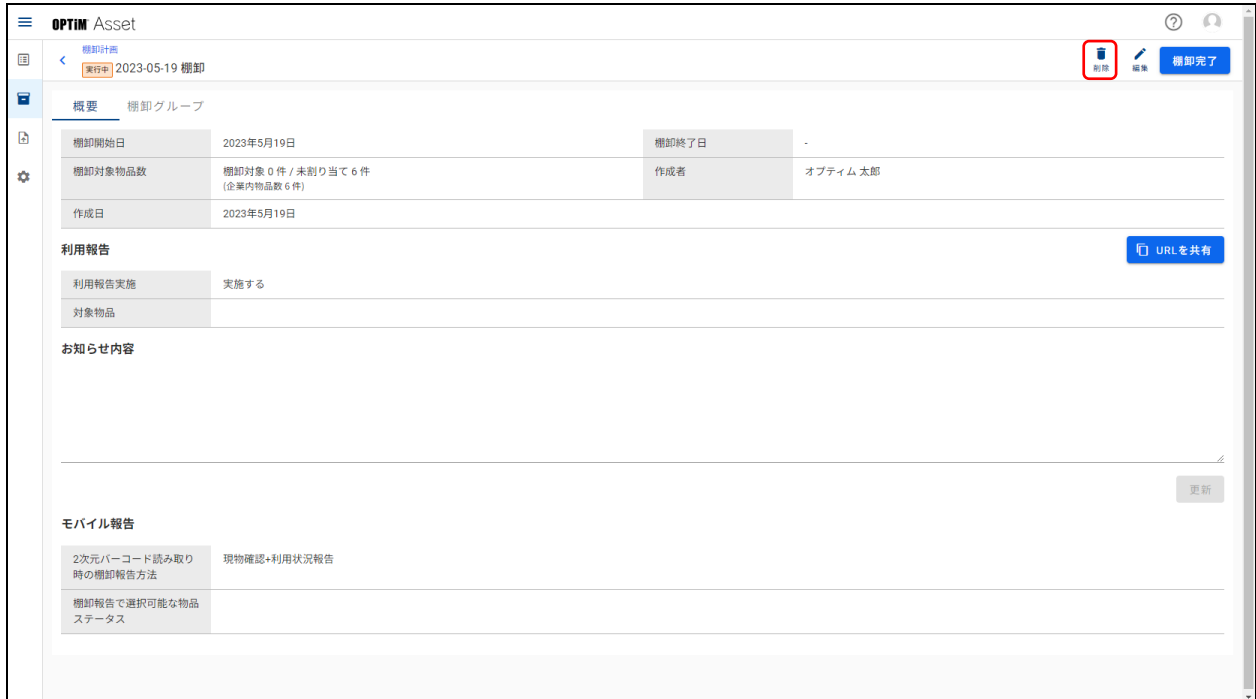


4.1.2.2 棚卸計画を削除する

【1】 棚卸計画詳細画面を表示します。

👉 「4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する」 43 ページ

【2】 [削除] をクリックします。



【3】 [削除] をクリックします。

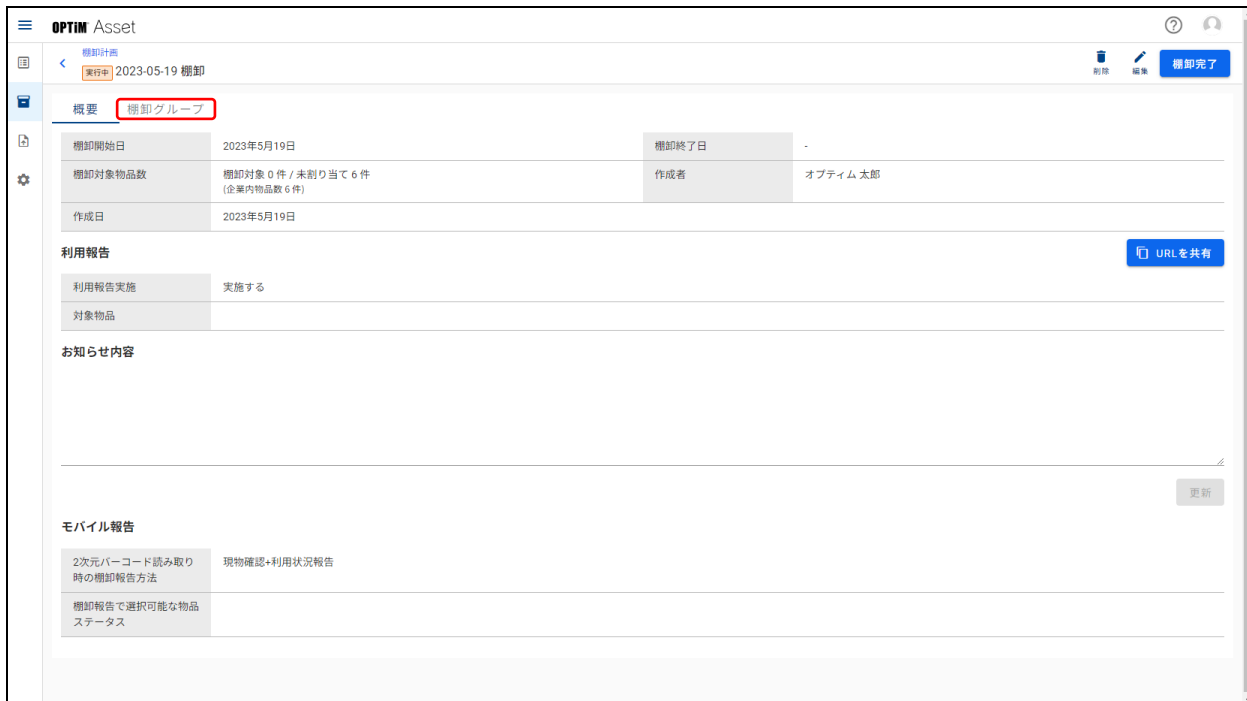


4.1.3 棚卸グループを追加する

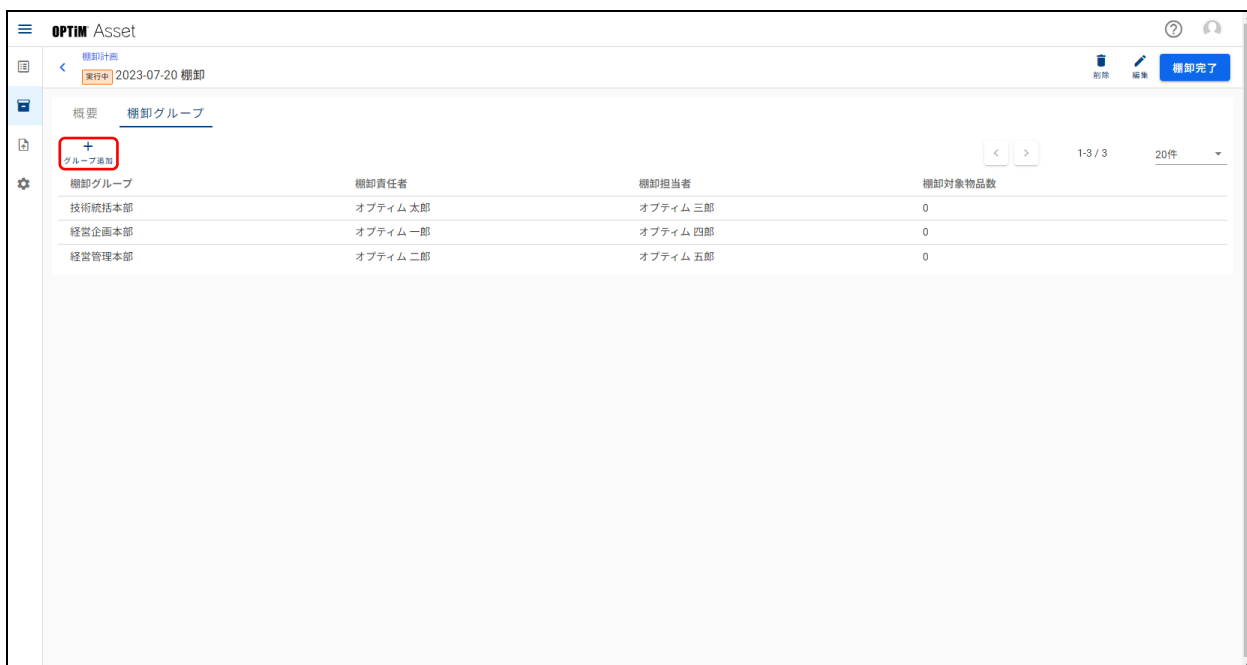
[1] 棚卸計画詳細画面を表示します。

🔗 「4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する」 43 ページ

[2] 「棚卸グループ」 タブをクリックします。



[3] 「グループ追加」 をクリックします。



【4】 「棚卸グループ名」「棚卸責任者」「棚卸担当者」を設定し、[追加] をクリックします。

棚卸グループの作成 ×

棚卸グループ名、棚卸担当者を入力し「追加」を押してください。
棚卸グループ名、棚卸担当者はあとから変更できます。
棚卸担当者は、最大5名まで選択することができます。

棚卸グループ名 必須

棚卸グループ名は必須項目です

棚卸責任者 ▼

棚卸担当者 ▼

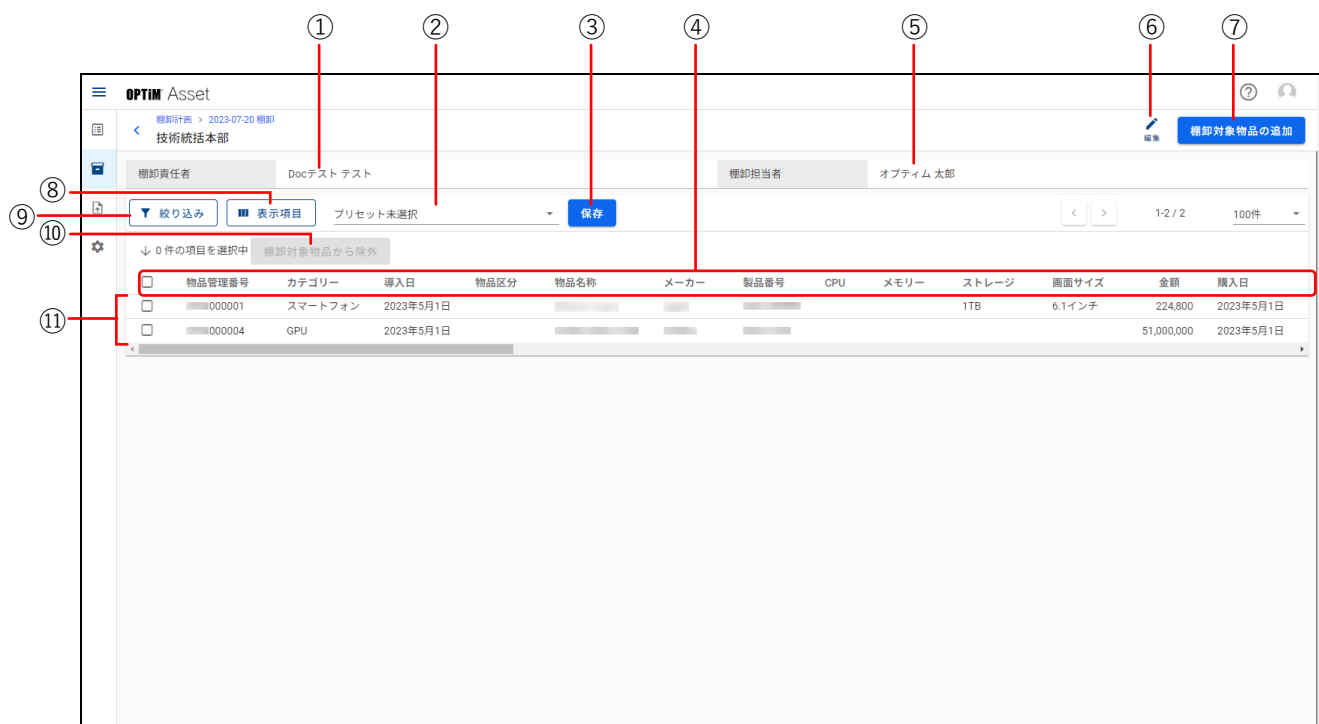
キャンセル 追加

4.1.4 棚卸グループを操作する

棚卸グループの編集（棚卸グループ名、棚卸責任者、棚卸担当者の変更）や棚卸グループの削除、棚卸の対象となる物品の追加や対象からの除外を行います。

◆ 棚卸グループ画面

- 棚卸グループ画面は、棚卸計画詳細画面の [棚卸グループ] タブ画面で、棚卸グループをクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	棚卸責任者名	棚卸責任者の名前が表示されます。
②	プリセットリストボックス	保存したプリセットをリストで表示し、絞り込み、表示項目、ソートで設定した内容を再現することができます。 👉 「3.1.4 プリセット機能」 17 ページ
③	[保存] ボタン	絞り込み、表示項目、ソートで設定した条件をプリセットとして保存し、設定した内容で物品情報一覧を表示することができます。 👉 「3.1.4 プリセット機能」 17 ページ
④	物品情報項目	物品情報の項目（物品管理番号やカテゴリなど）を表示します。特定の項目をクリックすると、ソートすることができます。 👉 「3.1.3 物品情報をソートする」 16 ページ
⑤	棚卸担当者名	棚卸担当者の名前が表示されます。
⑥	[編集] ボタン	「棚卸グループの編集」画面を表示して、棚卸グループの編集や削除を行います。 👉 「4.1.4.1 棚卸グループを編集する」 54 ページ 👉 「4.1.4.2 棚卸グループを削除する」 56 ページ
⑦	[棚卸対象物品の追加] ボタン	いずれの棚卸グループにも追加されていない物品を追加します。 👉 「4.1.4.3 対象物品を追加する」 58 ページ
⑧	[表示項目] ボタン	「表示項目」画面を表示して、物品情報一覧に表示される物品情報項目を選択し、表示内容を変更することができます。 👉 「3.1.2 表示項目を変更する」 15 ページ

項番	名称	説明
⑨	[絞り込み] ボタン	「絞り込み」画面を表示して、物品情報項目や期間を指定し、物品情報の表示内容を絞り込むことができます。 ☞ 「3.1.1 表示項目を条件で絞り込む」13 ページ
⑩	[棚卸対象物品から除外] ボタン	棚卸グループから物品情報を除外します。 ☞ 「4.1.4.4 対象物品を除外する」60 ページ
⑪	物品情報一覧	物品情報が一覧で表示されます。

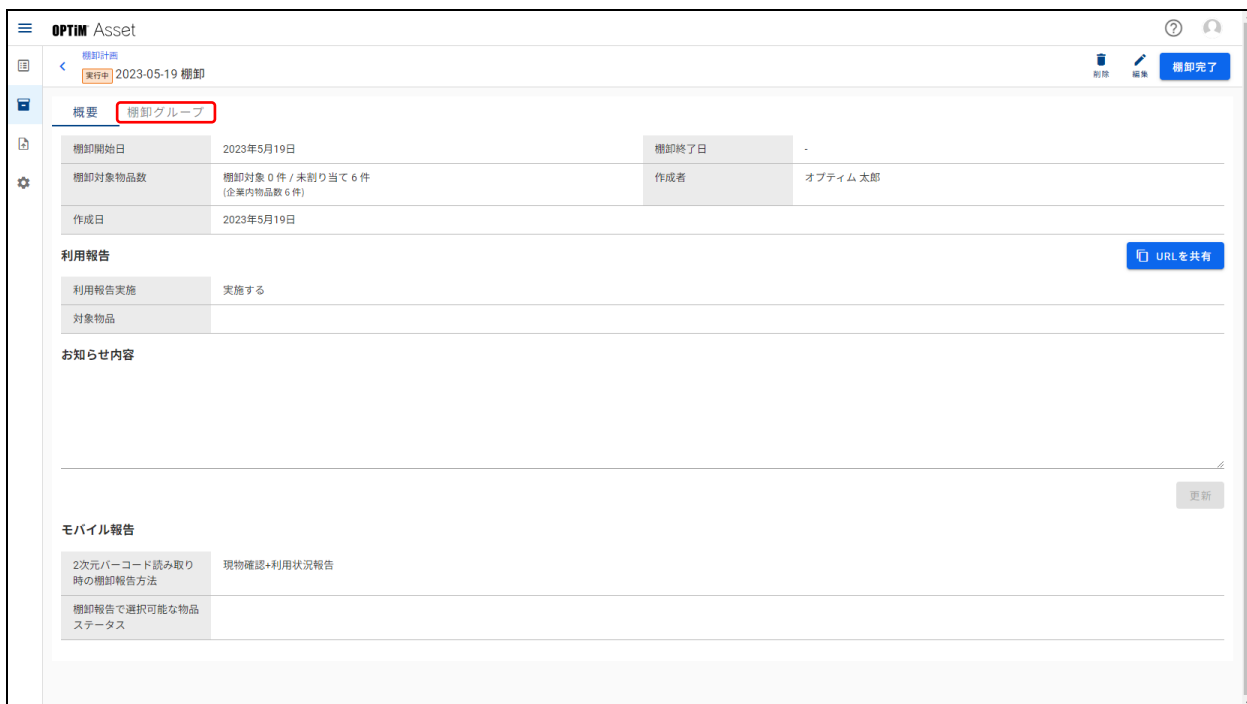
4.1.4.1 棚卸グループを編集する

棚卸グループのグループ名変更や棚卸責任者、棚卸担当者の変更を行います。

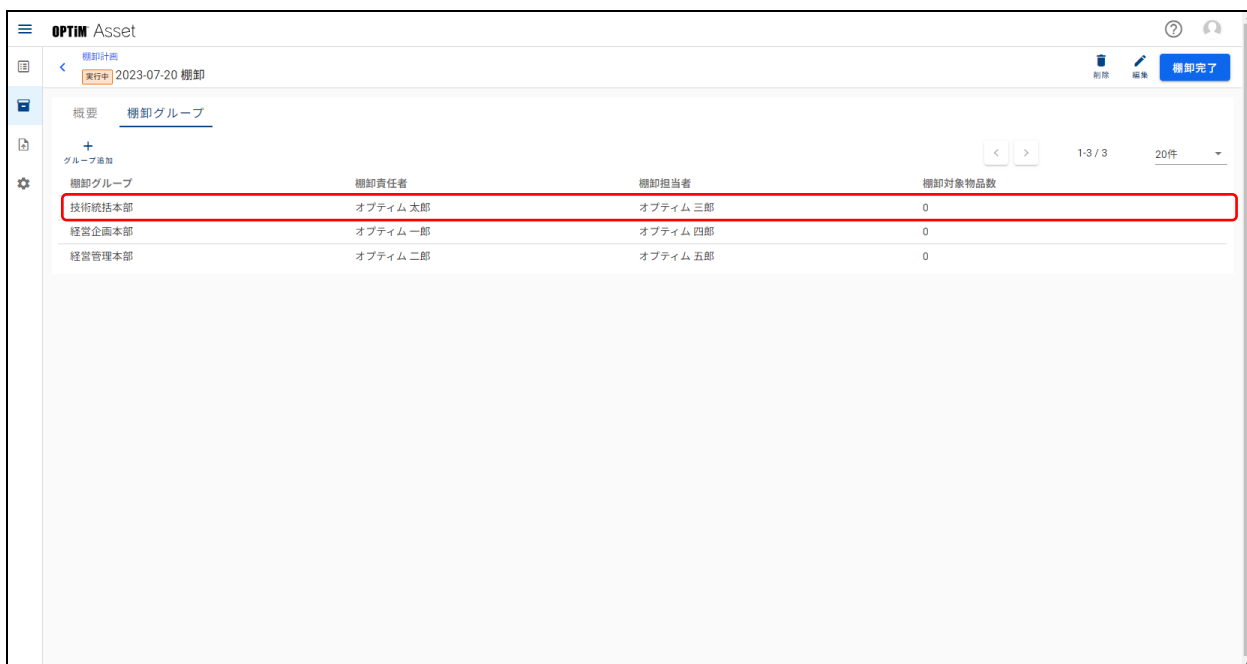
[1] 棚卸計画詳細画面を表示します。

🔗 「4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する」 43 ページ

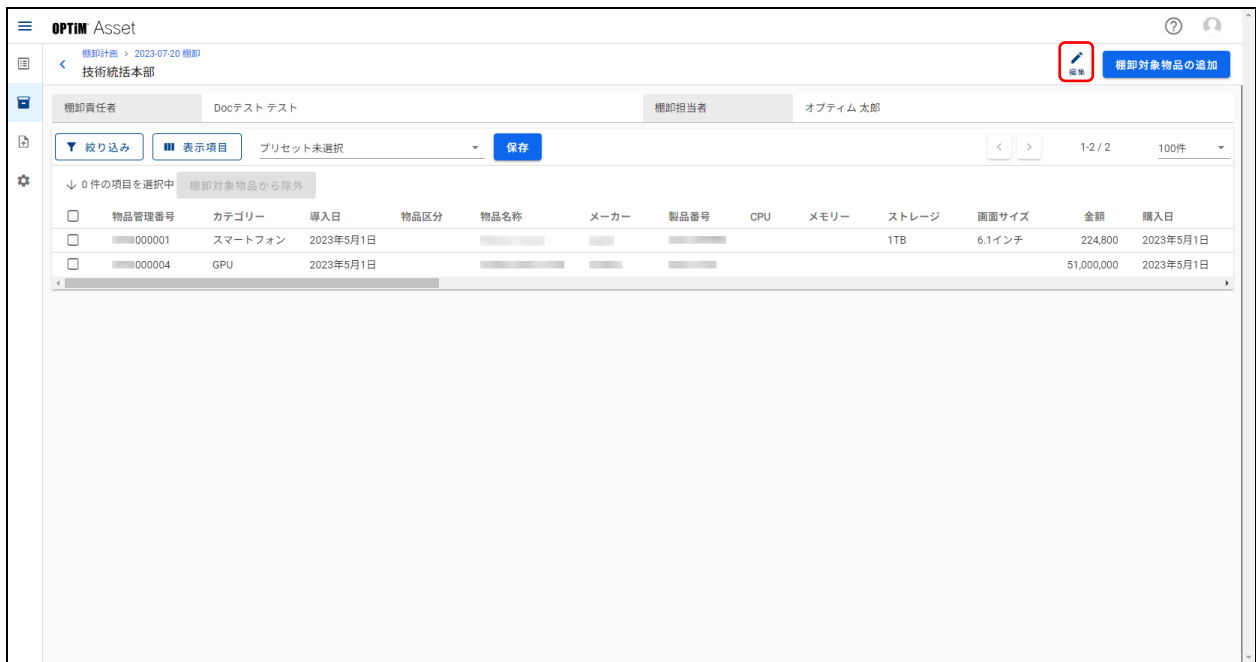
[2] 「棚卸グループ」 タブをクリックします。



[3] 棚卸グループをクリックします。



【4】 [編集] をクリックします。



【5】 「棚卸グループ名」「棚卸責任者」「棚卸担当者」を変更し、「保存」をクリックします。

棚卸グループの編集 ×

棚卸グループ名、棚卸担当者を変更できます。
棚卸担当者は、最大5名まで選択することができます。

棚卸グループ名 必須

技術統括本部

棚卸責任者

オプティム 太郎

棚卸担当者

オプティム 一郎 ✕ オプティム 二郎 ✕

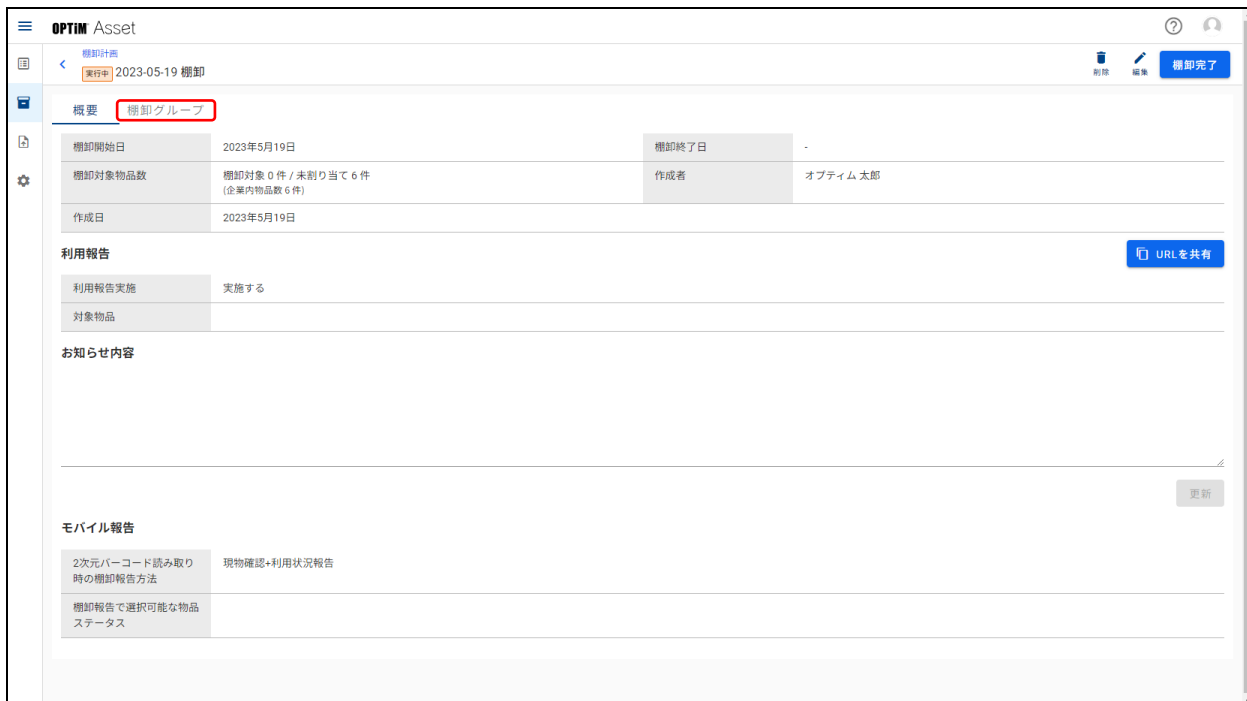
キャンセル
削除
保存

4.1.4.2 棚卸グループを削除する

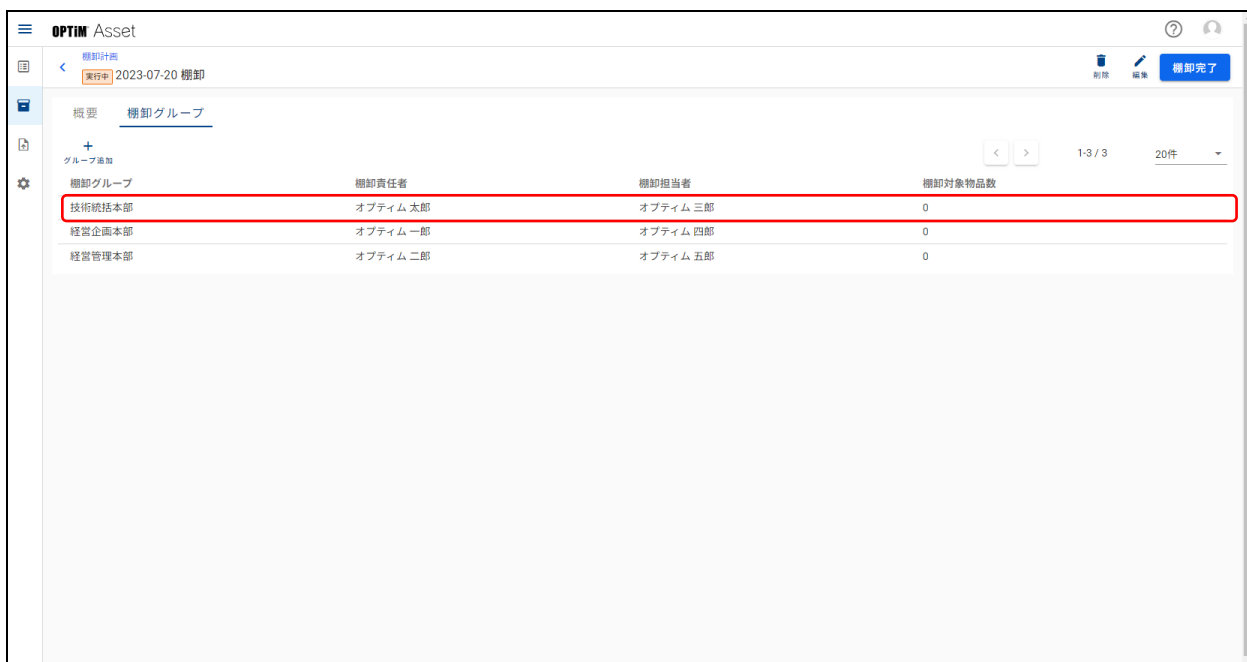
[1] 棚卸計画詳細画面を表示します。

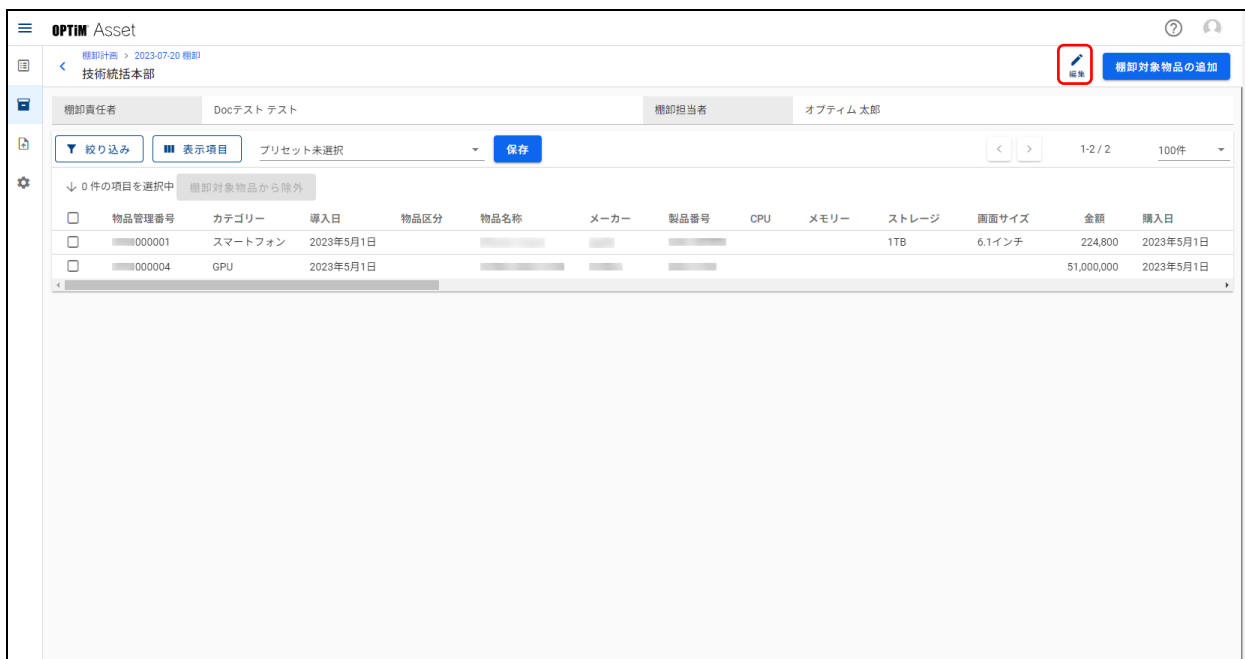
👉 「4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する」 43 ページ

[2] 「棚卸グループ」 タブをクリックします。



[3] 棚卸グループをクリックします。



【4】 [編集] をクリックします。**【5】 [削除] をクリックします。**

棚卸グループの編集

棚卸グループ名、棚卸担当者を変更できます。
棚卸担当者は、最大5名まで選択することができます。

棚卸グループ名 必須
技術統括本部

棚卸責任者
オプティム 太郎

棚卸担当者
オプティム 一郎 ✕ オプティム 二郎 ✕

キャンセル 削除 保存

【6】 [削除] をクリックします。

棚卸グループの削除

「技術統括本部」を削除します。
この削除操作は元に戻すことができません、削除しますか？

キャンセル 削除

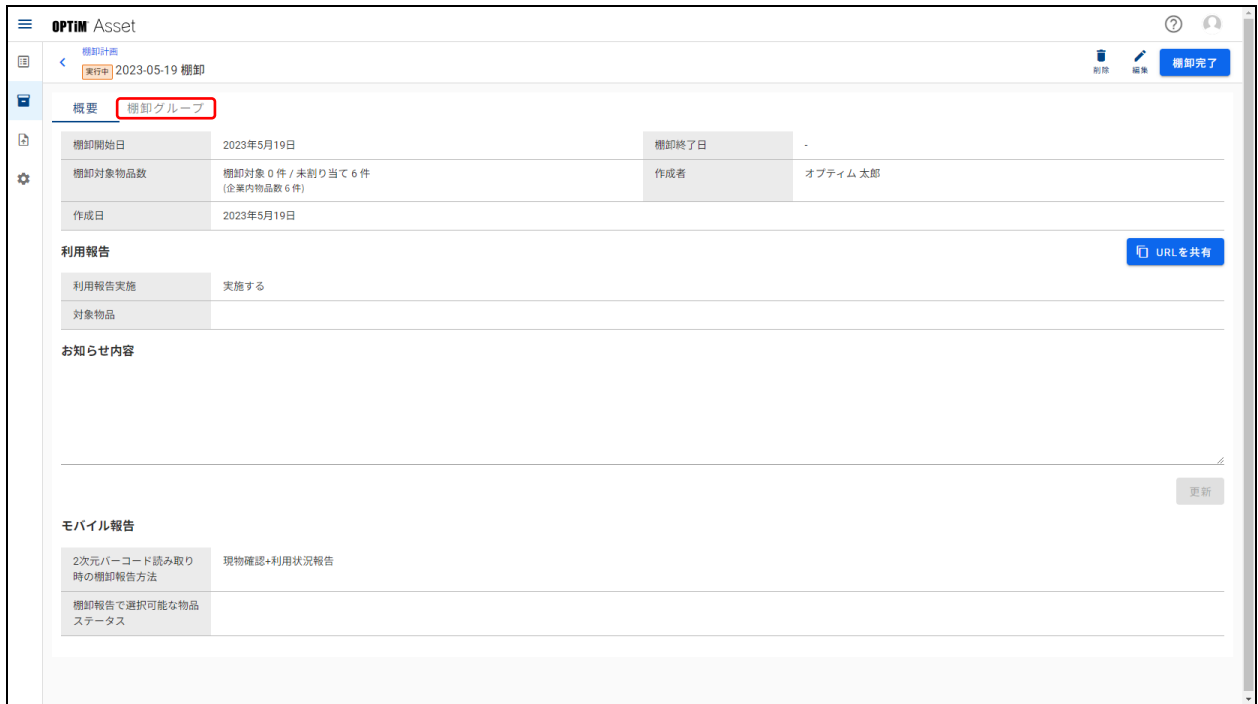
4.1.4.3 対象物品を追加する

いずれの棚卸グループにも追加されていない物品を一覧表示して、表示している棚卸グループに追加します。

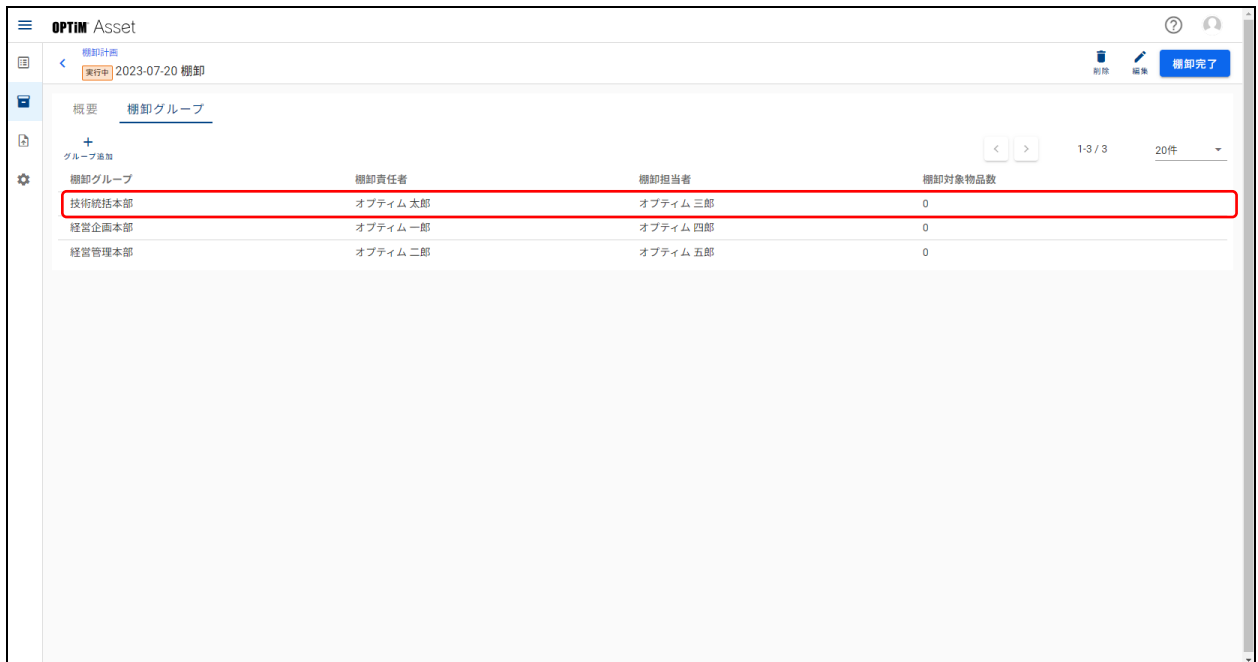
[1] 棚卸計画詳細画面を表示します。

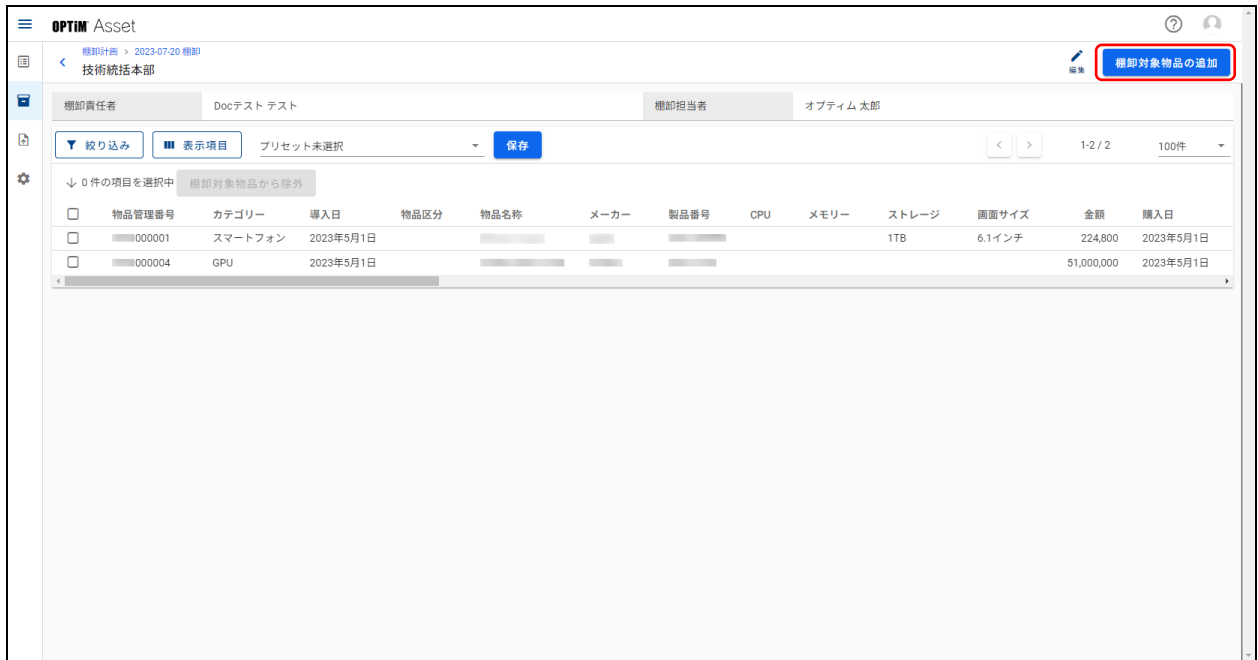
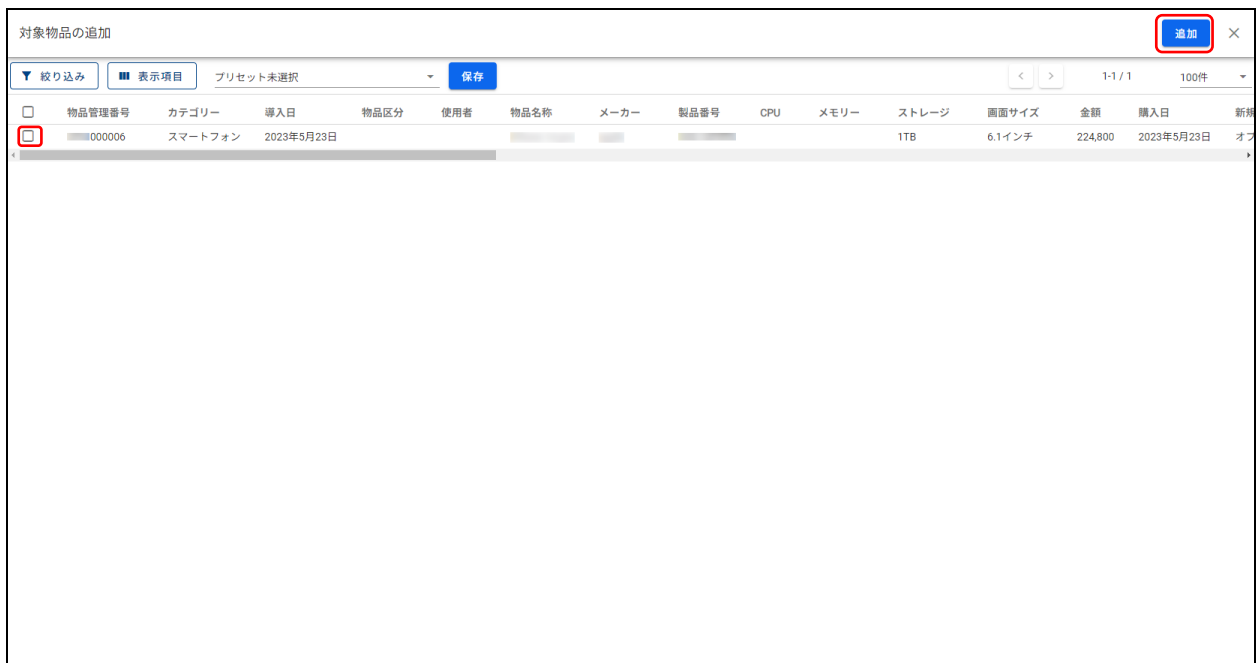
🔗 「4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する」 43 ページ

[2] [棚卸グループ] タブをクリックします。



[3] 棚卸グループをクリックします。



【4】 [棚卸対象物品の追加] をクリックします。**【5】** 追加したい物品情報にチェックを入れ、[追加] をクリックします。

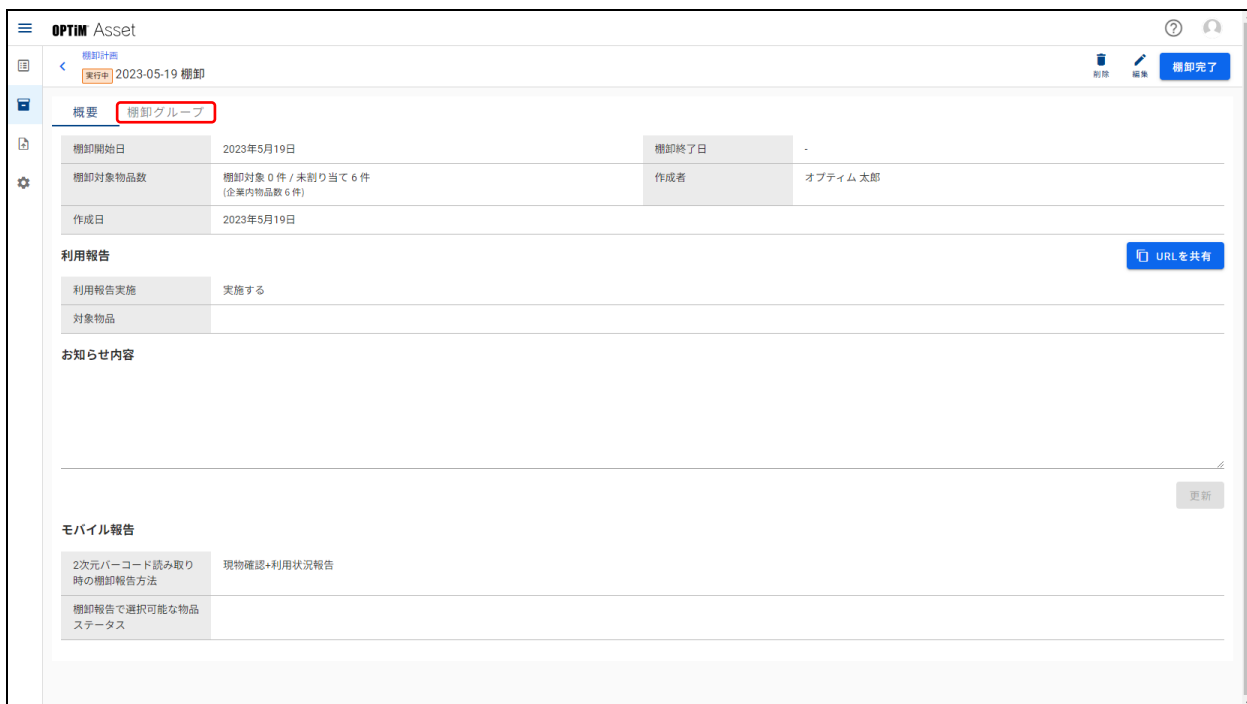
4.1.4.4 対象物品を除外する

棚卸グループから物品情報を除外します。

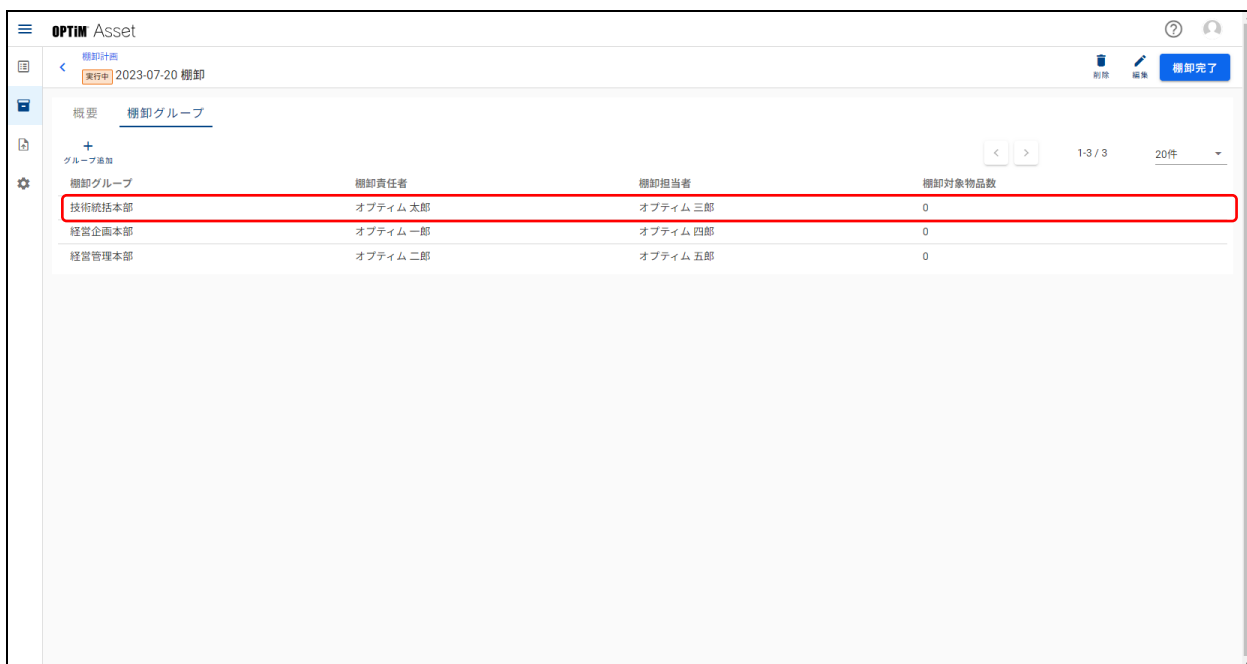
[1] 棚卸計画詳細画面を表示します。

🔗 「4.1.2 棚卸計画詳細画面を表示する」 43 ページ

[2] 「棚卸グループ」 タブをクリックします。



[3] 棚卸グループをクリックします。



【4】 除外したい物品情報にチェックを入れ、**「棚卸対象物品から除外」** をクリックします。

The screenshot shows the OPTIM Asset management interface. At the top, there is a navigation bar with the title 'OPTIM Asset' and a breadcrumb trail: '棚卸計画 > 2023-07-20 棚卸' and '技術統括本部'. Below this, there are fields for '棚卸責任者' (Docテスト テスト) and '棚卸担当者' (オフティム 太郎). A '保存' (Save) button is visible. The main area displays a table of items with the following columns: 物品管理番号, カテゴリー, 導入日, 物品区分, 物品名称, メーカー, 製品番号, CPU, メモリー, ストレージ, 画面サイズ, 金額, and 購入日. Two items are listed: a smartphone (000001) and a GPU (000004). The GPU item has a checked checkbox in the first column. A red box highlights the '除外対象物品から除外' button above the table. The table also shows a '1-2 / 2' and '100件' indicator.

物品管理番号	カテゴリー	導入日	物品区分	物品名称	メーカー	製品番号	CPU	メモリー	ストレージ	画面サイズ	金額	購入日
000001	スマートフォン	2023年5月1日							1TB	6.1インチ	224,800	2023年5月1日
000004	GPU	2023年5月1日									51,000,000	2023年5月1日


4.2 棚卸進捗

棚卸の進捗状況を各種の方法で確認することができます。

4.2.1 進捗サマリー

棚卸計画の進捗をサマリー（要約した状態）で表示し、全体の進捗状況を確認することができます。また、「棚卸結果」「利用報告状況」「グループ別棚卸結果」別に進捗状況を確認することもできます。

◆ [進捗サマリー] タブ画面

- [進捗サマリー] タブ画面は、（棚卸管理） → [棚卸進捗] → [進捗サマリー] タブの順にクリックすると表示されます。

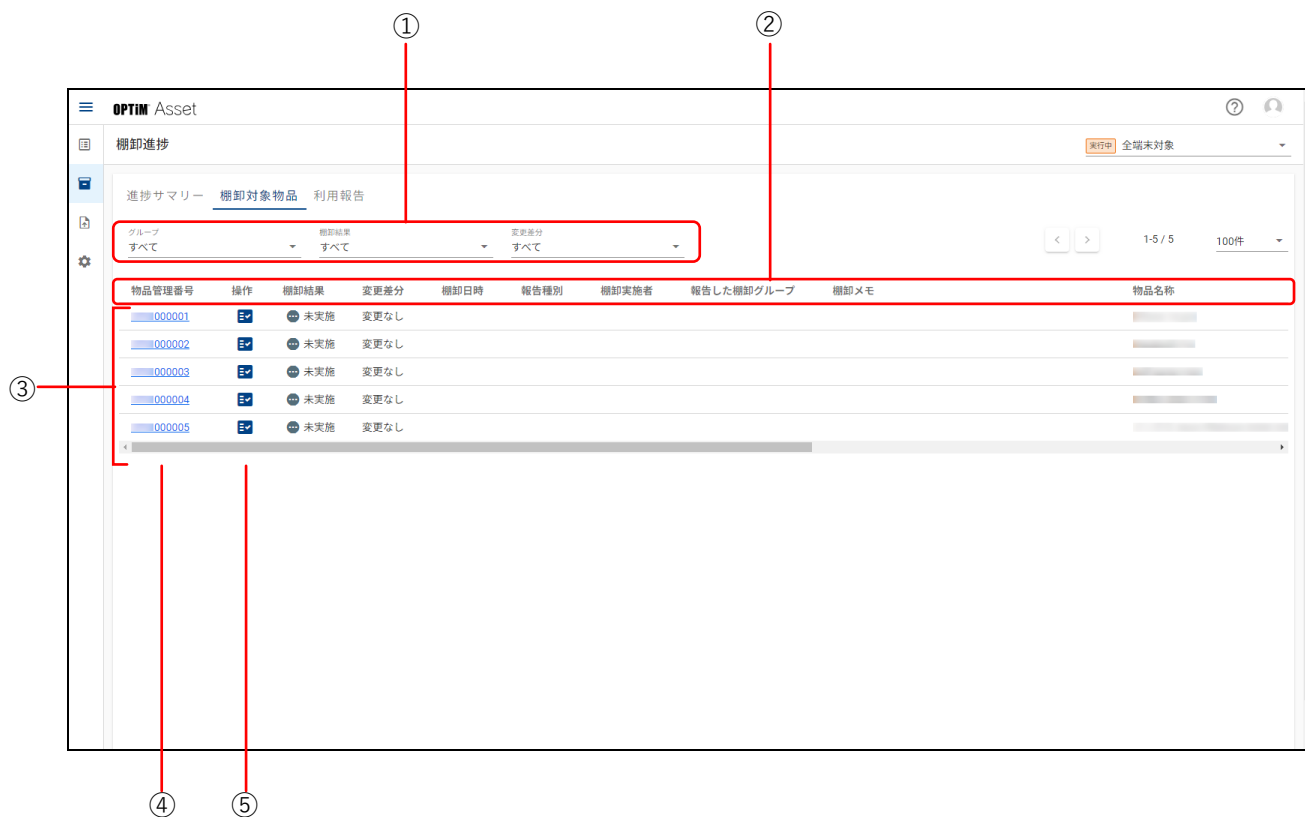


項番	名称	説明
①	グループ別の棚卸結果	各棚卸グループをクリックすると、各棚卸グループで絞り込まれた状態で「棚卸対象物品」タブ画面が表示されます。
②	棚卸計画変更メニューリスト	「棚卸計画」画面に表示されている他の棚卸計画に表示内容を切り替えます。
③	棚卸結果	「未実施」「確認待ち」「差戻し」「終了」のいずれかをクリックすると、各棚卸結果で絞り込まれた状態で「棚卸対象物品」タブ画面が表示されます。
④	利用報告状況	「未報告」「報告済み」のいずれかをクリックすると、各利用報告状況で絞り込まれた状態で「利用報告」タブ画面が表示されます。

4.2.2 棚卸対象物品


物品情報別に棚卸の進捗状況を確認することができます。また、物品情報の編集や棚卸報告の編集も行うことができます。

◆ 「棚卸対象物品」タブ画面



項番	名称	説明
①	絞り込み項目	登録されているグループ単位、棚卸結果、変更差分で物品情報を絞り込みます。
②	進捗状況項目	進捗状況に関する項目を表示します。特定の項目をクリックすると、ソートすることができます。 👉 「3.1.3 物品情報をソートする」16 ページ
③	物品情報一覧	物品情報が一覧で表示されます。
④	物品管理番号	「物品詳細」画面を表示して、物品情報を編集することができます。 👉 「3.3 物品詳細」28 ページ
⑤	操作ボタン	「棚卸報告」画面を表示して、棚卸の報告状況を編集することができます。

◆ 「棚卸報告」画面

- 「棚卸報告」画面は、「棚卸対象物品」タブ画面でをクリックして表示します。

項番	名称	説明
①	棚卸結果	棚卸結果を変更します。 棚卸結果は、[未実施]「確認待ち」「差戻し」「終了」から選択します。
②	物品ステータス	物品のステータスを変更します。 ステータスは、「納品待ち」「使用中」「在庫」「修理・点検中」「紛失・盗難」「リースレンタル返却」「廃棄済み」「その他」から選択します。
③	利用者	物品の利用者を変更します。 利用者は、登録されているユーザーから選択します。
④	管理部署	管理部署を変更します。 利用者は、登録されている管理部署から選択します。
⑤	所在	物品が使用されている場所を変更します。 所在は、登録されている所在から選択します。
⑥	備考	備考を入力します。
⑦	棚卸メモ	棚卸のメモを入力します。棚卸の一時的なメモとして使用します。
⑧	[キャンセル] ボタン	設定内容をキャンセルして画面を閉じます。
⑨	[保存] ボタン	設定内容を保存して画面を閉じます。

4.2.3 利用報告

各利用者の詳細な利用報告状況を確認できます。

◆ 「利用報告」 タブ画面



項番	名称	説明
①	絞り込み項目	利用報告の状況で絞り込みます。
②	利用報告項目	利用報告に関する項目を表示します。特定の項目をクリックすると、ソートすることができます。 🔗 「3.1.3 物品情報をソートする」 16 ページ
③	利用報告一覧	利用報告状況が一覧で表示されます。

4.3 棚卸ルール

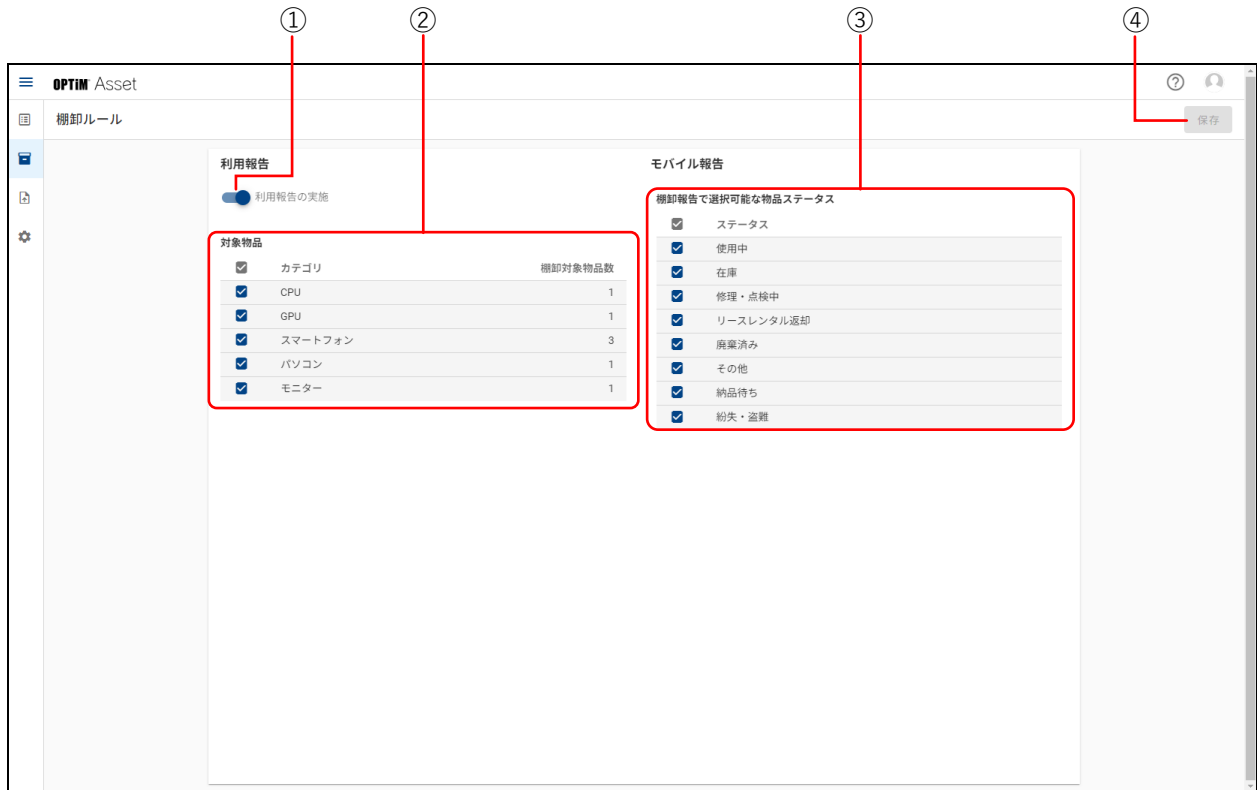
棚卸報告実施の有無や棚卸報告の対象となる物品、モバイル報告の対象となる物品を指定し、棚卸のルールとして設定します。

設定された棚卸ルールは、利用報告の実施の有無、利用報告の対象物品、モバイル報告の対象物品の初期値として設定されます。

👉 「4.1.1 棚卸計画を作成する」 39 ページ

◆ 「棚卸ルール」画面

● 「棚卸ルール」画面は、🗄️ (棚卸管理) → [棚卸ルール] の順にクリックして表示します。



項番	名称	説明
①	利用報告の実施	利用報告を実施する／実施しないを設定します。
②	対象物品	利用報告の対象となる物品を選択します。
③	棚卸報告で選択可能な物品ステータス	利用報告を行うときに、端末に表示されるステータス項目を設定します。チェックを入れた項目のみ、端末で操作することができます。
④	[更新] ボタン	利用報告の対象物品を変更した場合に、変更した内容に更新します。

5 インポート

使用している物品管理台帳のデータを、本製品にインポートして使用することができます。
ここでは、インポート操作の画面遷移に沿って各種の機能を説明します。



注意


- 一度にインポートできるファイルサイズは、2MB までです。

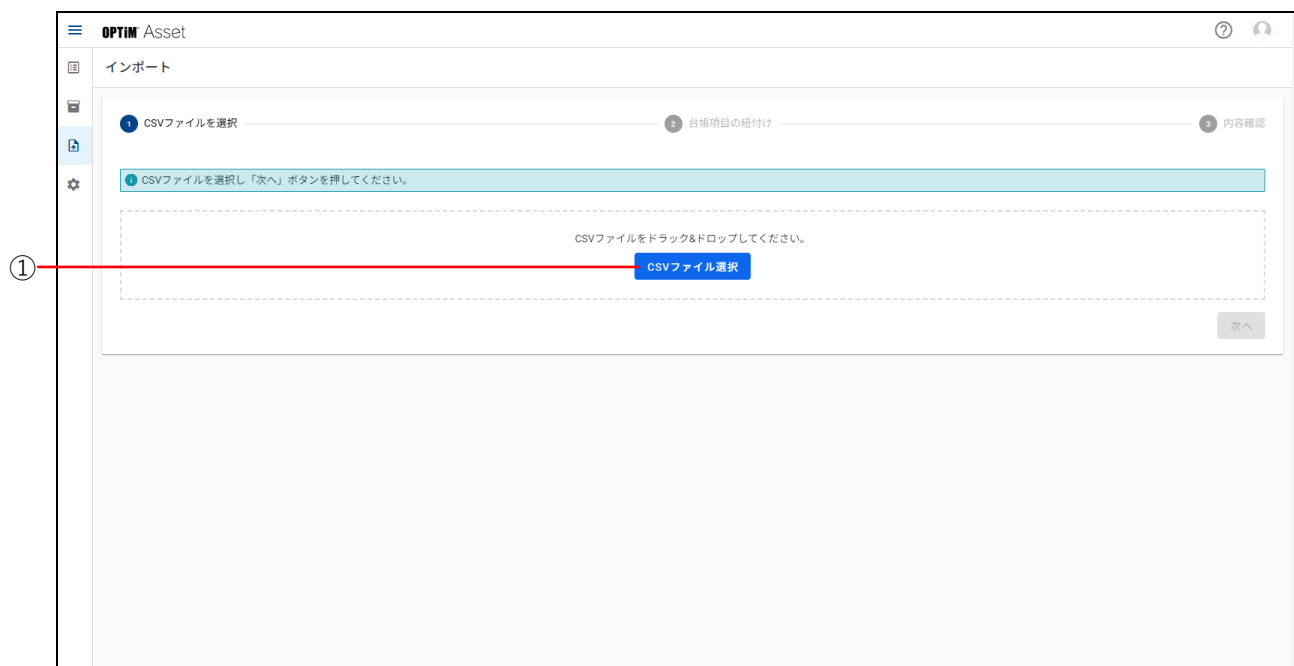
5.1 ファイルのインポート

インポートを行うための手順として、インポートする物品管理台帳の CSV ファイルを読み込み、物品管理台帳の項目と本製品の項目を紐づける必要があります。

ここでは、インポートに必要な各画面について説明します。

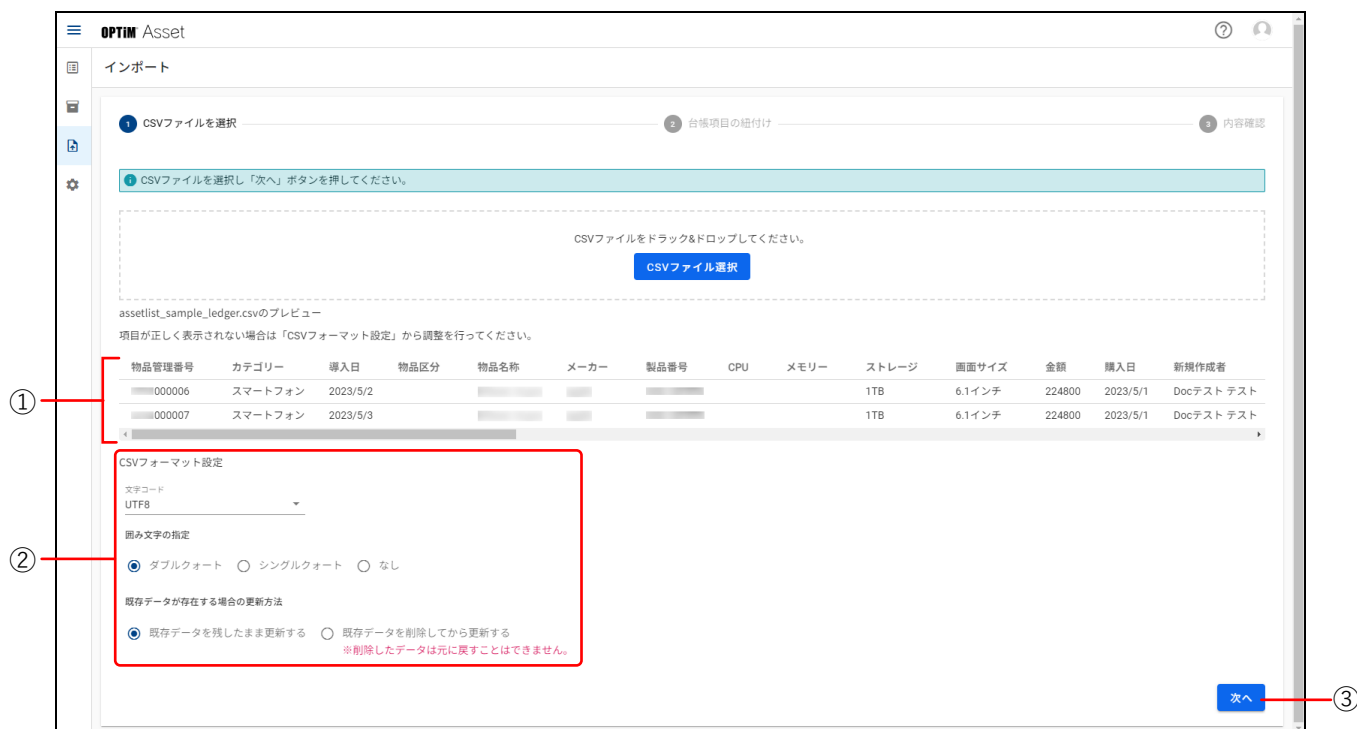
◆ 「インポート」画面（「CSV ファイルを選択」画面：CSV ファイル読み込み前）


- 「インポート」画面は、（インポート）をクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	[CSV ファイル選択] ボタン	インポートする CSV ファイルを選択します。 CSV ファイルをドラッグ&ドロップしてインポートすることもできます。 CSV ファイルが読み込まれると、プレビューと「CSV フォーマット設定」が表示されます。

◆ 「インポート」画面（「CSVファイルを選択」画面：CSVファイル読み込み後）



項番	名称	説明
①	プレビュー	インポートする CSV ファイルをプレビュー表示します。
②	CSV フォーマット設定	<p>プレビュー表示で、文字化けしている場合に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [文字コード] リストボックス インポートする文字コードを指定します。文字コードは、以下より選択できます。 [UTF32] [UTF16] [ASCII] [JIS] [UTF8] [EUCJP] [SJIS] [UNICODE] ● 囲み文字の指定 CSV ファイルで項目や項目名を区切っている囲み文字を指定します。囲み文字は、以下より選択できます。 [ダブルクォート] [シングルクォート] [なし] ● 既存データが存在する場合の更新方法 CSV ファイルに既存データが存在する場合の更新方法を指定します。更新方法は、以下より選択できます。 [既存データを残したまま更新する] [既存データを削除してから更新する] <p> [既存データを削除してから更新する] を選択した場合に削除される既存データは、元に戻すことはできません。</p>
③	[次へ] ボタン	「台帳項目の紐付け」画面を表示します。

◆ 「インポート」画面（「台帳項目の紐付け」画面）

- 「台帳項目の紐付け」画面は、「CSV ファイルを選択」画面で [次へ] をクリックすると表示されます。

OPTIM Asset



インポート

CSVファイルを選択 台帳項目の紐付け 内容確認

項目名の整合性を保つ為に、台帳項目とCSVファイル内の項目の紐付け設定を行います。

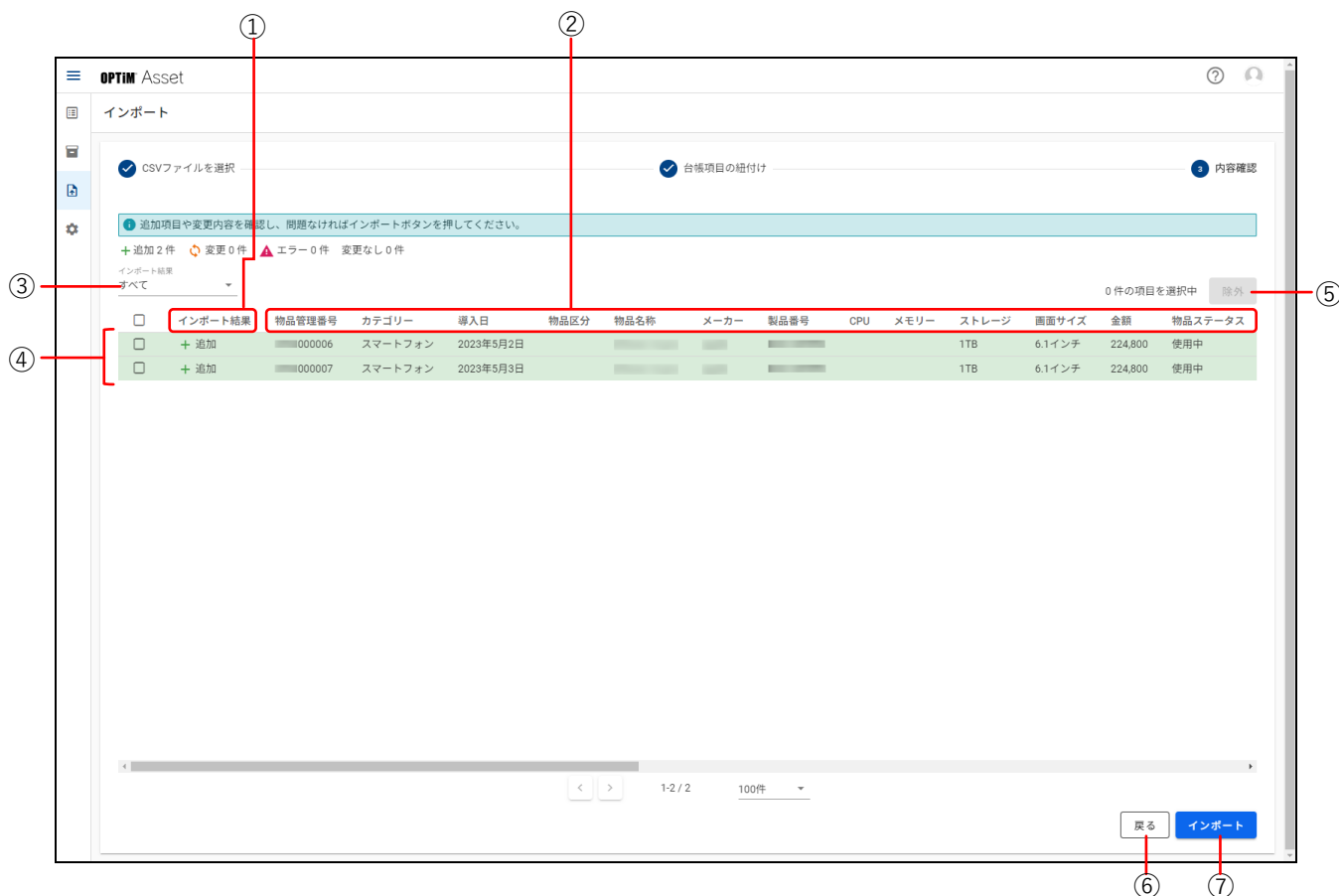
当サービス内での台帳項目	CSVファイル内の項目
物品管理番号	物品管理番号
カテゴリ	カテゴリ
導入日	導入日
物品区分	物品区分
使用者	紐付けしない
物品名称	物品名称
メーカー	メーカー
製品番号	製品番号
CPU	CPU
メモリー	メモリー
ストレージ	ストレージ
画面サイズ	画面サイズ
金額	金額
購入日	購入日
物品ステータス	物品ステータス
利用者	利用者
管理部署	管理部署
所在	所在
備考	備考
契約開始日	契約開始日
契約終了日	契約終了日
リース・レンタル会社	リース・レンタル会社
リース・レンタル契約番号	リース・レンタル契約番号
固定資産番号	固定資産番号

戻る 次へ

項番	名称	説明
①	当サービス内での台帳項目	本製品の項目が一覧で表示されます。
②	CSV ファイル内の項目	<p>読み込んだ物品管理台帳の項目が一覧で表示されます。 本製品の項目と物品管理台帳の項目が対応する形で表示されています。 項目をクリックし、表示されるメニューから項目を選択して、紐付けする項目を変更することができます。 項目を紐付けしない場合は、項目上にマウスを移動すると表示される [×] をクリックし、[紐付けしない] を表示します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>▼</p>  </div> <p> ✔ 「物品ステータス」項目は、「納品待ち」「使用中」「在庫」「修理・点検中」「紛失・盗難」「リースレンタル返却」「廃棄済み」「その他」のいずれかが入力された状態としてください。 ✔ 「利用者」(従業員項目)項目には、社員番号が登録されている利用者を入力してください。 🔗 「6.2 ユーザー権限管理」100 ページ ✔ 「カテゴリー」項目など、選択肢で設定する項目では、登録されている選択肢名称を入力してください。 🔗 「6.1.2.2 選択肢を設定する」96 ページ </p>
③	[戻る] ボタン	「CSV ファイルを選択」画面に戻ります。
④	[次へ] ボタン	「内容確認」画面を表示します。

◆ 「インポート」画面（「内容確認」画面）


- 「内容確認」画面は、「台帳項目の紐付け」画面で [次へ] をクリックすると表示されます。



項番	名称	説明										
①	インポート結果項目	インポート結果のステータスを、以下のいずれかで表示します。										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ステータス</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>追加</td> <td>物品台帳にインポートできるデータです。</td> </tr> <tr> <td>変更</td> <td>既存データから変更されたデータです。</td> </tr> <tr> <td>エラー</td> <td>物品台帳にインポートできないデータです。該当の項目を除外するか、CSV ファイルを修正してください。</td> </tr> <tr> <td>変更なし</td> <td>既存データから変更がないデータです。</td> </tr> </tbody> </table>	ステータス	説明	追加	物品台帳にインポートできるデータです。	変更	既存データから変更されたデータです。	エラー	物品台帳にインポートできないデータです。該当の項目を除外するか、CSV ファイルを修正してください。	変更なし	既存データから変更がないデータです。
		ステータス	説明									
		追加	物品台帳にインポートできるデータです。									
		変更	既存データから変更されたデータです。									
エラー	物品台帳にインポートできないデータです。該当の項目を除外するか、CSV ファイルを修正してください。											
変更なし	既存データから変更がないデータです。											
②	物品情報項目	物品情報の項目（物品管理番号やカテゴリなど）を表示します。										
③	[インポート結果] リストボックス	インポート結果を絞り込みます。絞り込み方法は、以下より選択できます。 [すべて] [エラー] [追加] [更新]										
④	インポート結果一覧	インポート結果を表示します。										
⑤	[除外] ボタン	インポート結果一覧でチェックを入れた項目を除外します。										
⑥	[戻る] ボタン	「台帳項目の紐付け」画面に戻ります。										
⑦	[インポート] ボタン	CSV ファイルを本製品にインポートします。										

◆ エラーメッセージについて

インポート時にエラーメッセージが表示された場合は、以下を確認して対応してください。

エラーメッセージ	エラー内容
選択項目が存在しません。	ステータス項目、従業員項目、選択肢項目で設定されていない選択項目が指定されています。
必須項目です。	必須項目が入力されていません。
形式が不適切です。	「導入日」「購入日」などの日付項目で発生しているエラーの場合は、入力形式が「YYYY/MM/DD HH:MM」であるかを確認してください。 「利用者」項目で発生しているエラーの場合は、従業員の名前ではなく、OPTiM ID に入力されている「社員番号」を入力してください。  同姓同名の従業員の場合、個人の識別ができないため、本製品では OPTiM ID の「社員番号」を採用しています。


6 設定

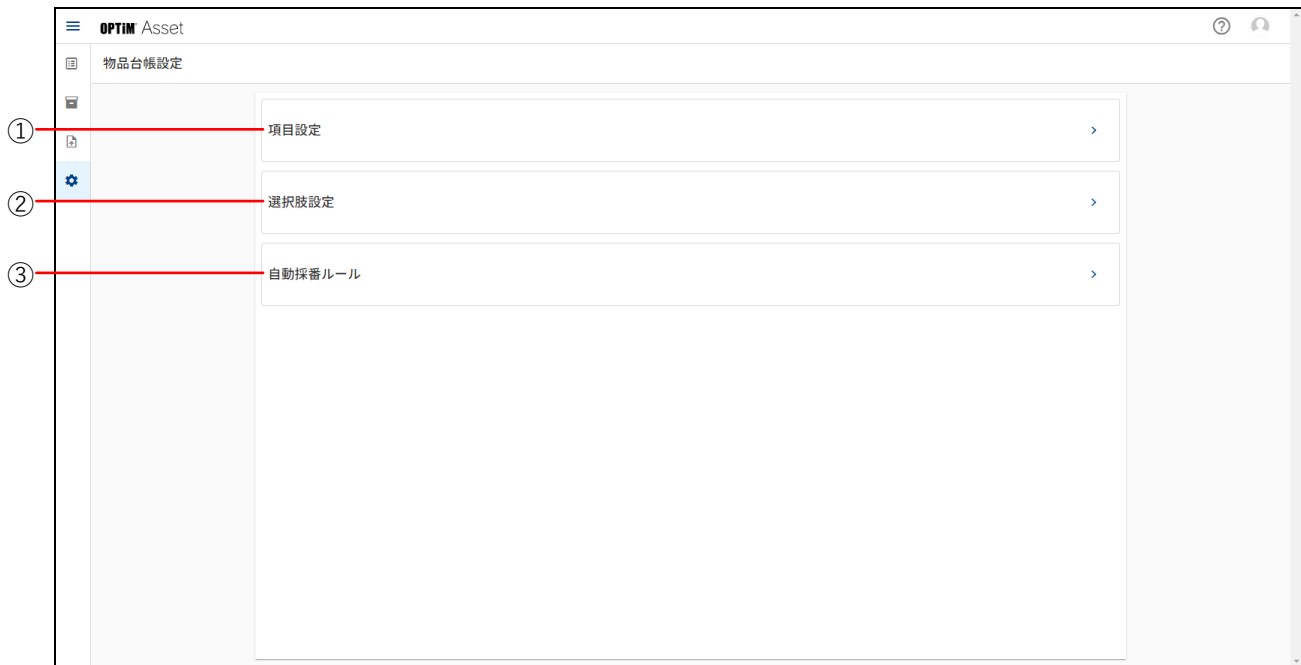
物品の項目や選択肢、物品に番号を付けるときのルールのほか、ユーザーの権限の管理やライセンスの情報、利用状況の確認など、本製品を使用するための各種設定を行います。

6.1 物品台帳設定

「物品台帳設定」では、物品項目の設定、物品の 카테고리や管理部署などを選択する場合の選択肢の設定、登録する物品に自動番号を付けるときの接頭辞や桁数などの設定を行います。

◆ 「物品台帳設定」画面

- 「物品台帳設定」画面は、（設定） → 「物品台帳設定」の順にクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	「項目設定」ボタン	「項目設定」画面を表示し、グループごとに分けられた各種の項目を設定します。 👉 「6.1.1 項目設定」76 ページ
②	「選択肢設定」ボタン	「選択肢設定」画面を表示し、物品項目ごとに分けられた各種のタブ画面で、物品項目の選択肢を設定します。 👉 「6.1.2 選択肢設定」95 ページ
③	「自動採番ルール」ボタン	「自動採番ルール」画面を表示し、登録する物品に付ける自動番号の接頭辞、桁数、開始番号を設定します。 👉 「6.1.3 自動採番ルール」99 ページ

6.1.1 項目設定

本製品では、物品情報を管理しやすくするため、物品情報を分類し、項目グループに分けて登録しています。

「項目設定」画面では、これらの項目グループを一覧で表示し、各グループ名称のボタンから、グループ名称の編集やグループの削除、グループ内の物品情報項目の各種設定を行うことができます。

◆ 「項目設定」画面


- 「項目設定」画面は、（設定） → [物品台帳設定] → [項目設定] の順にクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	項目グループボタン	各項目グループの設定画面を表示して、項目グループや項目グループ内の物品情報項目を設定することができます。 👉 「6.1.1.3 項目グループの詳細設定をする」 79 ページ
②	[並べ替え] ボタン	「項目グループ並べ替え」画面を表示して、項目グループの並び順を変更します。 👉 「6.1.1.1 項目グループを並べ替える」 77 ページ
③	[グループ追加] ボタン	「項目グループ追加」画面を表示して、項目グループを追加します。 👉 「6.1.1.2 項目グループを追加する」 78 ページ

6.1.1.1 項目グループを並べ替える

「項目設定」画面に一覧表示されている項目グループの並びを変更します。

- [1]** （設定） → [物品台帳設定] → [項目設定] の順にクリックします。
- [2]** [並べ替え] をクリックします。




- [3]** 並べ替えたい項目グループをドラッグし、移動先でドロップします。



6.1.1.2 項目グループを追加する

新しい項目グループを追加します。

- 【1】**  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] の順にクリックします。
- 【2】** [グループ追加] をクリックします。




- 【3】** グループの名称を入力し、[追加] をクリックします。

項目グループ追加

項目グループ名称

6.1.1.3 項目グループの詳細設定をする

「項目グループ詳細」画面を表示して、グループ名称の編集やグループの削除、グループ内の詳細項目の並べ替えや追加、詳細項目の編集を行います。

- 「項目グループ詳細」画面は、 (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → 項目グループボタン ([基本情報] [製品情報] [利用状況] [固定資産情報] のいずれか) の順にクリックすると表示されます。

「項目グループ詳細」画面について

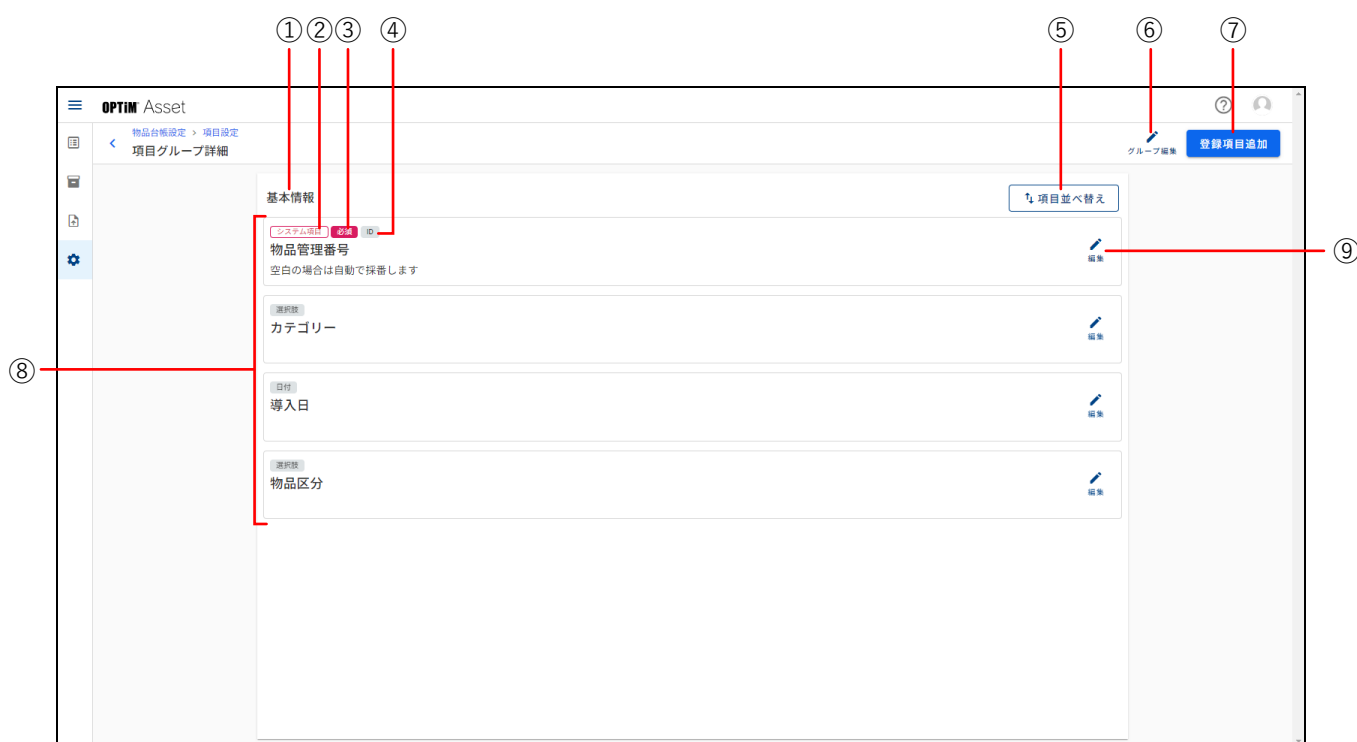
初期設定では、「基本情報」「製品情報」「利用状況」「固定資産情報」の4つのグループが設定されています。



項目グループ画面名	説明
「基本情報」画面	物品管理番号やカテゴリなど、物品の管理上必要となる基本的な項目を登録します。
「製品情報」画面	物品名称や製品番号など、物品がどのような製品かを把握するための項目を登録します。
「利用状況」画面	利用者や管理部署、物品の所在など、物品の利用状況を把握するための項目を登録します。
「固定資産情報」画面	固定資産番号や、物品がリース・レンタルの場合の社名、契約番号など、物品が資産であるか、リース・レンタルであるかを把握するための項目を登録します。

◆ 「基本情報」画面

各画面で物品情報項目は異なりますが、操作手順は同様です。

ここでは「基本情報」画面を例に各部の説明をしますが、他の画面でも同様に操作してください。




項番	名称	説明
①	項目グループ名称	項目グループの名称が表示されます。
②	「システム項目」アイコン	登録解除ができない項目に表示されます。  名称変更や必須設定を行うことができます。
③	「必須」アイコン	必ず設定しなくてはならない項目に表示されます。 必須設定は「項目編集」画面で行うことができます。  「詳細項目を編集する」92 ページ

項番	名称	説明																				
④	タイプアイコン	文字入力や選択肢など、項目の設定方法が表示されます。																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>アイコンの種類</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ID</td> <td>物品を管理するための識別子で、「物品管理番号」項目にのみ初期値として設定されています。そのため、タイプの変更はできません。 また、他の項目で「ID」を設定することはできません。</td> </tr> <tr> <td>テキスト</td> <td>文字の入力で項目を設定します。100文字まで入力できます。</td> </tr> <tr> <td>テキストエリア</td> <td>文字の入力で項目を設定します。500文字まで入力できます。</td> </tr> <tr> <td>選択肢</td> <td>選択肢を選択して項目を設定します。選択肢は、「選択肢設定」画面で追加します。 🔗 「6.1.2 選択肢設定」95 ページ</td> </tr> <tr> <td>日付</td> <td>項目をクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>「年」「月」「日」「時間」「分」を表示し、「新規作成日時」「最終更新日時」「廃棄日」項目にのみ初期値として設定されています。そのため、タイプの変更はできません。</td> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>整数 (-1000000000~+1000000000) を入力して項目を設定します。</td> </tr> <tr> <td>数値 (小数)</td> <td>小数点第2位までの小数 (-1000000000.00~+1000000000.00) の実数を入力して項目を設定します。</td> </tr> <tr> <td>従業員</td> <td>選択肢から従業員名を選択して項目を設定します。 選択肢となる従業員名は、「ユーザー権限管理」画面に登録されている従業員名となります。</td> </tr> </tbody> </table>	アイコンの種類	説明	ID	物品を管理するための識別子で、「物品管理番号」項目にのみ初期値として設定されています。そのため、タイプの変更はできません。 また、他の項目で「ID」を設定することはできません。	テキスト	文字の入力で項目を設定します。100文字まで入力できます。	テキストエリア	文字の入力で項目を設定します。500文字まで入力できます。	選択肢	選択肢を選択して項目を設定します。選択肢は、「選択肢設定」画面で追加します。 🔗 「6.1.2 選択肢設定」95 ページ	日付	項目をクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。	日時	「年」「月」「日」「時間」「分」を表示し、「新規作成日時」「最終更新日時」「廃棄日」項目にのみ初期値として設定されています。そのため、タイプの変更はできません。	数値	整数 (-1000000000~+1000000000) を入力して項目を設定します。	数値 (小数)	小数点第2位までの小数 (-1000000000.00~+1000000000.00) の実数を入力して項目を設定します。	従業員	選択肢から従業員名を選択して項目を設定します。 選択肢となる従業員名は、「ユーザー権限管理」画面に登録されている従業員名となります。
		アイコンの種類	説明																			
		ID	物品を管理するための識別子で、「物品管理番号」項目にのみ初期値として設定されています。そのため、タイプの変更はできません。 また、他の項目で「ID」を設定することはできません。																			
		テキスト	文字の入力で項目を設定します。100文字まで入力できます。																			
		テキストエリア	文字の入力で項目を設定します。500文字まで入力できます。																			
		選択肢	選択肢を選択して項目を設定します。選択肢は、「選択肢設定」画面で追加します。 🔗 「6.1.2 選択肢設定」95 ページ																			
		日付	項目をクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。																			
		日時	「年」「月」「日」「時間」「分」を表示し、「新規作成日時」「最終更新日時」「廃棄日」項目にのみ初期値として設定されています。そのため、タイプの変更はできません。																			
		数値	整数 (-1000000000~+1000000000) を入力して項目を設定します。																			
数値 (小数)	小数点第2位までの小数 (-1000000000.00~+1000000000.00) の実数を入力して項目を設定します。																					
従業員	選択肢から従業員名を選択して項目を設定します。 選択肢となる従業員名は、「ユーザー権限管理」画面に登録されている従業員名となります。																					
⑤	[項目並べ替え] ボタン	「項目グループ編集」画面を表示して、項目グループ名称の変更や項目グループの削除を行います。 🔗 「項目グループの名称を変更する」81 ページ 🔗 「項目グループを削除する」82 ページ																				
⑥	[グループ編集] ボタン	「項目グループ編集」画面を表示して、項目グループ名称の変更や項目グループの削除を行います。 🔗 「項目グループの名称を変更する」81 ページ 🔗 「項目グループを削除する」82 ページ																				
⑦	[登録項目追加] ボタン	「登録項目一覧」画面を表示して、登録されている詳細項目を項目グループに追加します。新しい項目を作成して追加することもできます。 🔗 「詳細項目を追加する」84 ページ 🔗 「新しい詳細項目を追加する」85 ページ																				
⑧	詳細項目一覧	項目グループ内の詳細項目が一覧で表示されます。																				
⑨	[編集] ボタン	「項目編集」画面を表示して、項目グループの編集や削除を行います。 🔗 「詳細項目を編集する」92 ページ 🔗 「詳細項目の登録を解除する」93 ページ																				

項目グループの名称を変更する

項目グループの名称を変更します。

ここでは「固定資産情報」画面を例に説明します。

- [1]**  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [固定資産情報] の順にクリックします。
- [2]** [グループ編集] をクリックします。



- [3]** 項目グループの名称を変更し、[保存] をクリックします。

項目グループ編集

項目グループ名称


固定資産情報

キャンセル 削除 保存

項目グループを削除する

項目グループを削除します。

ここでは「固定資産情報」画面を例に説明します。

- [1]**  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [固定資産情報] の順にクリックします。
- [2]** [グループ編集] をクリックします。




- [3]** [削除] をクリックします。

項目グループ編集


項目グループ名称

固定資産情報


キャンセル
削除
保存

-  項目グループ内に システム項目 が表示された詳細項目がある場合は、以下のメッセージが表示され、項目グループを削除することはできません。

[キャンセル] をクリックして削除を中止するか、[別グループへ移動はこちら] をクリックし、システム項目 が表示された詳細項目を他の項目グループに移動してください。

 「詳細項目を別のグループへ移動する」 91 ページ

項目グループ削除

 登録必須項目が項目グループ内に残っています。登録必須項目を他の項目グループへ移動させてから削除を行なってください。

[別グループへ移動はこちら](#)


キャンセル

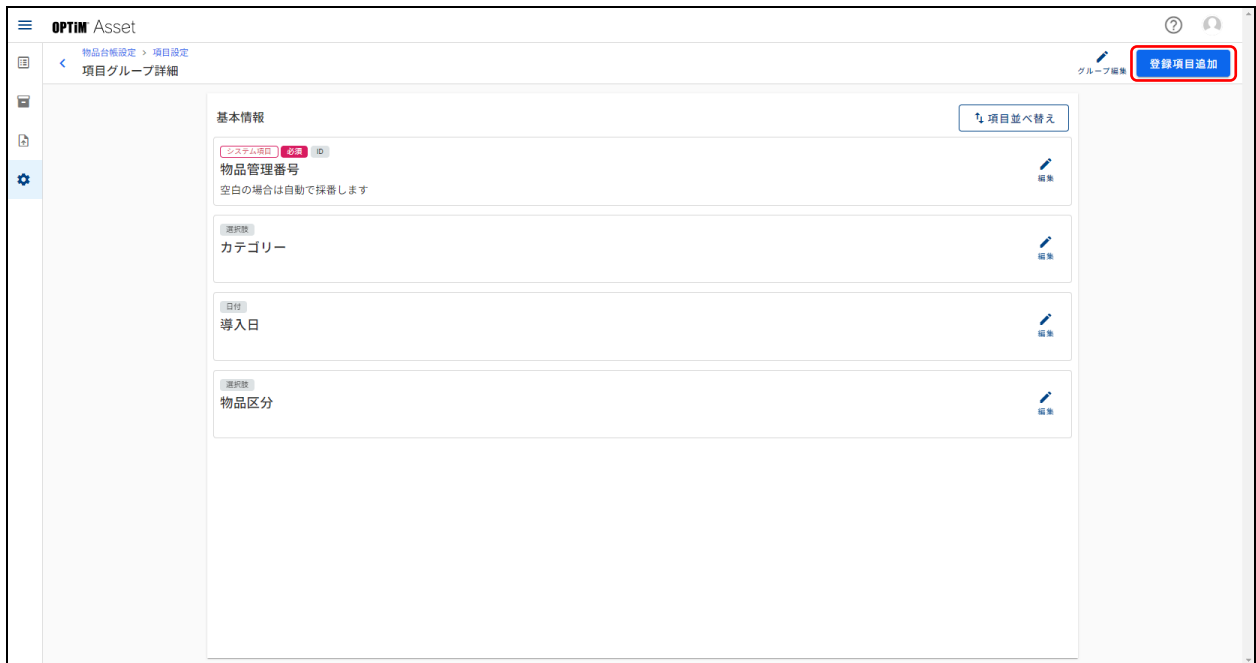
【4】 [削除] をクリックします。



詳細項目を追加する

登録されている詳細項目を項目グループに追加します。
ここでは「基本情報」画面を例に説明します。

- [1]**  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [基本情報] の順にクリックします。
- [2]** [登録項目追加] をクリックします。



- [3]** 「登録項目一覧」から項目グループに追加したい詳細項目をクリックします。



【4】 [登録] をクリックします。

項目登録

表示項目名称
電話番号
項目名を入力してください。

タイプ
テキスト
変更することはできません。

必須 ユニーク項目

注記

キャンセル 登録

新しい詳細項目を追加する

「登録項目一覧」に登録されていない詳細項目をカスタム項目として作成し、項目グループに追加します。
ここでは「基本情報」画面を例に説明します。

新規カスタム項目追加機能で作成した詳細項目は、削除することはできません。

【1】 (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [基本情報] の順にクリックします。

【2】 [登録項目追加] をクリックします。

OPTIM Asset

物品台帳設定 > 項目設定 > 項目グループ詳細

登録項目追加

基本情報

カスタム項目 名称

物品管理番号

空白の場合は自動で採番します

カテゴリ

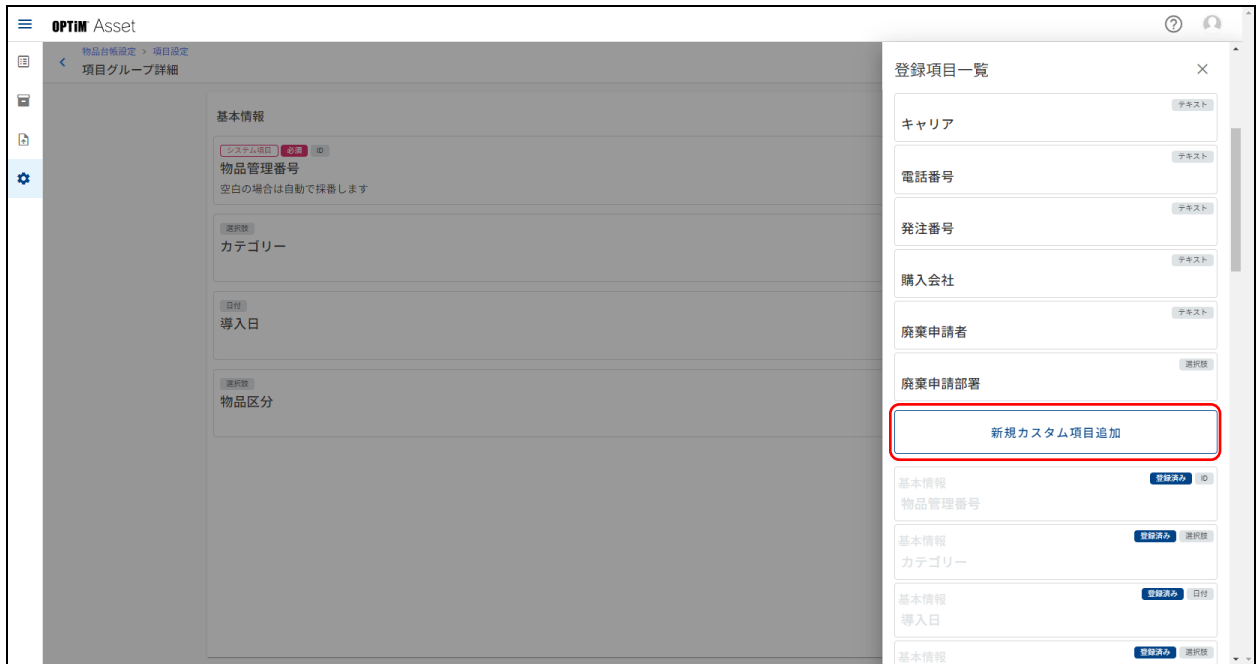
導入日

物品区分

項目並べ替え

編集

[3] 「登録項目一覧」で表示をスクロールし、「新規カスタム項目追加」をクリックします。



[4] 詳細項目の名称を入力します。

The screenshot shows the 'カスタム項目登録' (Custom Item Registration) dialog box. The '表示項目名称' (Display Item Name) input field is highlighted with a red rectangle. Below the input field, there is a dropdown menu for 'タイプ' (Type) set to 'テキスト' (Text). There are also two toggle switches for '必須' (Required) and 'ユニーク項目' (Unique Item). At the bottom, there are 'キャンセル' (Cancel) and '登録' (Register) buttons.

[5] 「タイプ」の [▼] をクリックし、表示されるメニューから設定方法のタイプを選びます。

- カスタム項目を新規追加するときのみ設定できます。

カスタム項目登録

表示項目名称
sample名称
項目名を入力してください。

タイプ
テキスト

テキスト
テキストエリア
数値
数値(小数)
選択肢
日付
従業員

キャンセル 登録

- 「タイプ」で設定できる項目は以下になります。

テキスト： 文字の入力で項目を設定します。100文字まで入力できます。

テキストエリア： 文字の入力で項目を設定します。500文字まで入力できます。

数値： 整数 (-1000000000~+1000000000) を入力して項目を設定します。

数値(小数)： 小数点第2位までの小数 (-1000000000.00~+1000000000.00) の実数を入力して項目を設定します。

選択肢： 選択肢を選択して項目を設定します。

日付： 項目をクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。

従業員： 選択肢から従業員名を選択して項目を設定します。

- ❗ 設定するタイプには使用制限があります。以下の使用数を超えるタイプを設定することはできません。

タイプ名	使用数
テキスト	25
テキストエリア	10
数値	10
数値(小数)	10
選択肢	10
日付	10
従業員	10

[6] [必須] 項目をクリックし、設定項目を必須とするか／しないかを選択します。

- カスタム項目を新規追加するときのみ設定できます。

カスタム項目登録 ×

表示項目名称
sample名称
項目名を入力してください。

タイプ
テキスト
1 / 25 利用されています。

必須 ユニーク項目

注記

キャンセル 登録

[7] 必要であれば「注記」に注記内容を入力し、[登録] をクリックします。

カスタム項目登録 ×

表示項目名称
sample名称
項目名を入力してください。

タイプ
テキスト
1 / 25 利用されています。

必須 ユニーク項目

注記
sampleテキスト

キャンセル 登録

- カスタム項目として追加された詳細項目には **カスタム項目** アイコンが表示されます。

The screenshot displays the 'OPTIM Asset' management interface. The main content area is titled '項目グループ詳細' (Item Group Details). It features a list of configuration items under the heading '基本情報' (Basic Information). The items are:

- 物品管理番号** (Item Management Number): A text field with a 'カスタム項目' (Custom Item) icon and a '必須' (Required) tag. Below it, the text reads '空白の場合は自動で採番します' (Automatically assign numbers when blank). A '編集' (Edit) icon is on the right.
- カテゴリ** (Category): A dropdown menu with a '編集' (Edit) icon on the right.
- 導入日** (Introduction Date): A date field with a '編集' (Edit) icon on the right.
- 物品区分** (Item Classification): A dropdown menu with a '編集' (Edit) icon on the right.
- sample名称** (Sample Name): A text field with a 'カスタム項目' (Custom Item) icon. Below it, the text reads 'sample子リスト' (Sample Sub-list). A red box highlights this item.


At the top right of the configuration area, there is a button labeled '項目並べ替え' (Reorder Items). At the top right of the entire interface, there are buttons for 'グループ編集' (Group Edit) and '登録項目追加' (Add Registered Item).

詳細項目を並べ替える

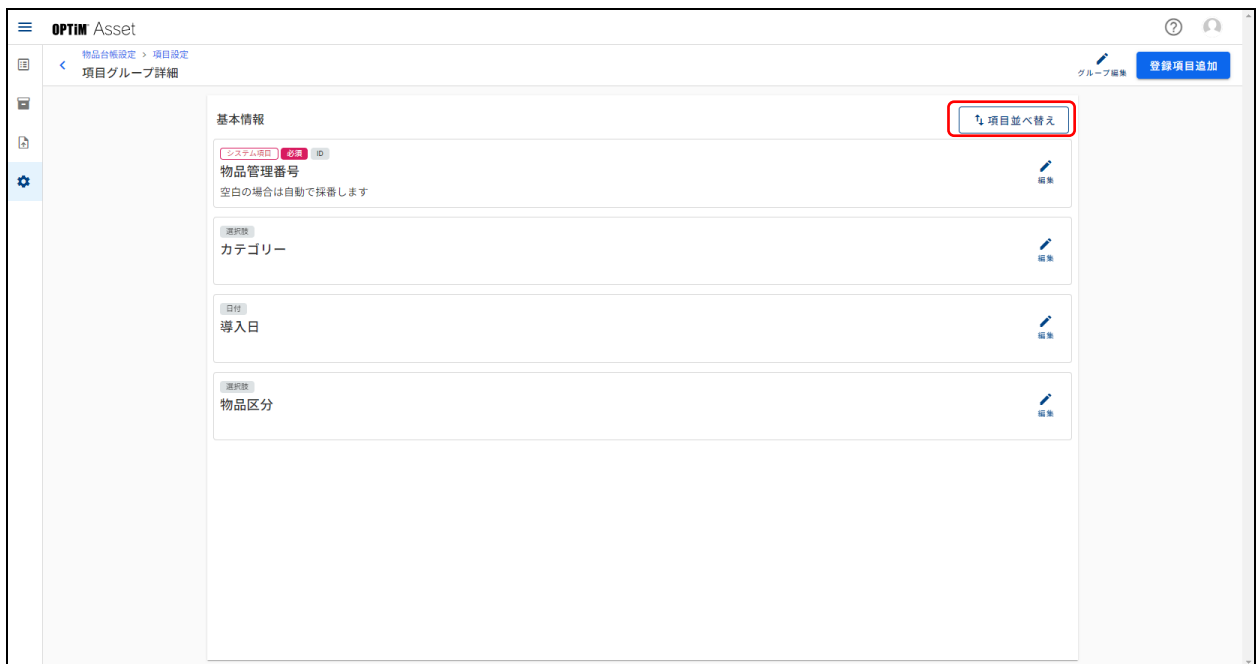
「項目グループ詳細」画面に一覧表示されている詳細項目の並びを変更します。

変更した内容は、「物品登録」画面や「物品詳細」画面、「物品台帳」画面から書き出す CSV ファイルなどに反映されます。

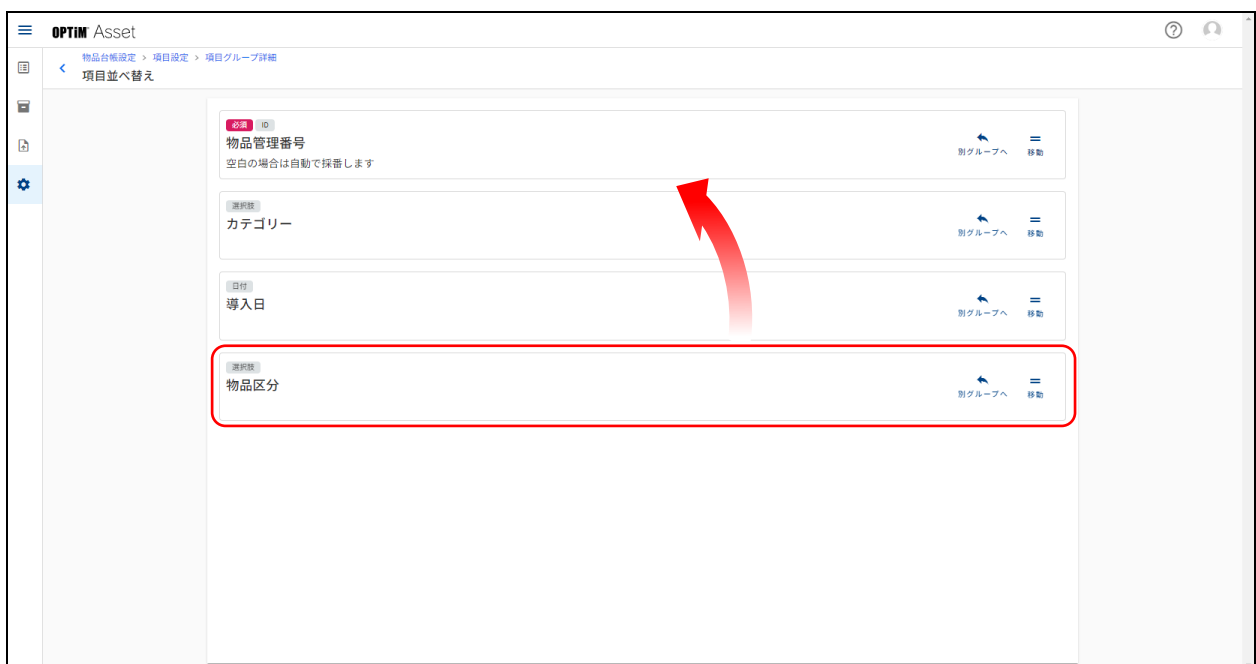
ここでは「基本情報」画面を例に説明します。

[1]  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [基本情報] の順にクリックします。

[2] [項目を並べ替え] をクリックします。




[3] 並べ替えたい項目グループをドラッグし、移動先でドロップします。



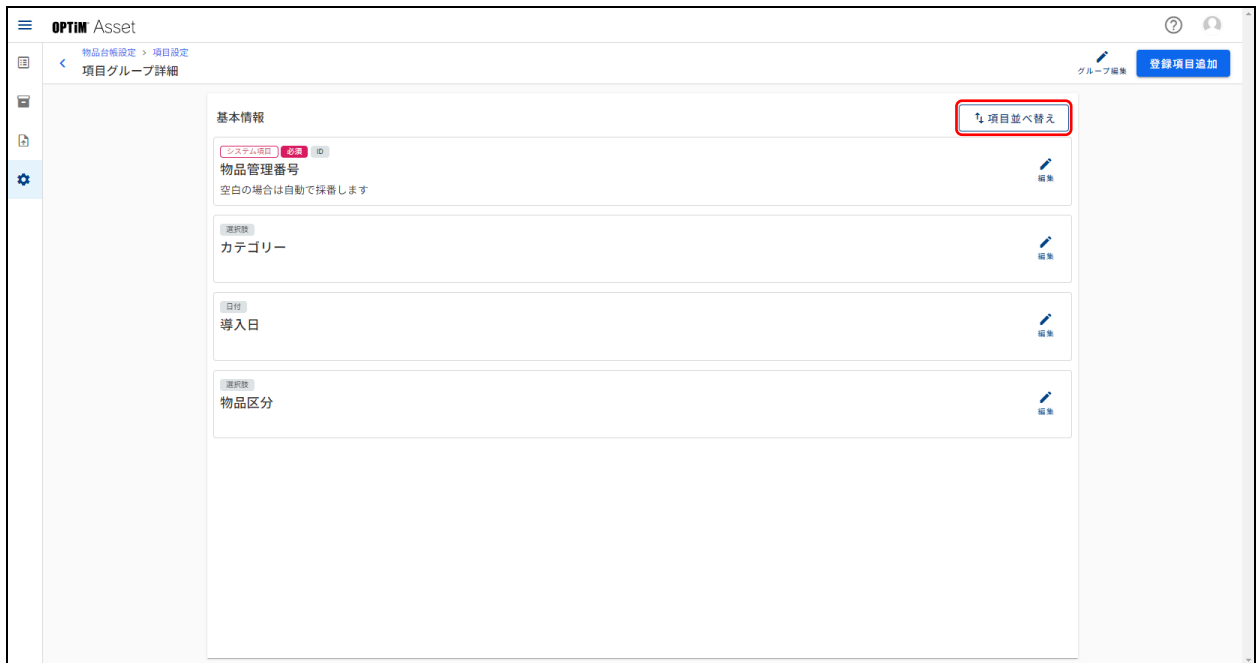
詳細項目を別のグループへ移動する

項目グループ内の詳細項目を別の項目グループに移動します。

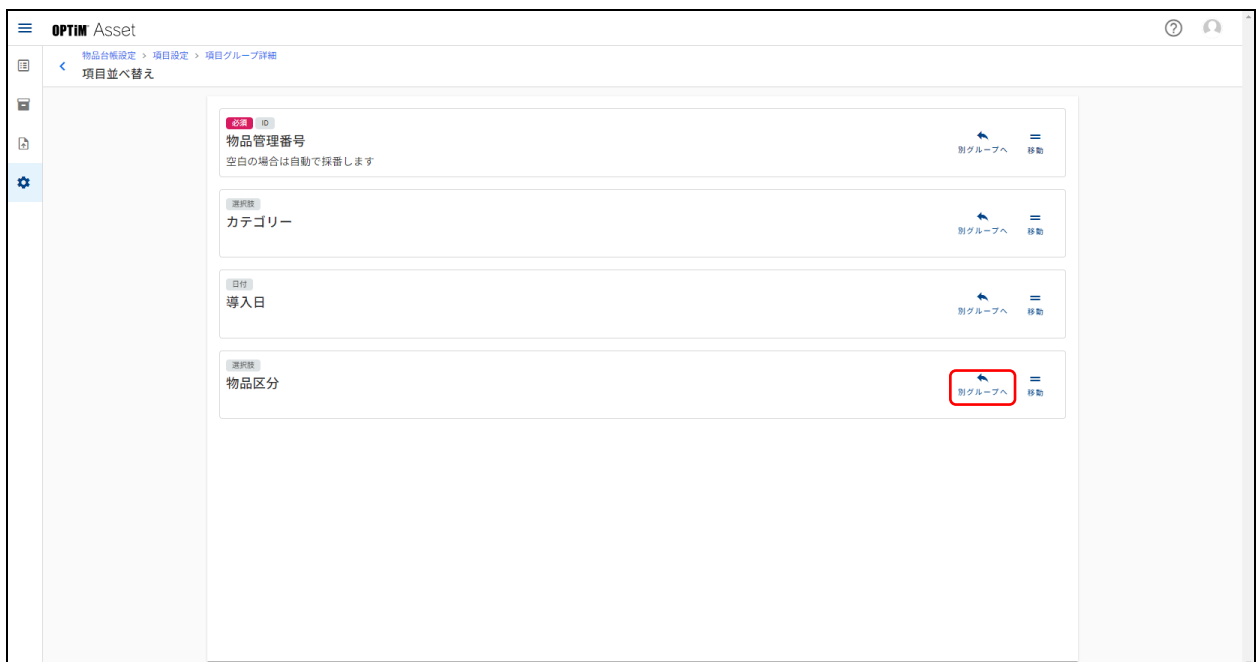
ここでは「基本情報」画面を例に説明します。

[1]  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [基本情報] の順にクリックします。

[2] [項目を並べ替え] をクリックします。



[3] 移動したい詳細項目の「別グループへ」をクリックします。



[4] 移動したいグループを選択し、[移動] をクリックします。

別グループへ移動

基本情報
 製品情報
 利用状況
 固定資産情報

キャンセル 移動

詳細項目を編集する

詳細項目の「表示項目名称」、「必須」選択、「注記」の設定内容を変更します。

ここでは「基本情報」画面を例に説明します。

✂ 「タイプ」を変更することはできません。

✂ 「物品名称」「物品ステータス」の「必須」を変更することはできません。

✂ 「廃棄申請者」「最終通信日時」「最終検出履歴」「新規作成者」「新規作成日時」「最終更新者」「最終更新日時」項目は、システムで自動入力されるため「必須」選択の設定はできません。

[1] ⚙ (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [基本情報] の順にクリックします。

[2] 編集したい詳細項目の [編集] をクリックします。

OPTIM Asset

物品台帳設定 > 項目設定
項目グループ詳細

グループ編集 登録項目追加

項目並べ替え

システム項目 必須

物品管理番号
空白の場合は自動で採番します

選択値

カテゴリ


日付

導入日

選択値

物品区分

【3】 「表示項目名称」、「必須」選択、「注記」の設定内容を変更し [保存] をクリックします。

 「表示項目名称」に重複する名称を設定することはできません。



詳細項目の登録を解除する

項目グループに登録されている詳細項目の登録を解除します。

ここでは「基本情報」画面を例に説明します。

【1】  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [基本情報] の順にクリックします。

【2】 登録を解除したい詳細項目の [編集] をクリックします。



【3】 [登録解除] をクリックします。

項目編集 ×

表示項目名称

物品区分
項目名を入力してください。

タイプ
選択肢
変更することはできません。

必須 ユニーク項目

注記

_____ /

キャンセル 登録解除 保存

【4】 [登録解除] をクリックします。

登録解除 ×

! プリセットの条件に含まれる項目を登録解除した場合、プリセットの条件を再度指定してください。


キャンセル 登録解除

6.1.2 選択肢設定


各種画面のリストボックスに表示される選択肢を設定します。

6.1.2.1 「選択肢設定」画面について

「項目グループ詳細」画面の詳細項目で、「タイプ」を「選択肢」に設定している詳細項目名をタブ画面として表示し、項目別に選択肢を設定します。

「選択肢設定」画面は、（設定）→ [物品台帳設定] → [選択肢設定] の順にクリックすると表示され、各タブをクリックするとクリックしたタブの画面が表示されます。


初期設定では、[カテゴリー] [物品区分] [管理部署] [所在] の4つのタブ画面が設定されています。

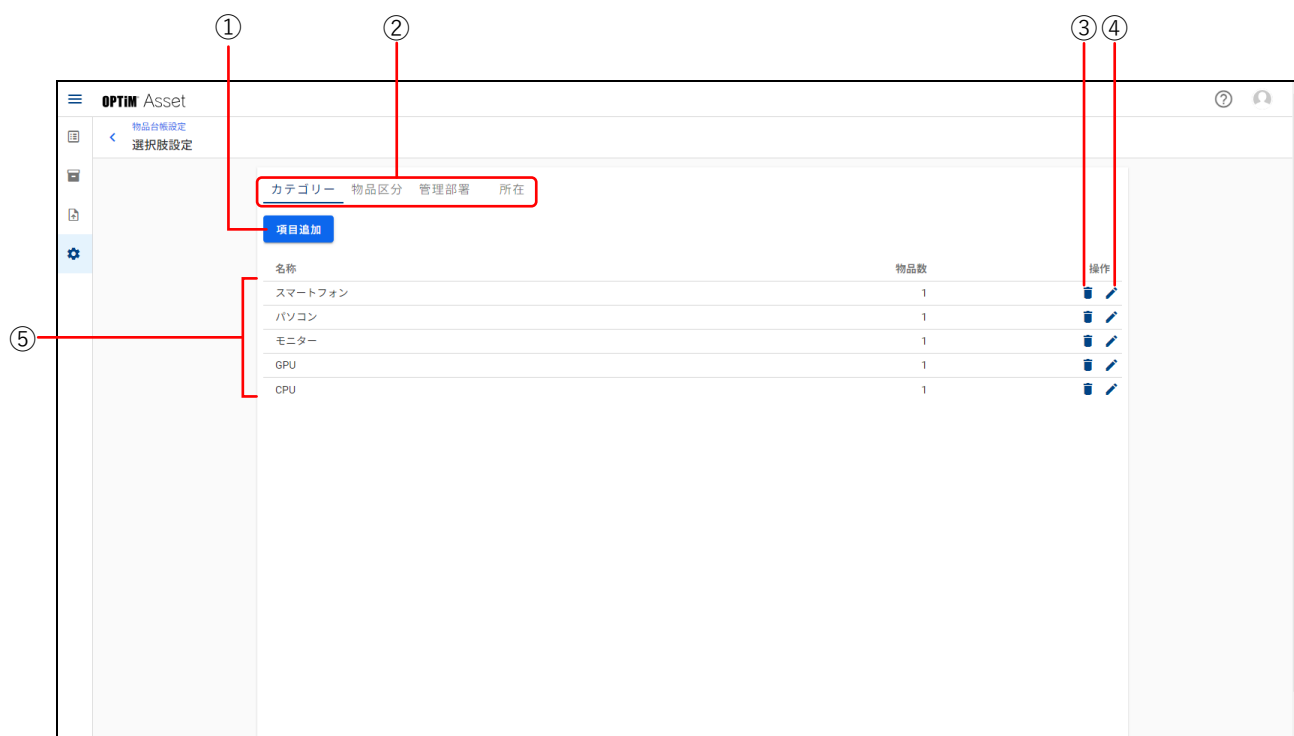
 「物品ステータス」とユーザー登録された人物名を選択する詳細項目はタブ画面で表示されません。

◆ [カテゴリー] タブ画面

各タブ画面で選択肢項目は異なりますが、操作手順は同様です。

ここでは [カテゴリー] タブ画面を例に各部の説明をしますが、他の画面でも同様に操作してください。

● [カテゴリー] タブ画面は、（設定）→ [物品台帳設定] → [選択肢設定] → [カテゴリー] タブの順にクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	[項目追加] ボタン	「項目追加」画面を表示して、選択肢項目を追加します。
②	タブ	各タブ画面を表示します。
③	削除ボタン	「項目削除」画面を表示して、選択肢を削除します。
④	編集ボタン	「項目編集」画面を表示して、選択肢の名前を変更します。
⑤	選択肢項目一覧	選択肢が一覧で表示されます。


6.1.2.2 選択肢を設定する

各種画面のリストボックスに表示される選択肢の追加、削除、名称変更を行います。

選択肢項目を追加する

各種画面のリストボックスに表示される選択肢を追加します。

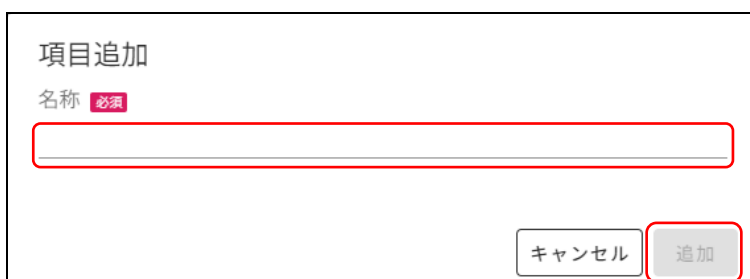
ここでは [カテゴリー] タブ画面を例に説明します。

【1】  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [選択肢設定] → [カテゴリー] タブの順にクリックします。

【2】 [項目追加] をクリックします。



【3】 名称を入力して [追加] をクリックします。



項目追加


名称 必須


キャンセル 追加

選択肢項目を削除する

各種画面のリストボックスに表示される選択肢を削除します。

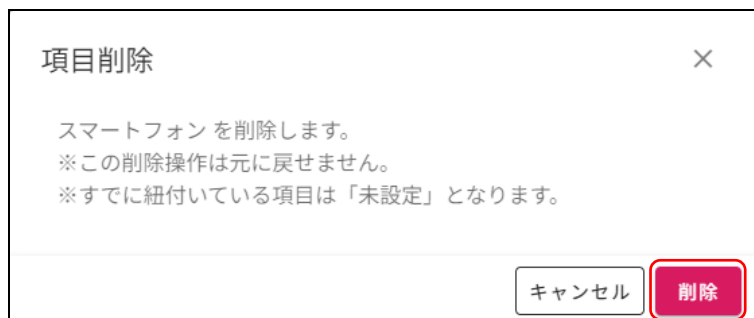
ここでは [カテゴリー] タブ画面を例に説明します。

【1】  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [選択肢設定] → [カテゴリー] タブの順にクリックします。

【2】  をクリックします。





【3】 [削除] をクリックします。



選択肢項目の名称を変更する

各種画面のリストボックスに表示される選択肢の名称を変更します。
ここでは [カテゴリー] タブ画面を例に説明します。

- [1]**  (設定) → [物品台帳設定] → [項目設定] → [選択肢設定] → [カテゴリー] タブの順にクリックします。
- [2]**  をクリックします。



- [3]** 名称を変更して [更新] をクリックします。


項目編集

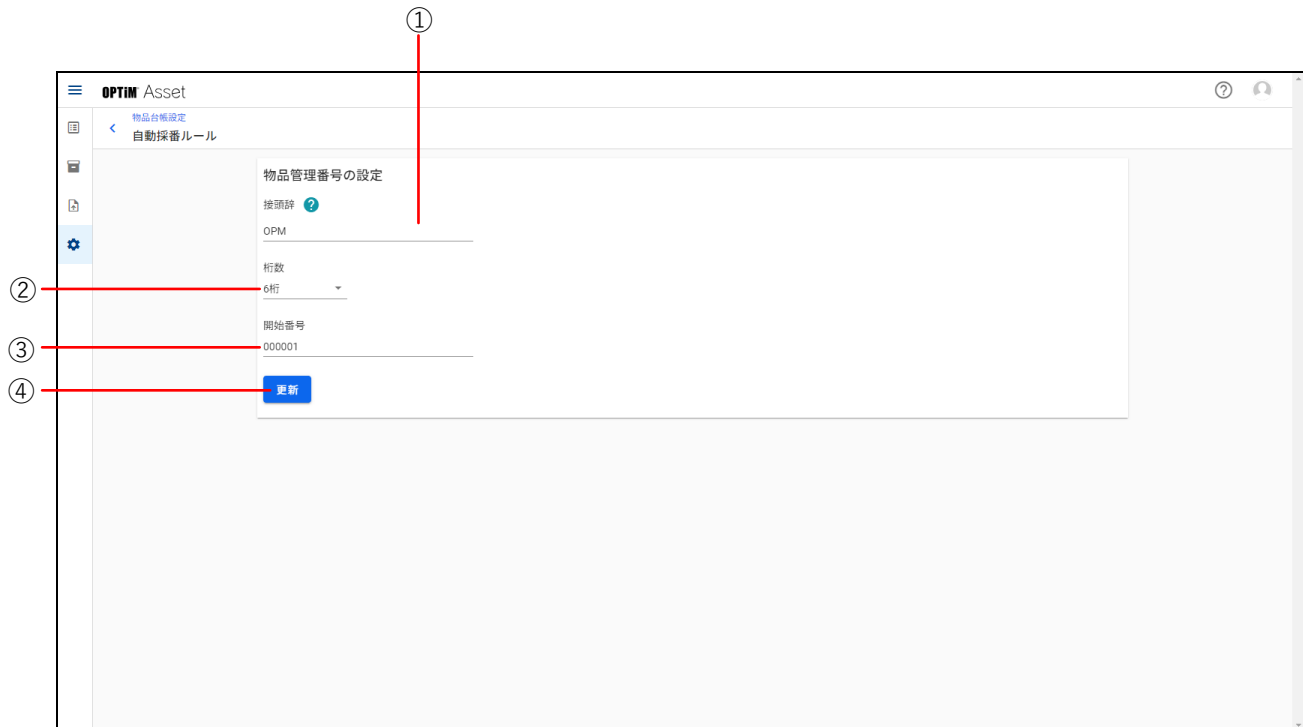
名称 必須

6.1.3 自動採番ルール

物品管理番号に番号を自動的に振るときの、接頭辞、桁数、開始番号を設定します。

◆ 「自動採番ルール」画面

- 「自動採番ルール」画面は、（設定） → [自動採番ルール] の順にクリックすると表示されます。




項番	名称	説明
①	接頭辞	物品管理番号の接頭辞（数字の前に配置される文字列）を設定します。 半角英数と記号（「-」 「.」 「_」 「+」）で最大5文字まで入力できます。
②	桁数	物品管理番号に設定する数字の桁数を設定します。 5桁～20桁までの桁数をリストボックスから選択します。
③	開始番号	物品管理番号が開始される番号を設定します。
④	[更新] ボタン	設定した内容を更新します。

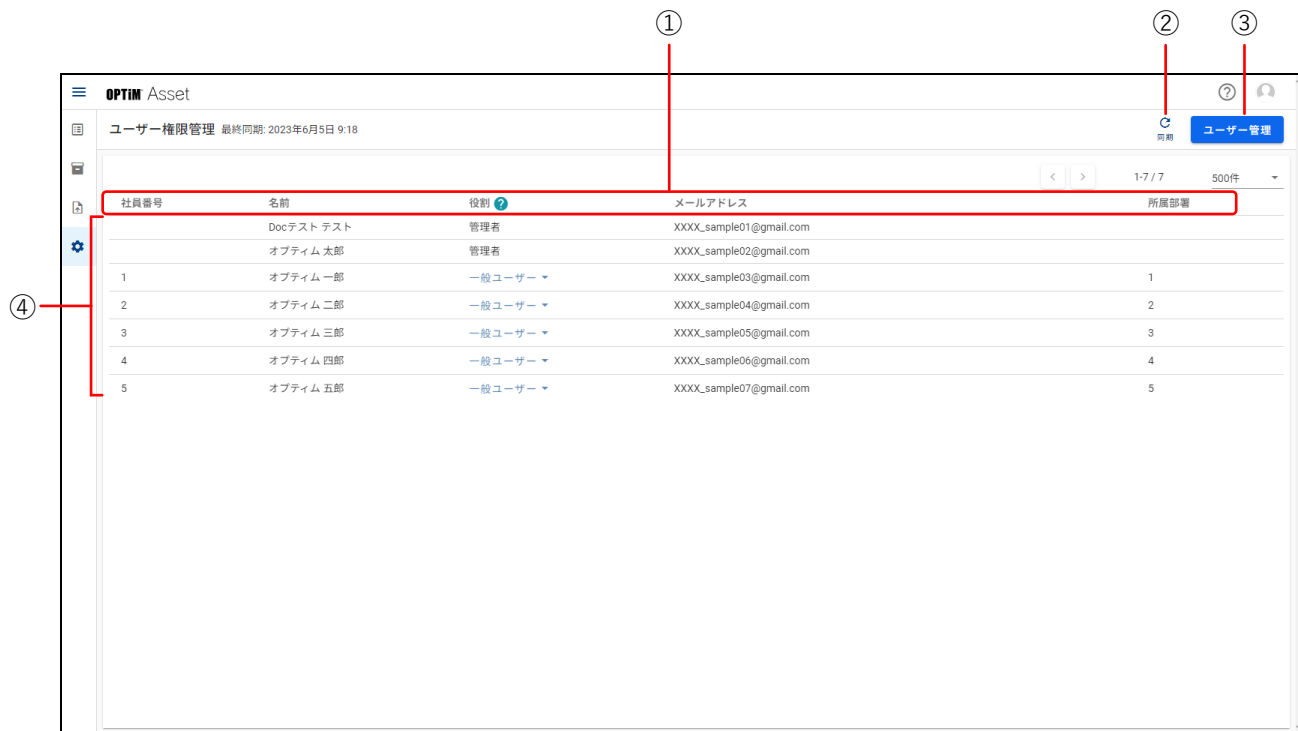
6.2 ユーザー権限管理

OPTiM ID に登録されているメンバーのユーザー情報を本製品に取り込み、ユーザーの権限状態を確認します。

6.2.1 「ユーザー権限管理」画面について

◆ 「ユーザー権限管理」画面

- 「ユーザー権限管理」画面は、（設定） → [ユーザー権限管理] の順にクリックすると表示されます。



項番	名称	説明
①	ユーザー情報項目	ユーザー情報の項目を表示します。特定の項目をクリックすると、ソートすることができます。 「3.1.3 物品情報をソートする」16 ページ
②	[同期] ボタン	OPTiM ID と同期し、ユーザー情報を本製品に取り込みます。
③	[ユーザー管理] ボタン	OPTiM ID を開きます。


項番	名称	説明										
④	ユーザー情報一覧	<p>ユーザー情報が一覧で表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「役割」が「一般ユーザー」の場合、OPTiM IDの「メンバー詳細」画面で、「追加権限」の「OPTiM Asset 物品管理者」にチェックが入っているときは、[▼]をクリックすると表示されるメニューから、「物品管理者」と「一般ユーザー」を選択することができます。 <div data-bbox="684 371 1294 663" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">オブティム 一郎</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">一般ユーザー ▼</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">オブティム 二郎</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">物品管理者</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">オブティム 三郎</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">一般ユーザー</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">オブティム 四郎</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">オブティム 五郎</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">一般ユーザー ▼</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 「物品管理者」と「一般ユーザー」の切り替えは、「管理者」権限でログインした場合のみ行うことができます。「物品管理者」権限で本製品にログインした場合は、「物品管理者」と「一般ユーザー」の切り替えはできません。 ☑ 「物品管理者」はOPTiM Asset 管理画面のユーザー追加・編集・削除以外の操作権限、およびモバイルアプリによる物品編集権限が付与されています。 ☑ 「役割」で「削除済み」と表示されているユーザーは、「OPTiM ID」から削除されたユーザーです。 	オブティム 一郎	一般ユーザー ▼	オブティム 二郎	物品管理者	オブティム 三郎	一般ユーザー	オブティム 四郎		オブティム 五郎	一般ユーザー ▼
オブティム 一郎	一般ユーザー ▼											
オブティム 二郎	物品管理者											
オブティム 三郎	一般ユーザー											
オブティム 四郎												
オブティム 五郎	一般ユーザー ▼											

6.2.2 ユーザーを取り込む

「OPTiM ID」と同期して、登録されているメンバーのユーザー情報を本製品に取り込みます。
ここでは、「OPTiM ID」でメンバーが登録されていることを前提としています。

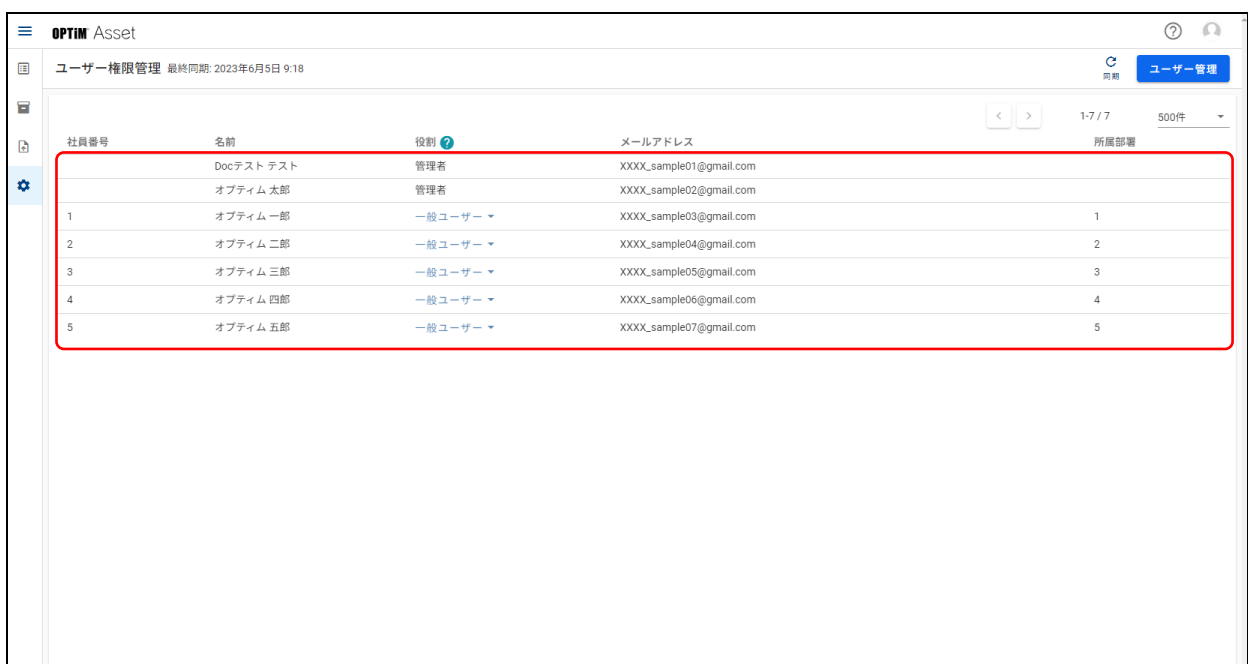
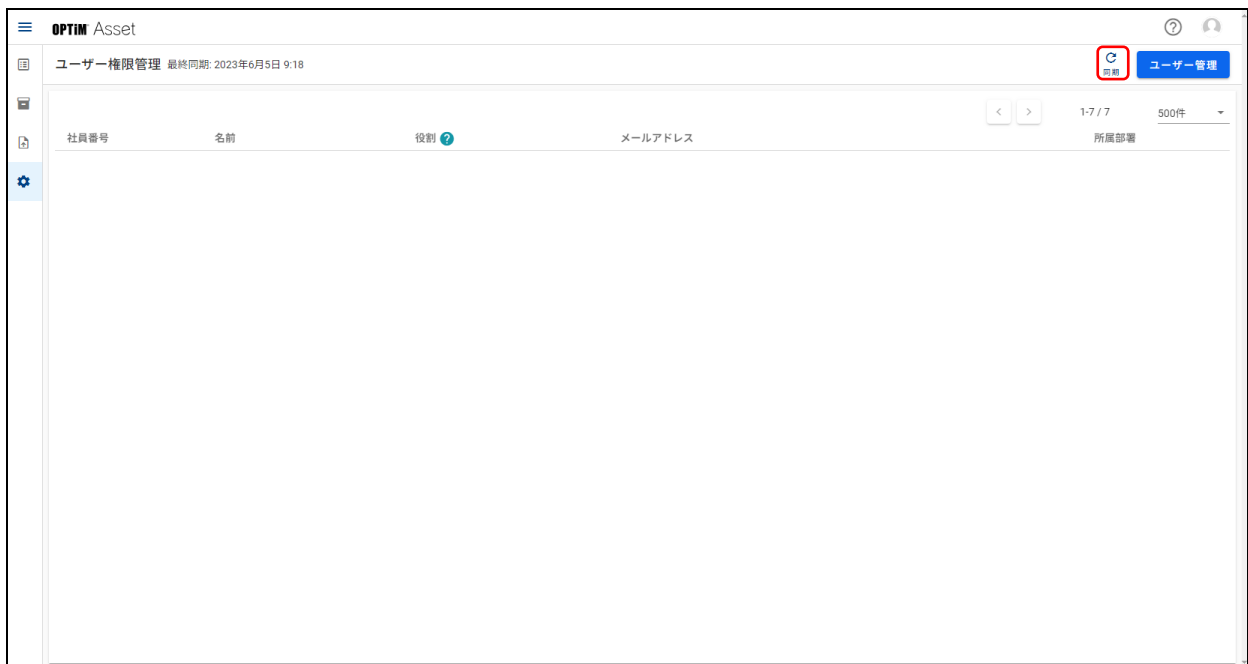
- 本製品に OPTiM ID のメンバーを取り込む場合は、OPTiM ID の [メンバー管理] で [カスタム属性] に追加されている、「社員番号」(registration_number) と「部署」(department) に、ユーザー情報を入力する必要があります。

詳細については、以下を参照してください。

 『Web ユーザーマニュアル』 「3.4 ユーザーを追加する」

[1]  (設定) → [ユーザー権限管理] の順にクリックします。

[2] [同期] をクリックします。




6.3 ライセンス管理

ライセンスの管理状態を確認します。

6.3.1 「ライセンス管理」画面について

◆ 「ライセンス管理」画面

- 「ライセンス管理」画面は、（設定） → [ライセンス管理] の順にクリックすると表示されます。




項番	名称	説明
①	ご利用状況	利用可能物品数（合計）：利用可能な物品の総数が表示されます。 課金対象の物品数：課金の対象となっている物品の数が表示されます。 使用中の物品数：現在使用されている数が表示されます。 物品の廃棄済みの物品数：廃棄のステータスに設定された物品の数が表示されます。
②	ライセンス情報	ライセンス名称：契約しているライセンスの名称が表示されます。 利用可能物品数：ライセンスの利用可能な物品の総数が表示されます。 利用期限：ライセンスの利用期限が表示されます。

6.4 プライバシーポリシー

プライバシーポリシーを表示します。

プライバシーポリシーには、個人情報に対する取扱いの指針が記載されています。

本製品を使用する場合は、プライバシーポリシーを一読し、内容を理解して使用してください。

[1]  (設定) → [プライバシーポリシー] の順にクリックします。

改訂履歴

日付	Ver.	変更箇所	変更内容
2023/6/28	2.0		マニュアル刷新
2023/8/2	2.1	全体	「インポート」画面、「棚卸ルール」画面、「棚卸計画」画面、「棚卸計画編集」画面の修正に伴う画像変更
		3.1 「物品台帳」画面の操作	CSV 新機能の説明追加
		6.1.1.3 項目グループの詳細設定を する	タイプ（日時）追加による説明追加